

江別市地域公共交通活性化協議会 専門委員会

市民アンケート調査 調査結果概要

令和4年12月21日（水）

調査方法

配布方法	市内3,000世帯に郵送 <ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳より対象世帯を無作為抽出 ・抽出した世帯の15歳以上の構成員数分の調査票を封入 ・江別市バス路線マップを同封
回収方法	郵送回収 <ul style="list-style-type: none"> ・同封した返信用封筒により郵送回収
	WEBによる回収 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼文に記載したQRコードからWEBで回答
調査期間	令和4年8月25日（木）から令和4年9月30日（金）まで

地区別配布状況

配布方法	大麻地区	野幌地区	江別地区	合計
対象世帯	788世帯	1,072世帯	1,140世帯	3,000世帯
調査票配布数	1,383部	1,985部	2,227部	5,595部
世帯構成比 ※令和4年8月1日	26.3%	35.7%	38.0%	—

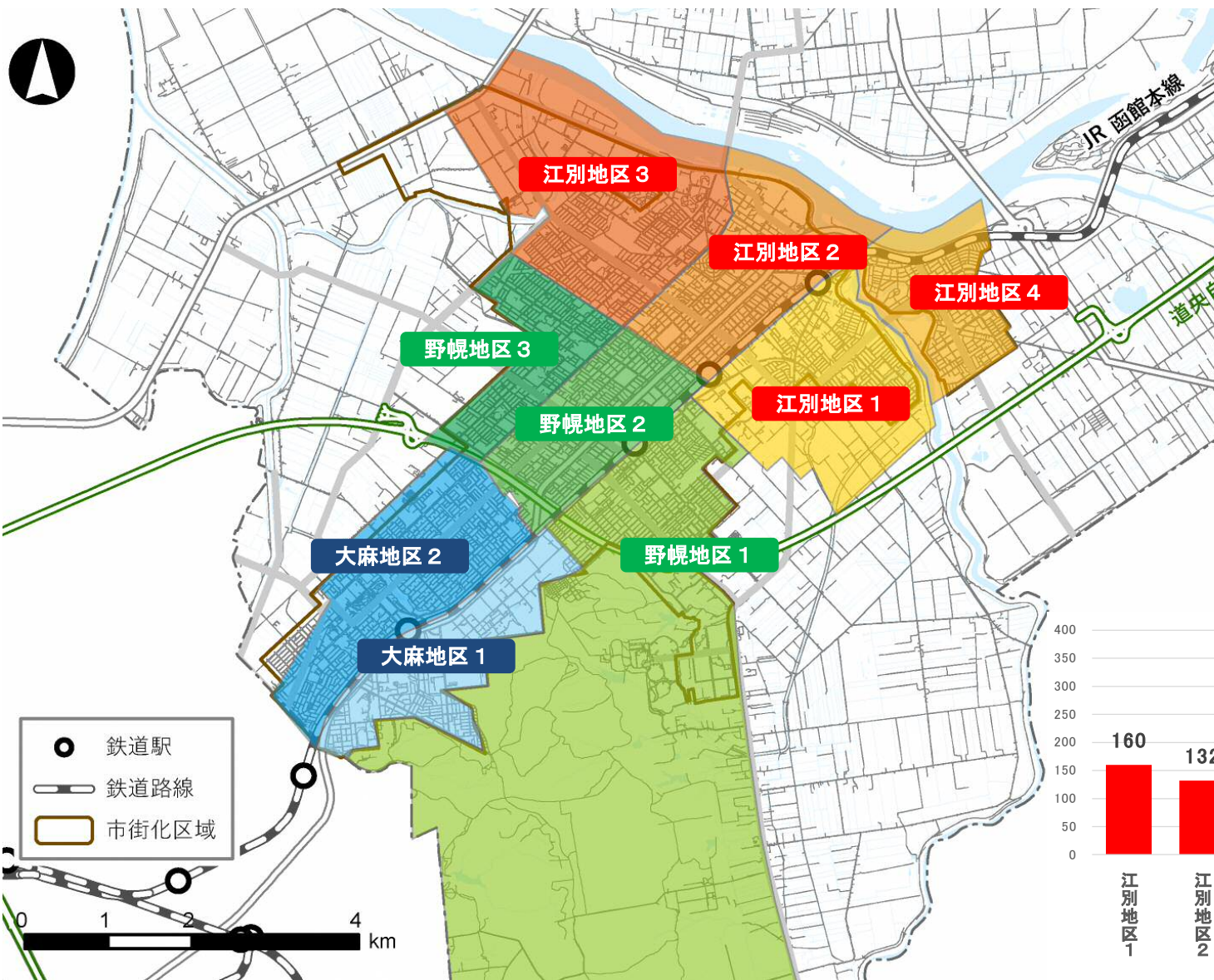
回収状況

回収方法	世帯回収数	調査票回収数	世帯回収率	回収率
郵送回収	1,168件	1,600件	38.9%	28.6%
WEBによる回収	—	156件	—	2.8%
合計	—	1,756件	—	31.4%

市民アンケート調査_調査結果概要

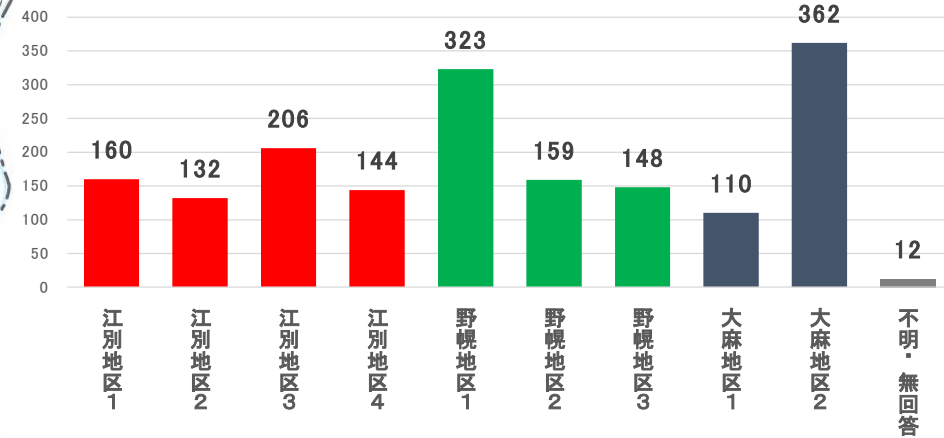
対象エリアの地区分類・アンケート回収数

■ 本調査における地域区分は、以下の通りです。



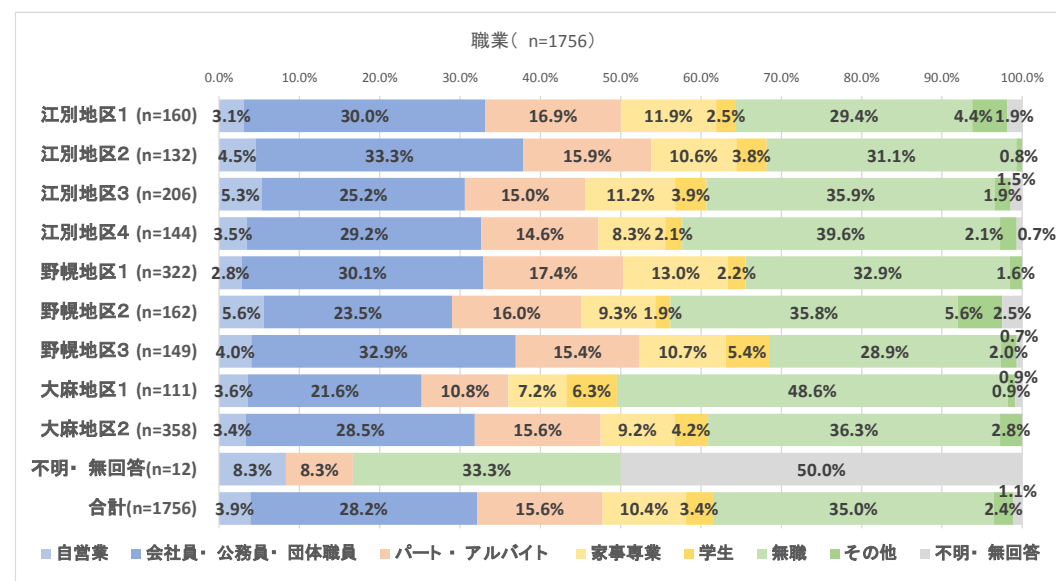
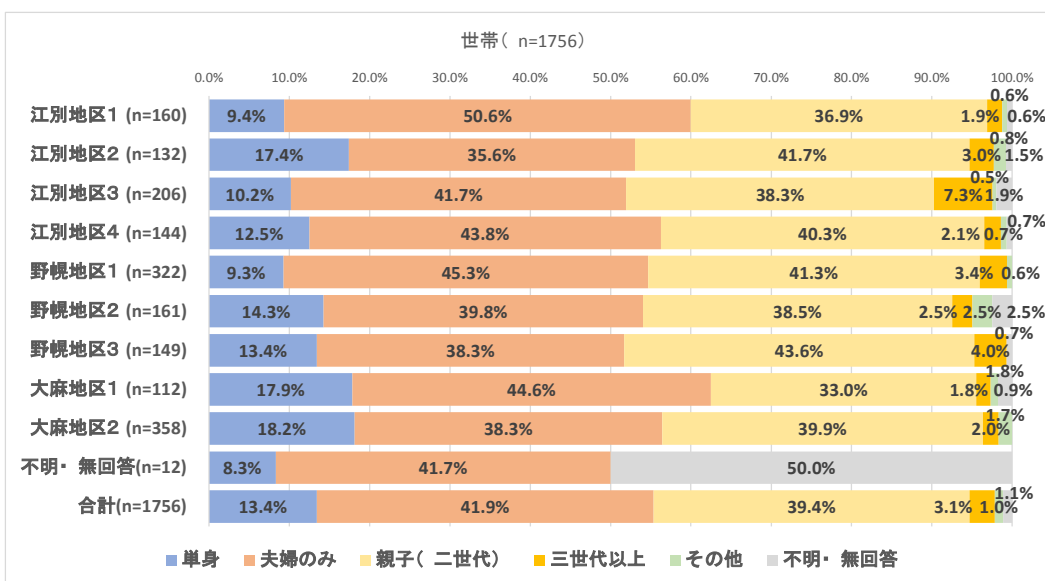
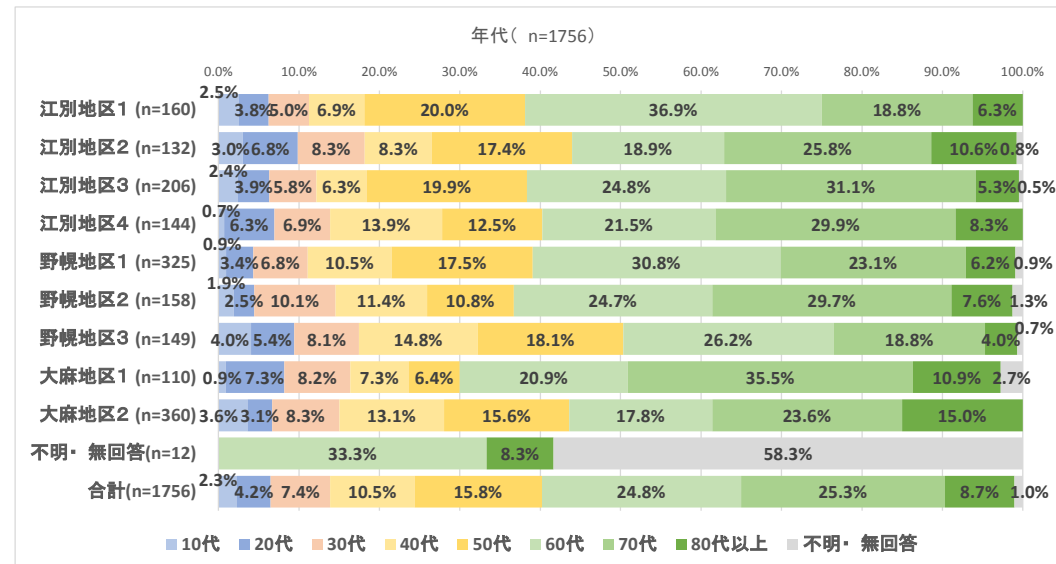
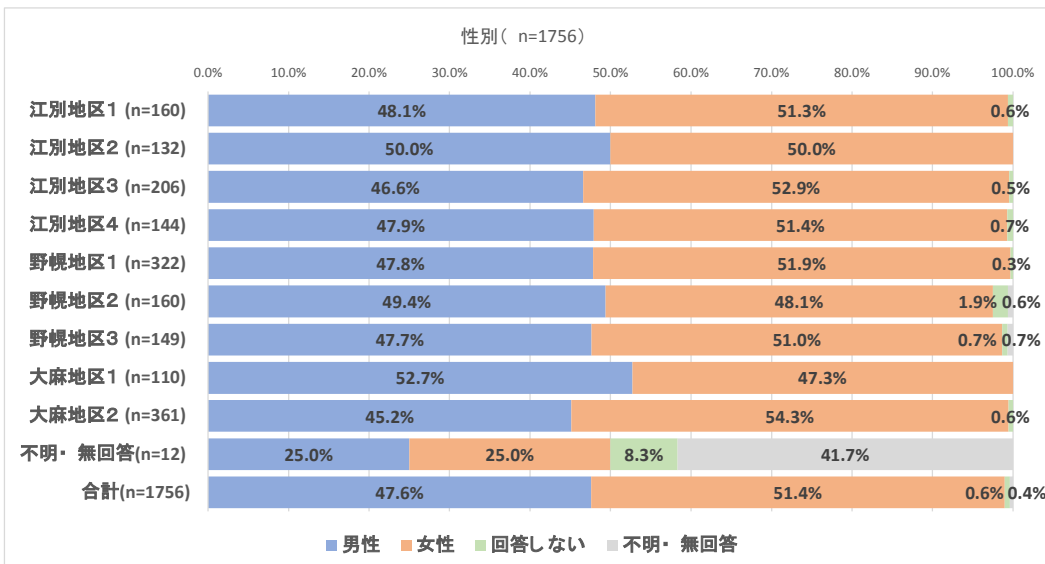
江別地区 1	上江別	上江別東町	上江別西町	上江別南町
	ゆめみ野	ゆめみ野東町	ゆめみ野南町	
江別地区 2	1条1丁目~ 8条8丁目	緑町	萩ヶ丘	王子
	大川町	一番町	弥生町	高砂町
江別地区 3	向ヶ丘	若草町	元町	
	牧場町	元江別	見晴台	元江別本町
江別地区 4	いずみ野	篠津	中島	八幡
	工業町	対雁	角山	
	東光町	朝日町	あけぼの町	江別太
	萌えぎ野	萌えぎ野中央	萌えぎ野東	萌えぎ野西
野幌地区 1	美原	豊幌	豊幌花園町	豊幌美咲町
	豊幌はみんぐ町			
野幌地区 2	東野幌本町	野幌若葉町	東野幌	西野幌
	野幌東町	緑ヶ丘	あさひが丘	
野幌地区 3	錦町	幸町	野幌町	野幌松並町
	野幌末広町	野幌住吉町	野幌代々木町	
大森地区 1	元野幌	野幌寿町	野幌屯田町	野幌美幸町
	新栄台	中央町		
大森地区 2	文京台東町	文京台南町	文京台緑町	文京台
	大森	大森ひかり町	大森栄町	大森園町
	大森宮町	大森元町	大森高町	大森桜木町
	大森新町	大森晴美町	大森西町	大森扇町
不明・無回答	大森泉町	大森沢町	大森中町	大森東町
	大森南樹町	大森北町		

アンケート回収数 (合計1,756票)



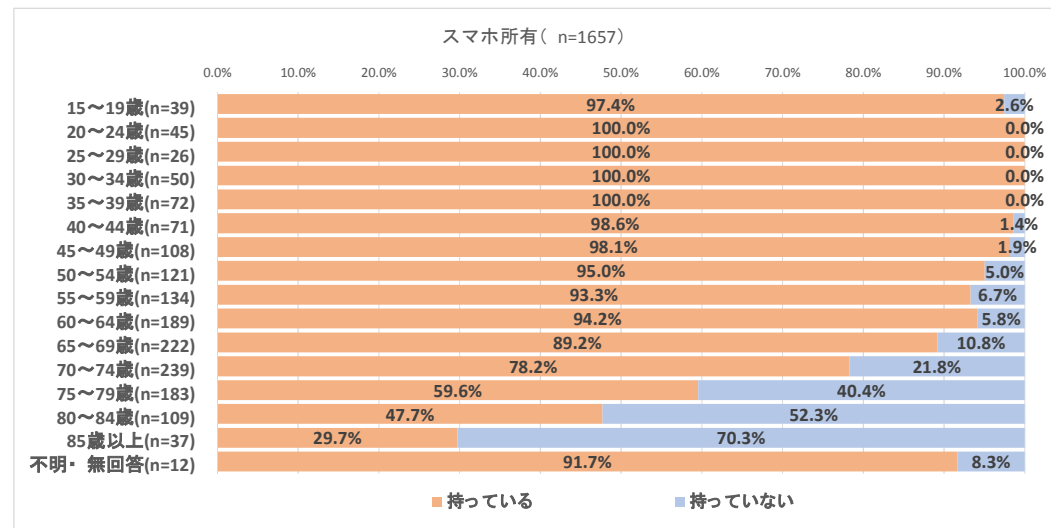
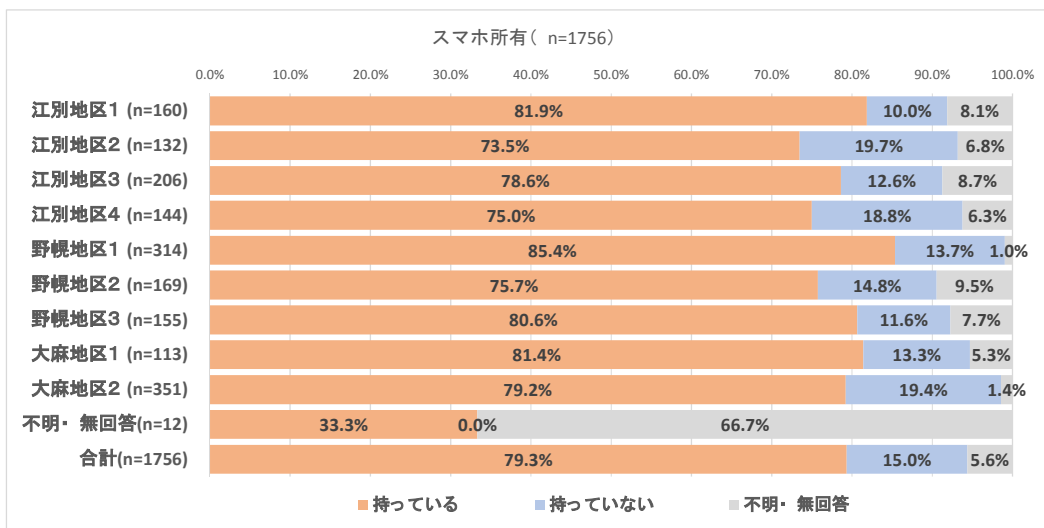
回答者の属性

- 回答者の性別は、概ね男女半数となっており、世帯構成は、夫婦のみ、親子（二世代）の割合が高くなっています。
- 回答者の年代は、各地区とも60代以上の割合が高くなっており、職業は、無職の割合が高くなっています。



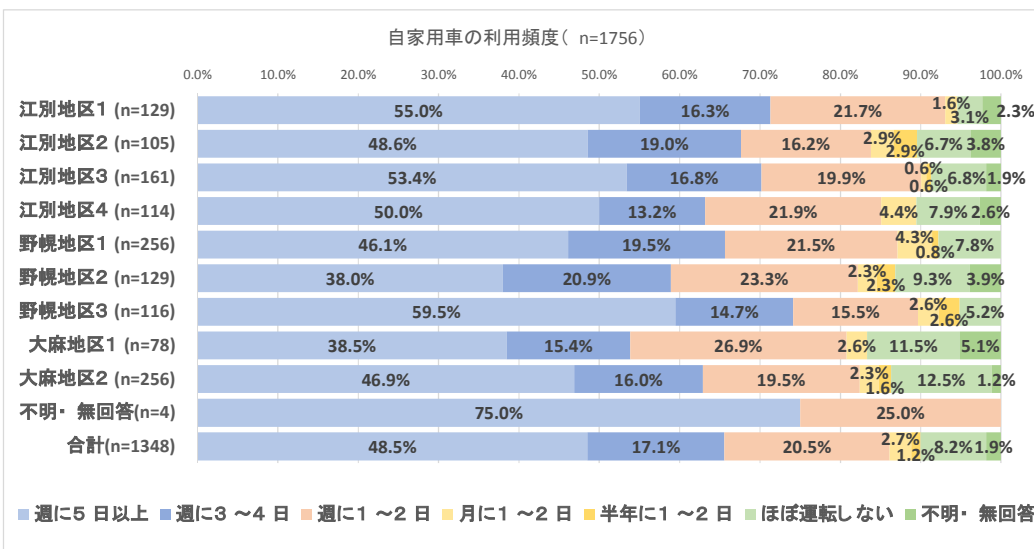
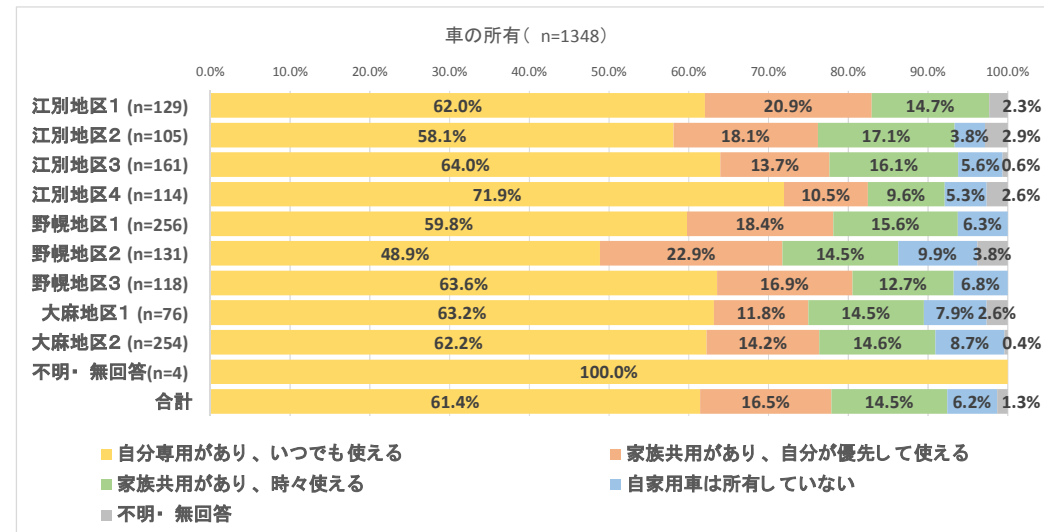
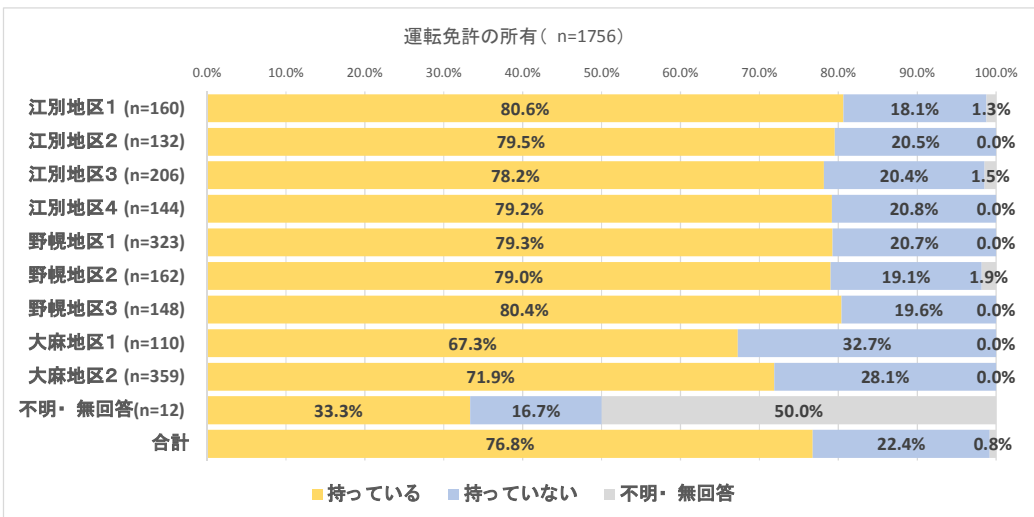
回答者の属性

- 回答者のスマートフォン保有状況は、地区別では概ね8割程度となっている。
- 世代別では、64歳以下で保有率が9割以上となっており、年齢に応じて保有率は低下していますが、80歳～84歳で保有率が約5割となっています。



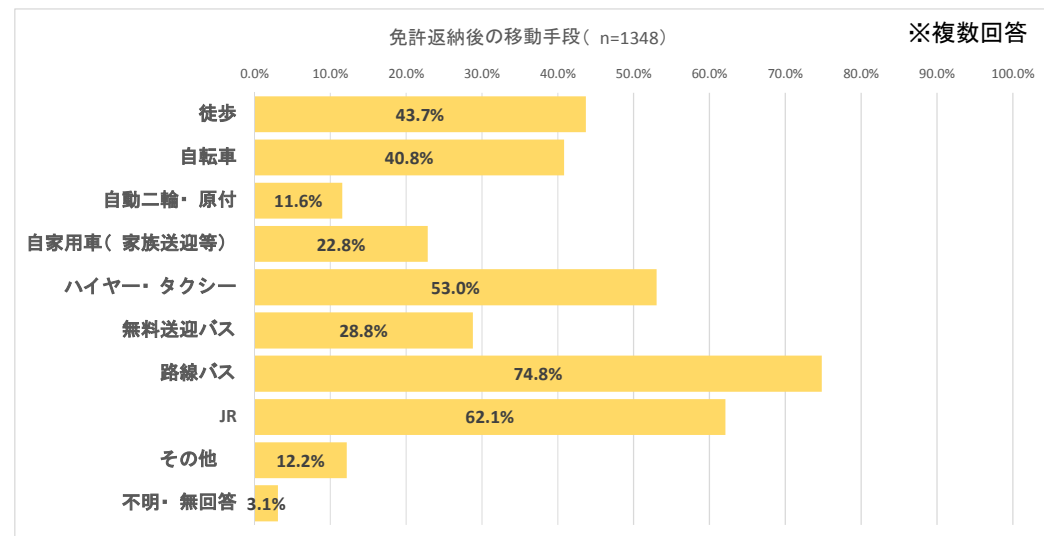
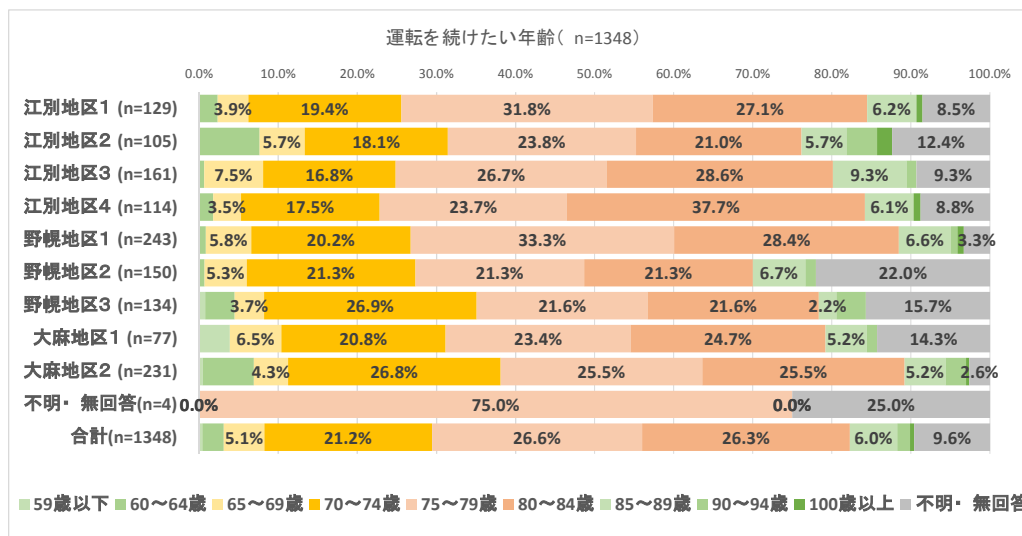
自家用車の運転について

- 運転免許の保有状況は、各地区で8割程度となっていますが、大麻地区は約7割となっており、他地区と比べてやや低くなっています。
- 自家用車の保有状況は、「自分専用があり、いつでも使える」との回答が各地区で6割程度となっていますが、野幌地区2では半数程度となっています。
- 自家用車の利用頻度は、各地区とも半数以上が「週に3~4日」以上利用しており、「週に1~2日」を含めると8割以上が利用しています。



自家用車の運転について

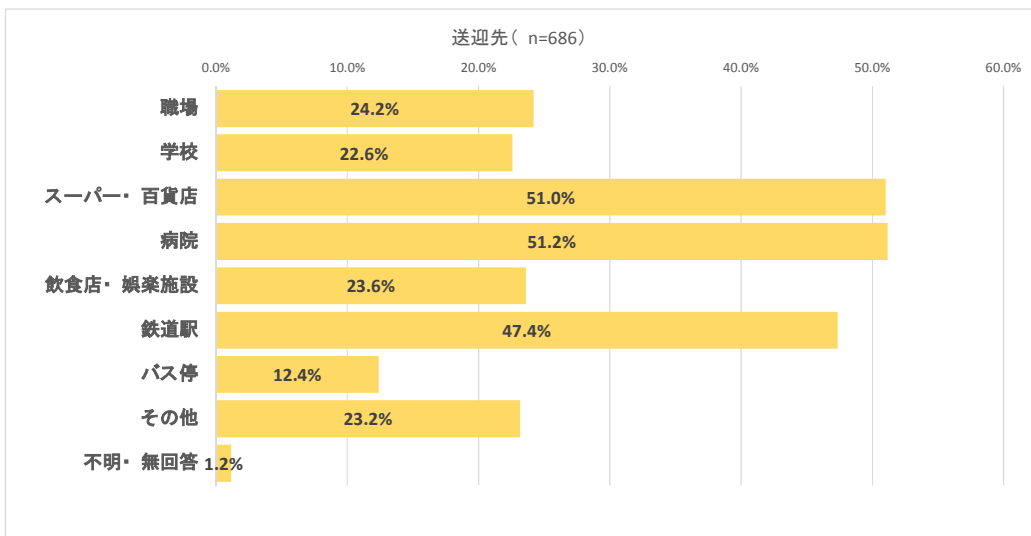
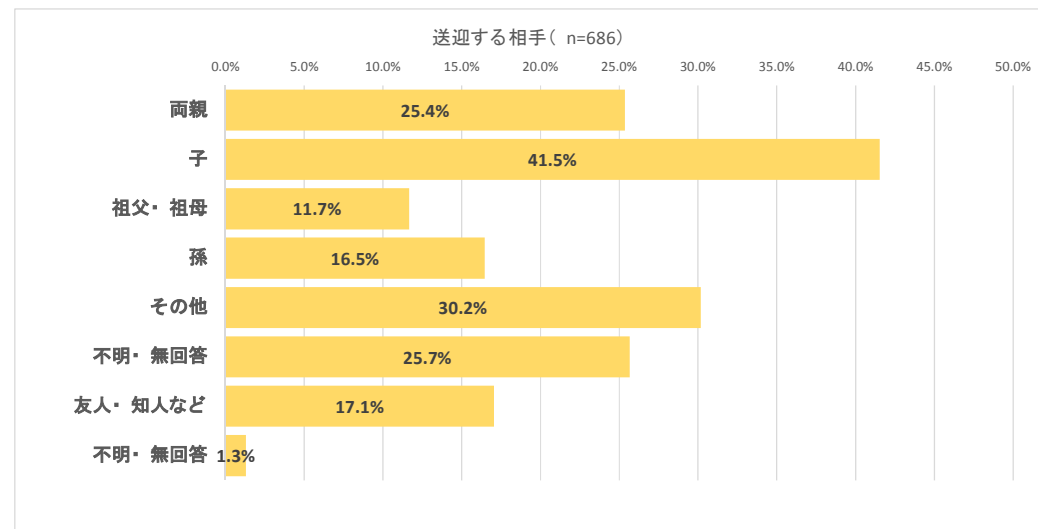
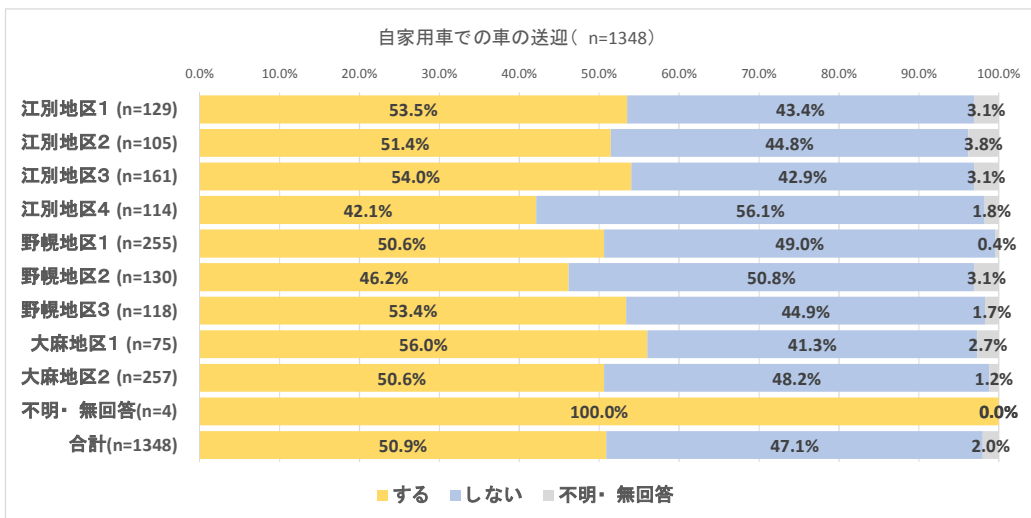
- 運転を続けたい年齢は、65歳から84歳程度までの回答が多くなっており、幅広い回答となっています。
- 免許返納後の移動手段は、7割強の方が「路線バス」と回答しており、「JR」との回答も6割強となっています。



地区名	59歳以下	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	100歳以上	不明・無回答	合計
江別地区1 (n=129)	0.0%	2.3%	3.9%	19.4%	31.8%	27.1%	6.2%	0.0%	0.8%	8.5%	100.0%
江別地区2 (n=105)	0.0%	7.6%	5.7%	18.1%	23.8%	21.0%	5.7%	3.8%	1.9%	12.4%	100.0%
江別地区3 (n=161)	0.0%	0.6%	7.5%	16.8%	26.7%	28.6%	9.3%	1.2%	0.0%	9.3%	100.0%
江別地区4 (n=114)	0.0%	1.8%	3.5%	17.5%	23.7%	37.7%	6.1%	0.0%	0.9%	8.8%	100.0%
野幌地区1 (n=243)	0.0%	0.8%	5.8%	20.2%	33.3%	28.4%	6.6%	0.8%	0.8%	3.3%	100.0%
野幌地区2 (n=150)	0.0%	0.7%	5.3%	21.3%	21.3%	21.3%	6.7%	1.3%	0.0%	22.0%	100.0%
野幌地区3 (n=134)	0.7%	3.7%	3.7%	26.9%	21.6%	21.6%	2.2%	3.7%	0.0%	15.7%	100.0%
大麻地区1 (n=77)	3.9%	0.0%	6.5%	20.8%	23.4%	24.7%	5.2%	1.3%	0.0%	14.3%	100.0%
大麻地区2 (n=231)	0.4%	6.5%	4.3%	26.8%	25.5%	25.5%	5.2%	2.6%	0.4%	2.6%	100.0%
不明・無回答(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
合計(n=1348)	0.4%	2.7%	5.1%	21.2%	26.6%	26.3%	6.0%	1.6%	0.5%	9.6%	100.0%

送迎状況について

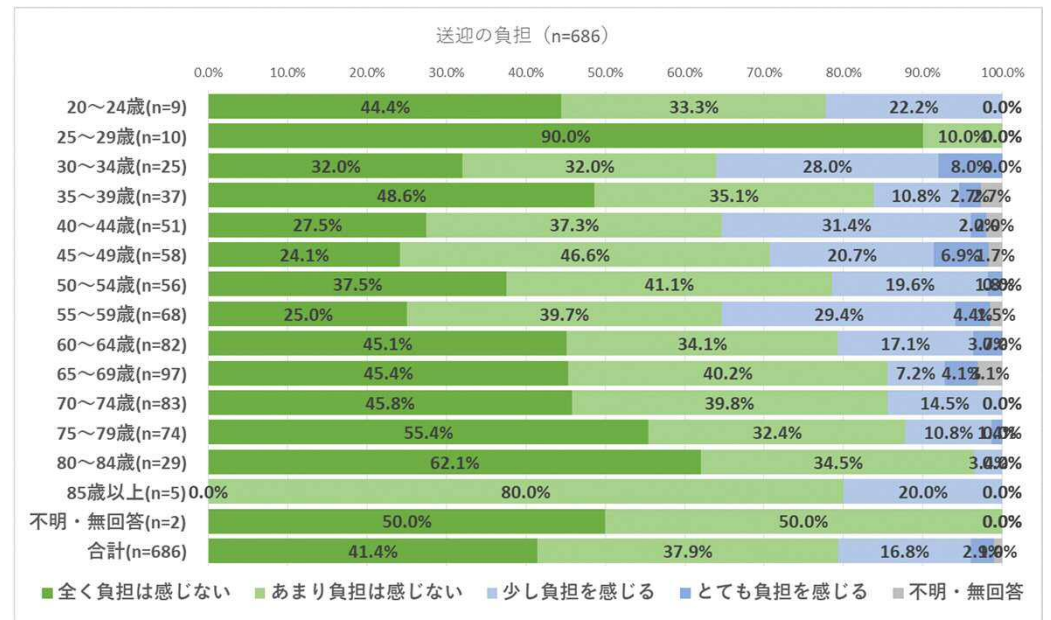
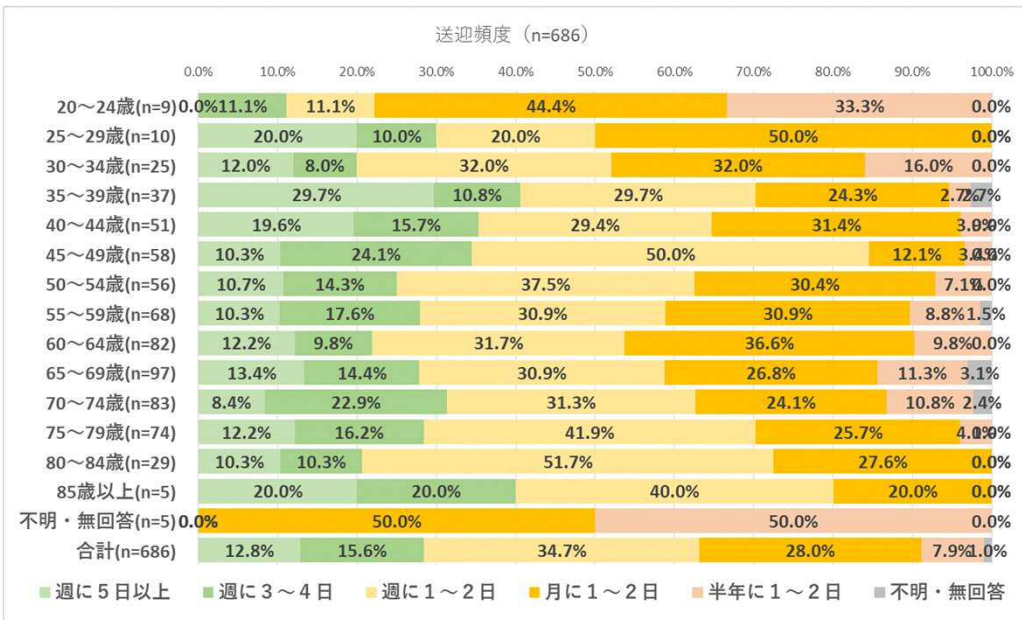
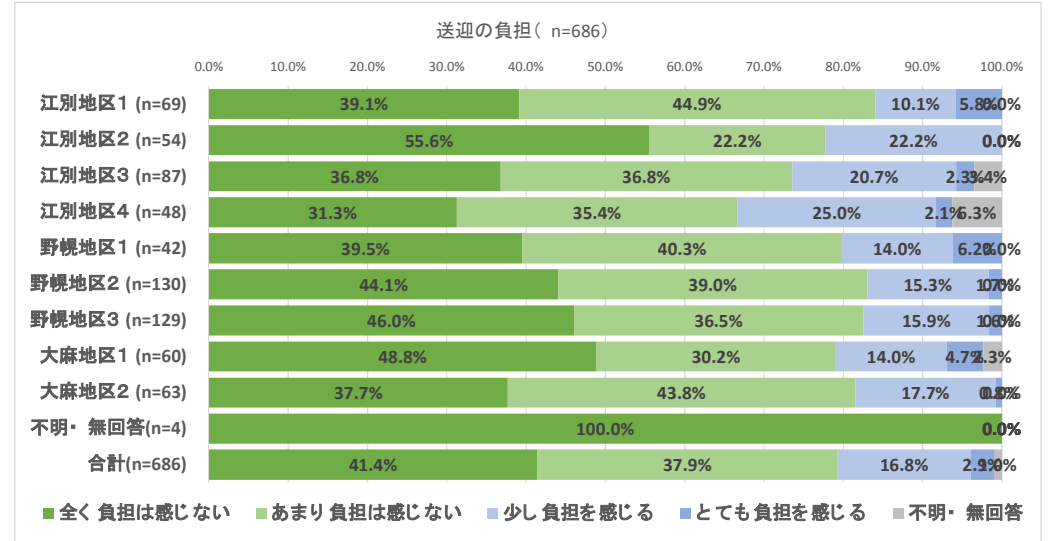
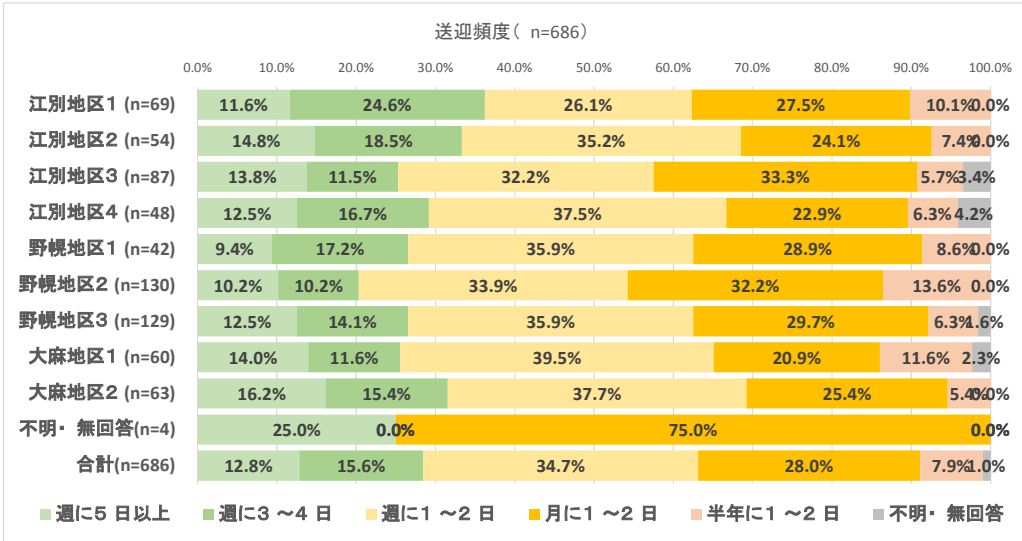
- 自家用車での送迎状況は、各地区とも、約半数で送迎の実態があると回答しています。
- 送迎する相手は、「子」が約4割となっており、学校や鉄道駅への送迎が多くなっています。次いで、「両親」が約3割となっており、商業施設や病院への送迎が多くなっています。



送迎状況について

- 送迎頻度は、各地区とも「週に1~2日」から「月に1~2日」との回答が多くなっていますが、「週に5日以上」との回答も1割程度見られます。
- 送迎の負担は、「全く負担は感じない」、「あまり負担は感じない」との回答が概ね8割程度となっています。
- 年代別では、30代から50代にかけて、送迎に対し「少し負担を感じる」との回答が多く見られます。

※送迎している方

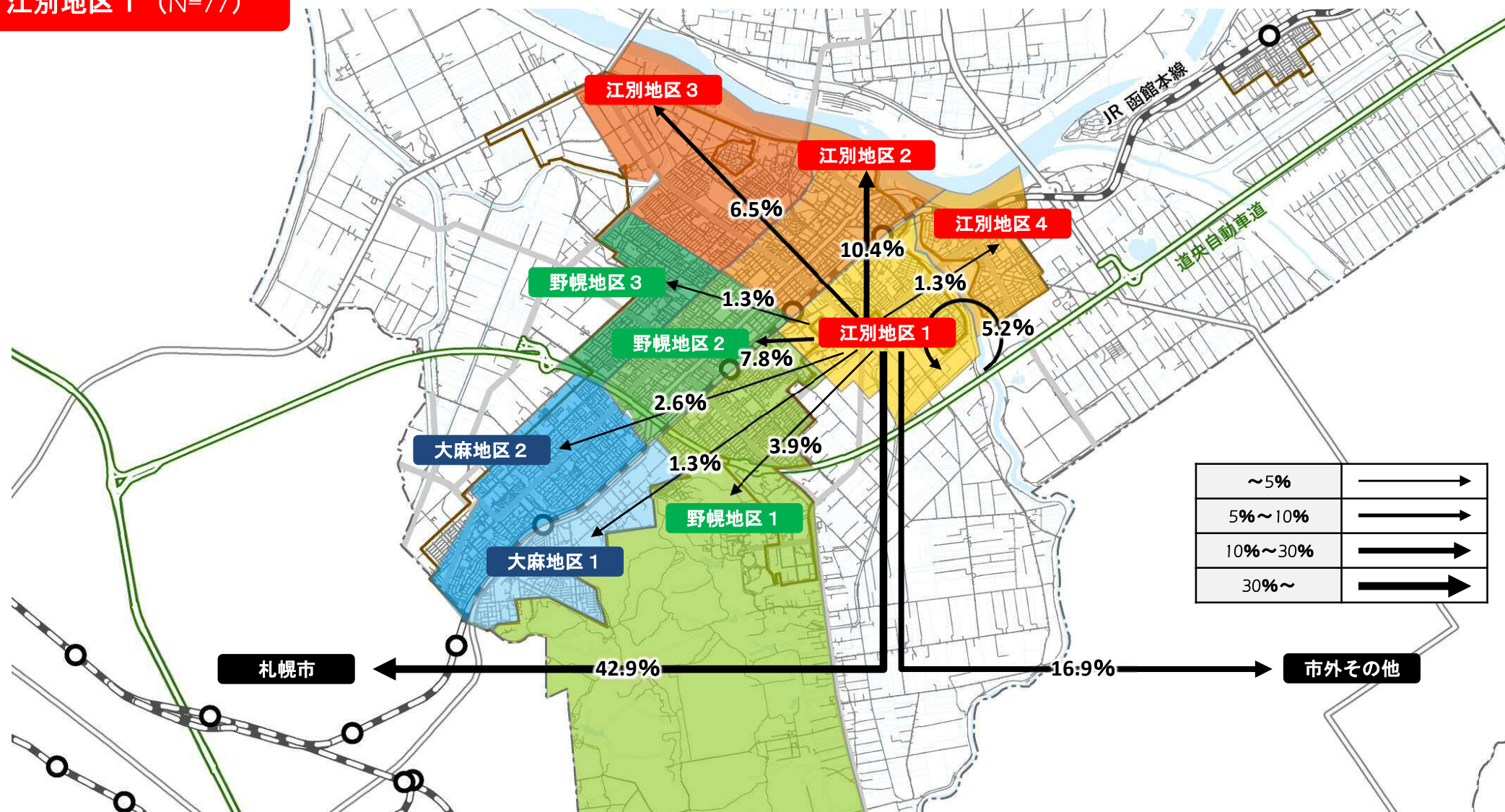


通勤・通学の地区別流動状況

母数は市内・市外の流動を合算した回答数 ※不明・無回答は除いた

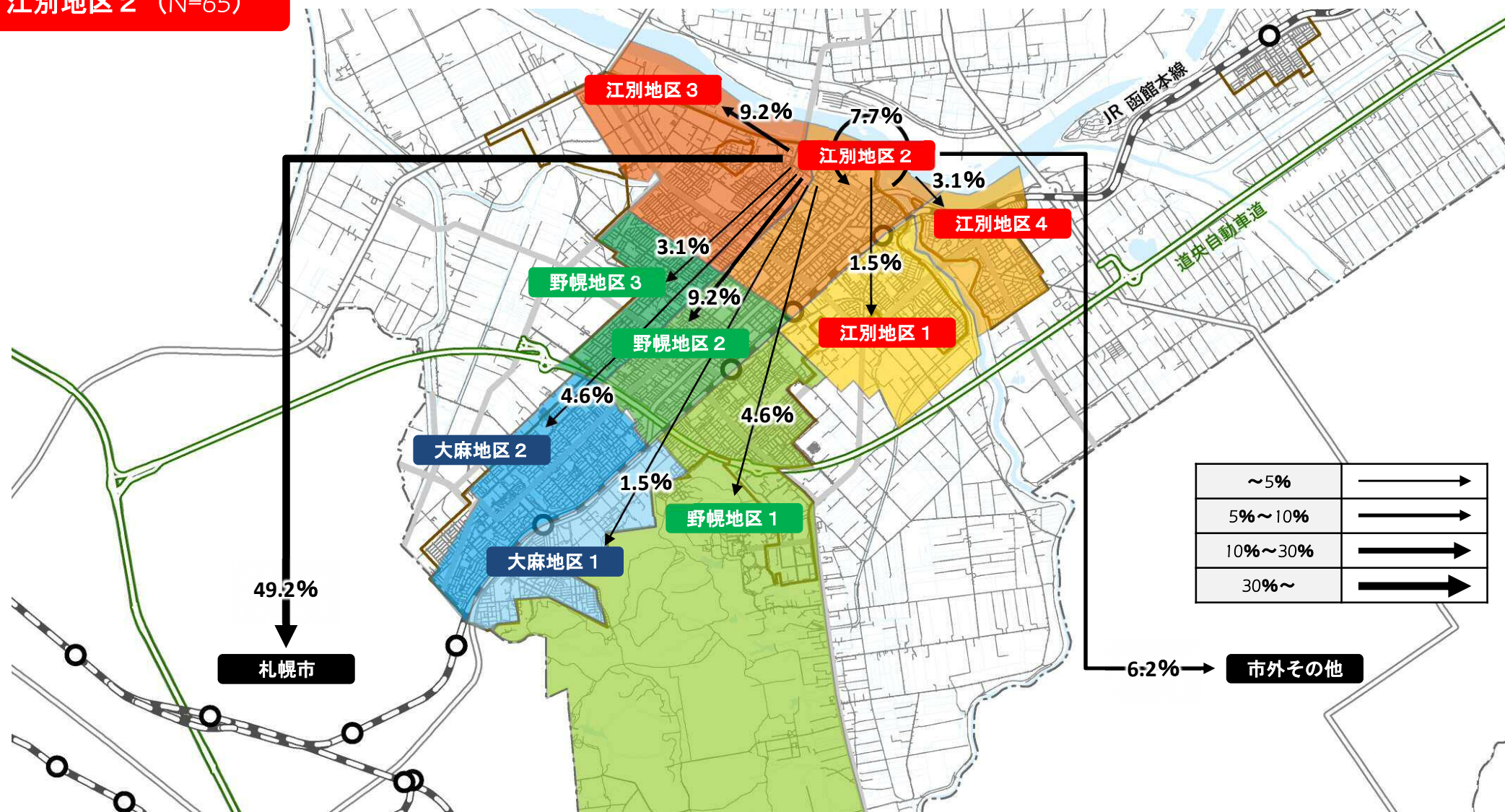
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が4割強となっています。また、市外その他の割合が約2割となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

江別地区 1 (N=77)



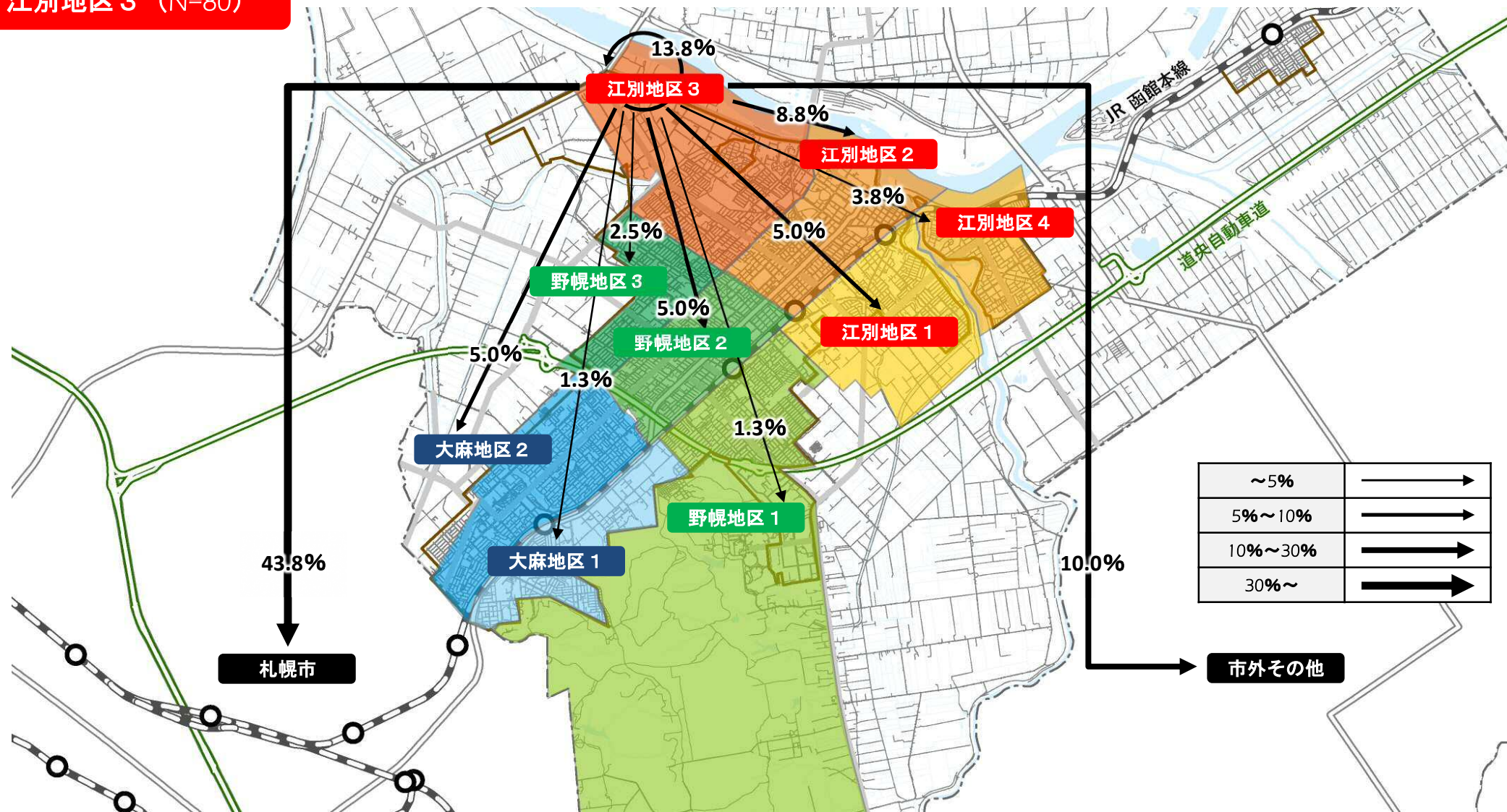
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が約半数となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

江別地区 2 (N=65)



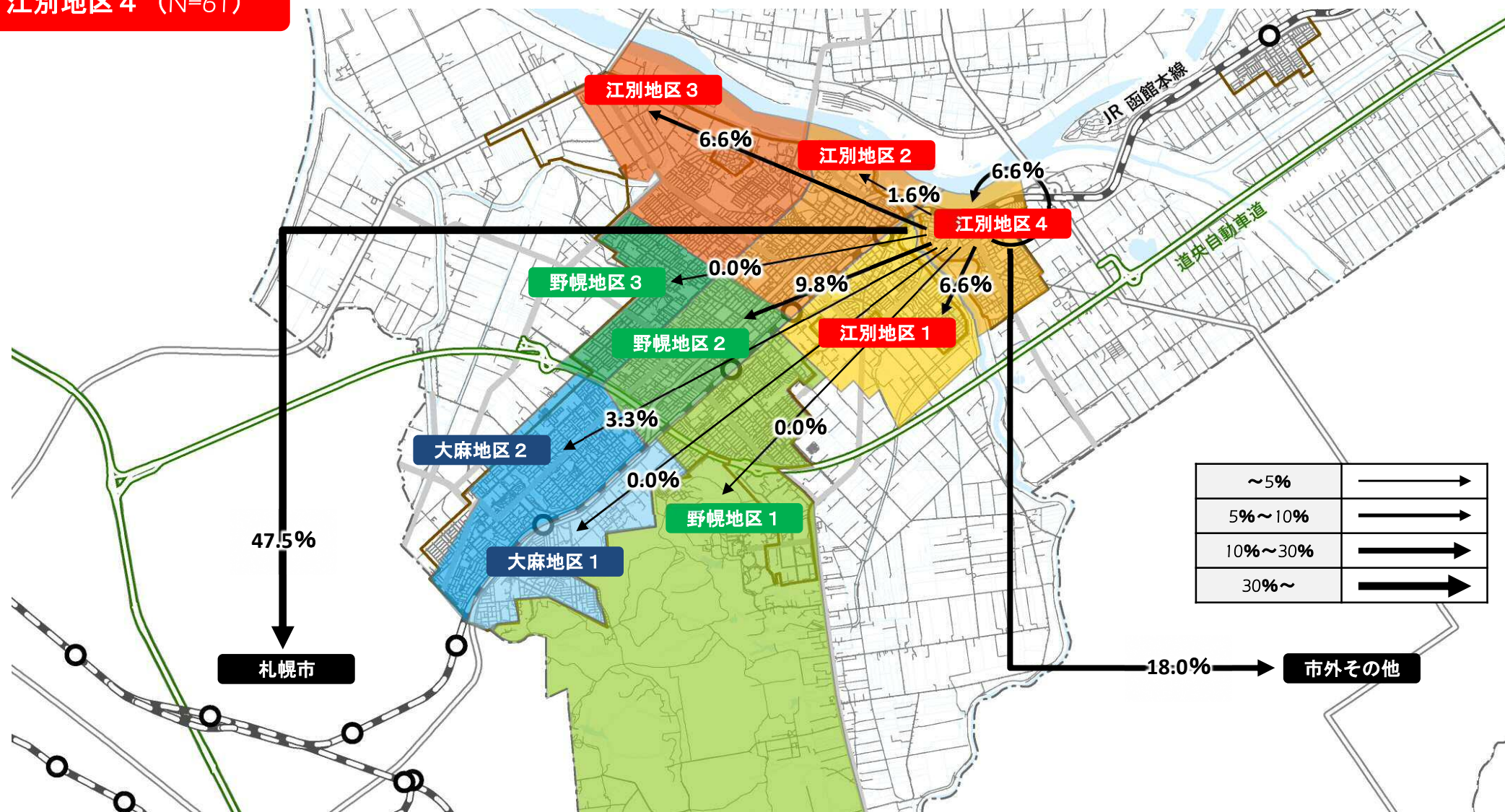
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が4割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

江別地区3 (N=80)



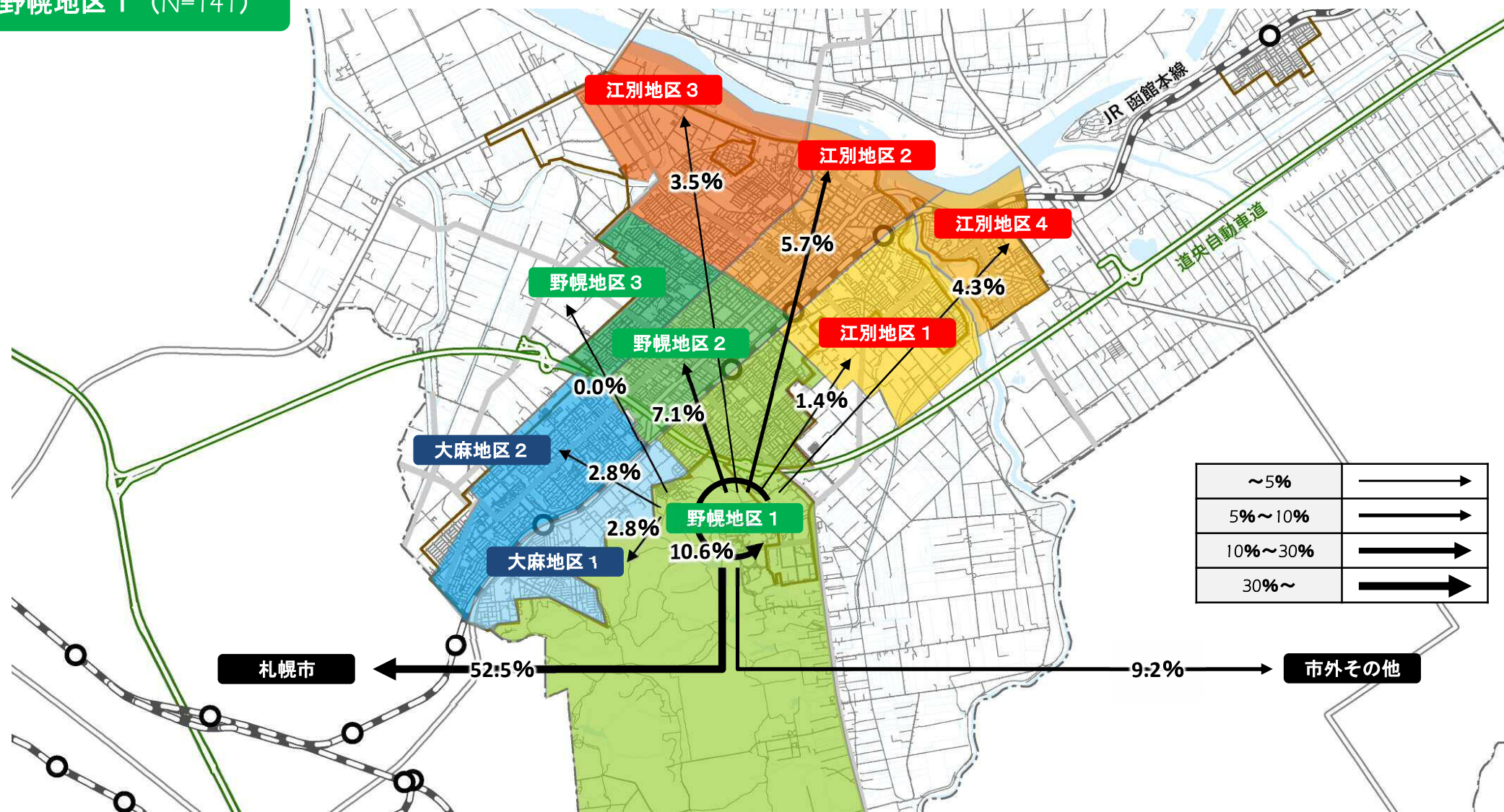
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が約半数となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。
- 回答数が少ないですが、野幌地区や大麻地区への移動において、JRの利用が見られます。

江別地区 4 (N=61)



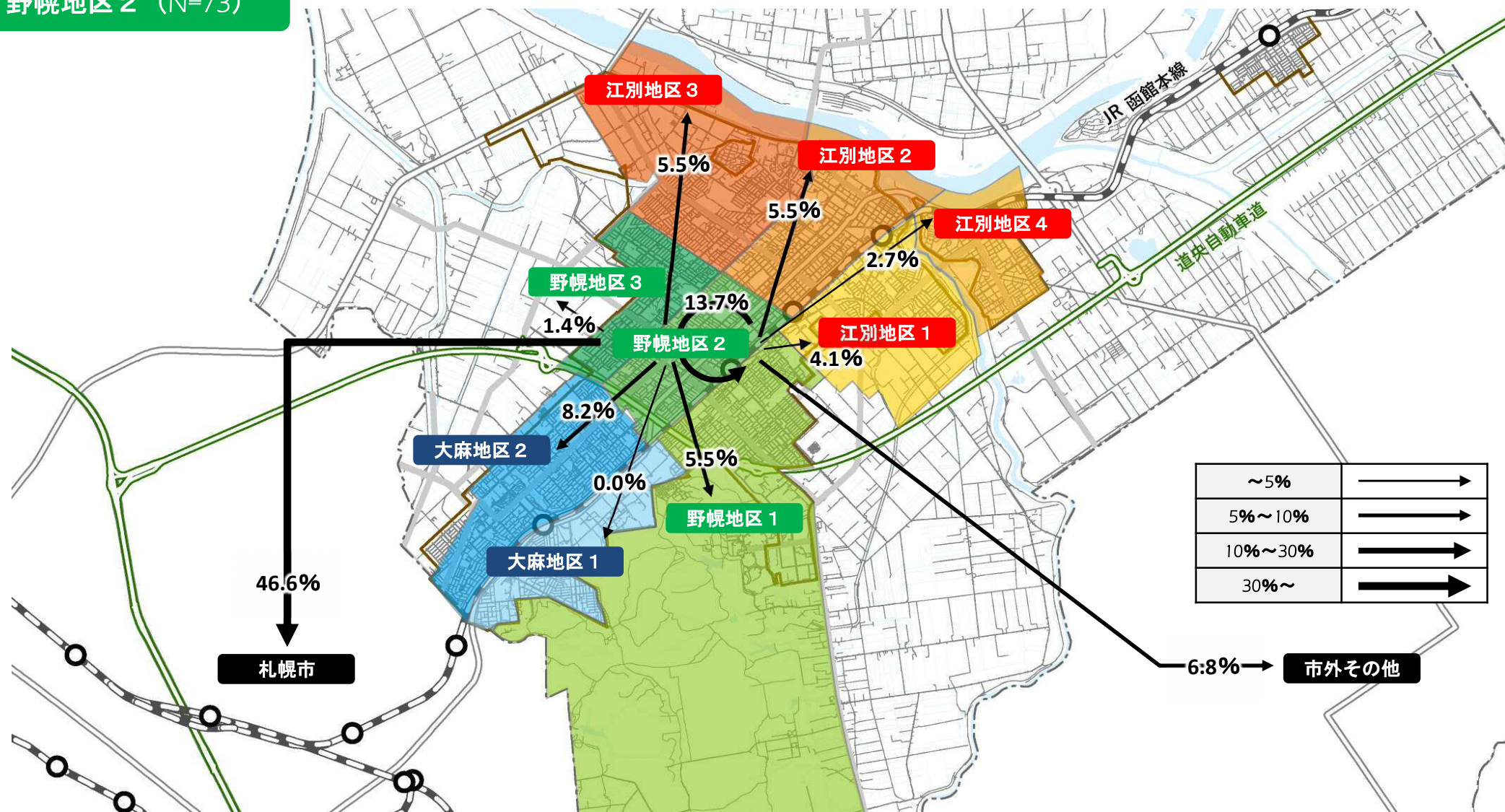
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が半数以上となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。同区内や隣接する地区への移動において、徒歩や自転車の利用が多くなっています。

野幌地区 1 (N=141)



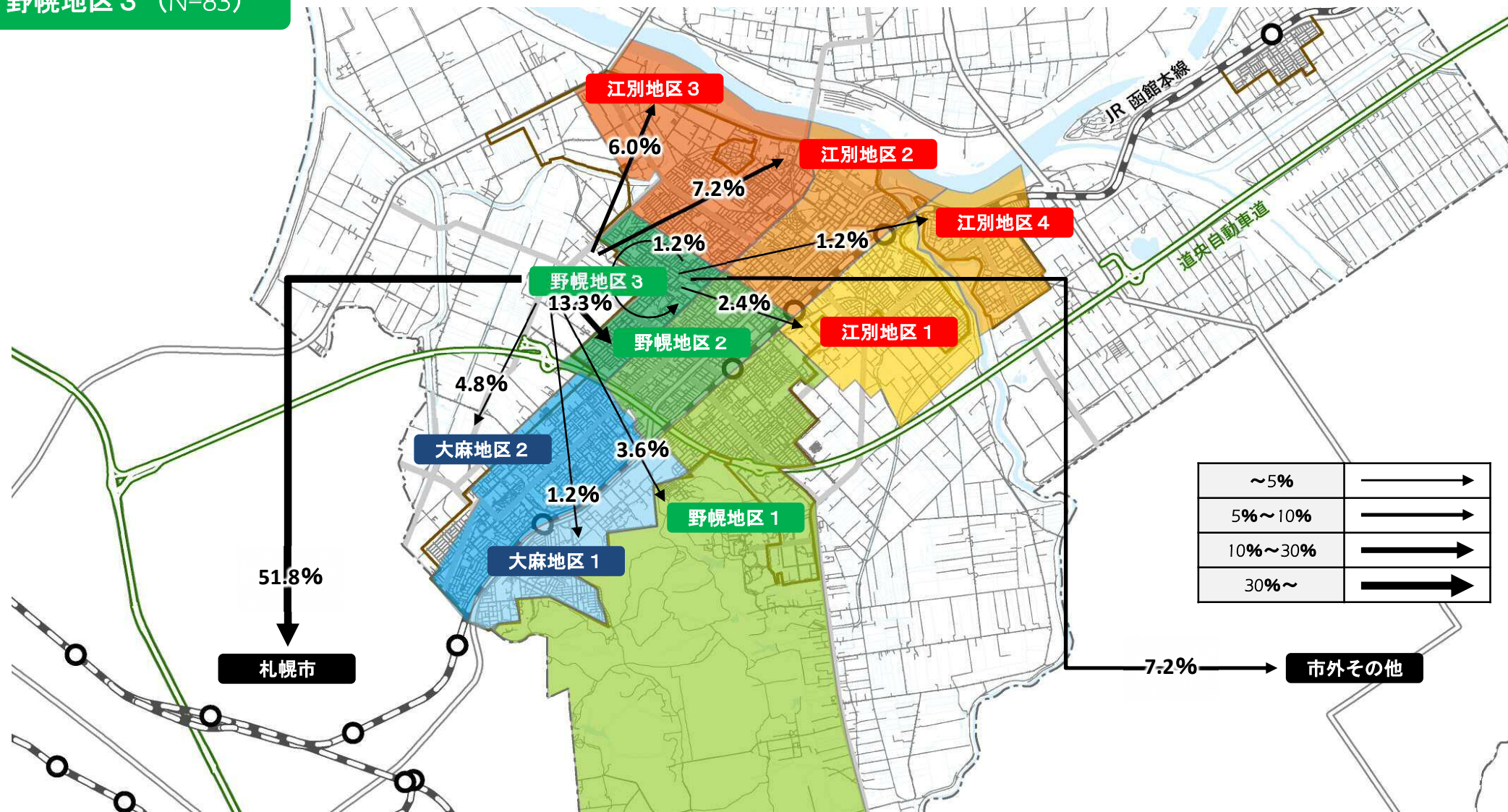
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が約半数となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。
- 回答数が少ないですが、路線バスやJRの利用が見られます。

野幌地区 2 (N=73)



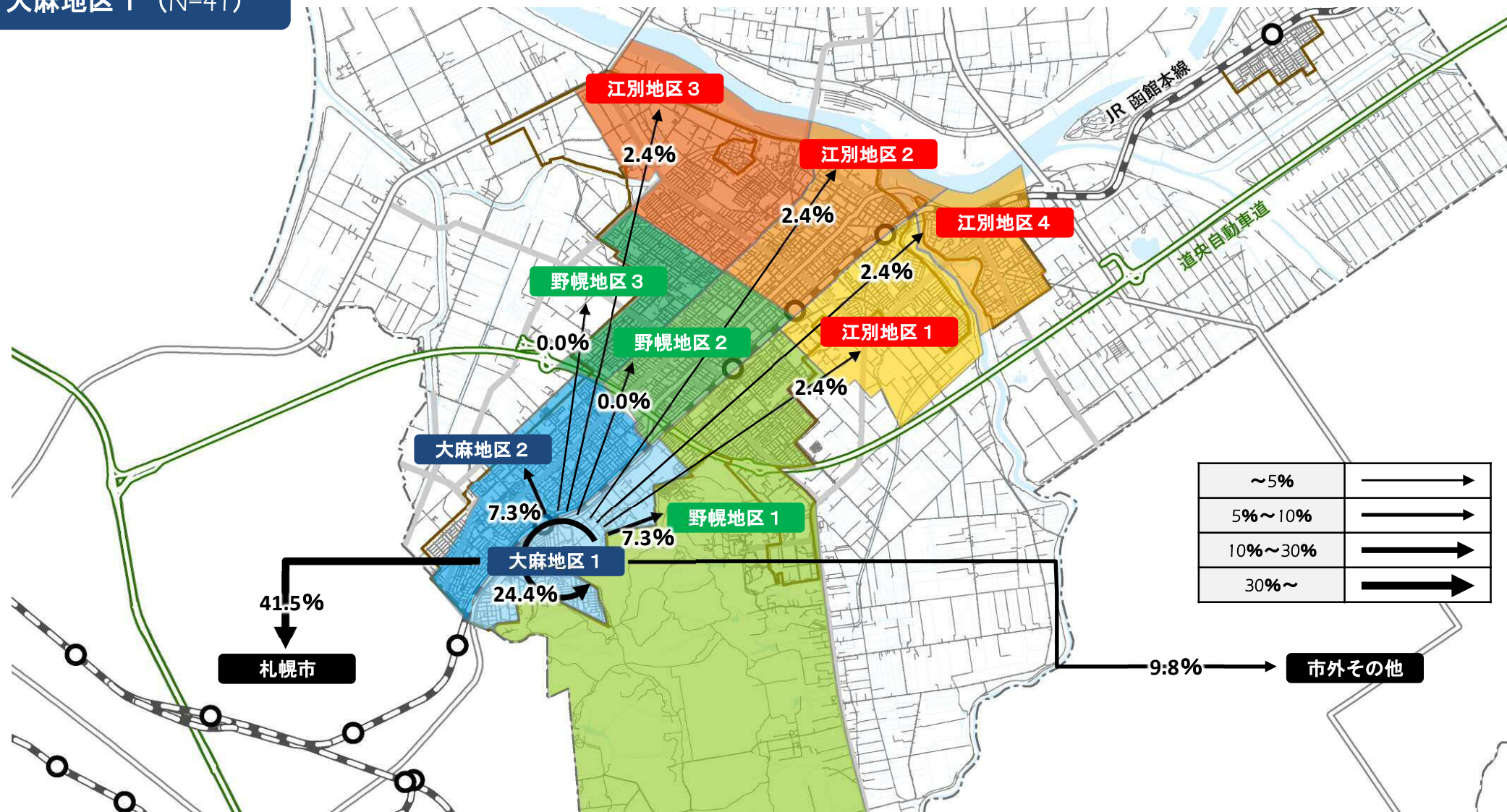
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が半数以上となっています。また、隣接する野幌地区2への割合が1割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

野幌地区3 (N=83)



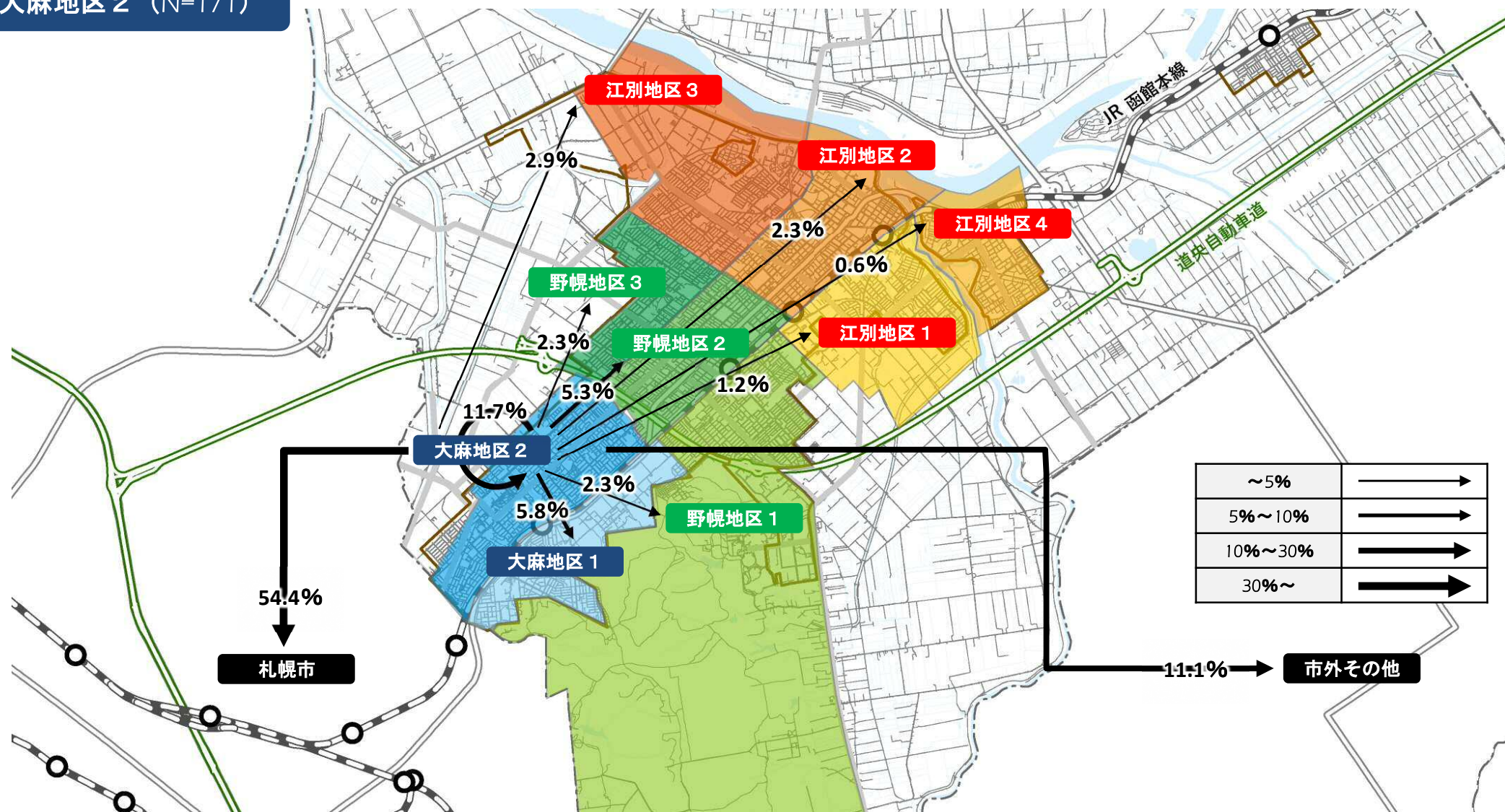
- 通勤・通学先は、札幌市の割合が4割強となっています。また、同地区内の割合が2割強と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

大麻地区1 (N=41)



- 通勤・通学先は、札幌市の割合が半数以上となっています。また、同地区内の割合が1割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。同地区内や大麻地区1への移動では、徒歩や自転車の利用が多く見られます。

大麻地区2 (N=171)



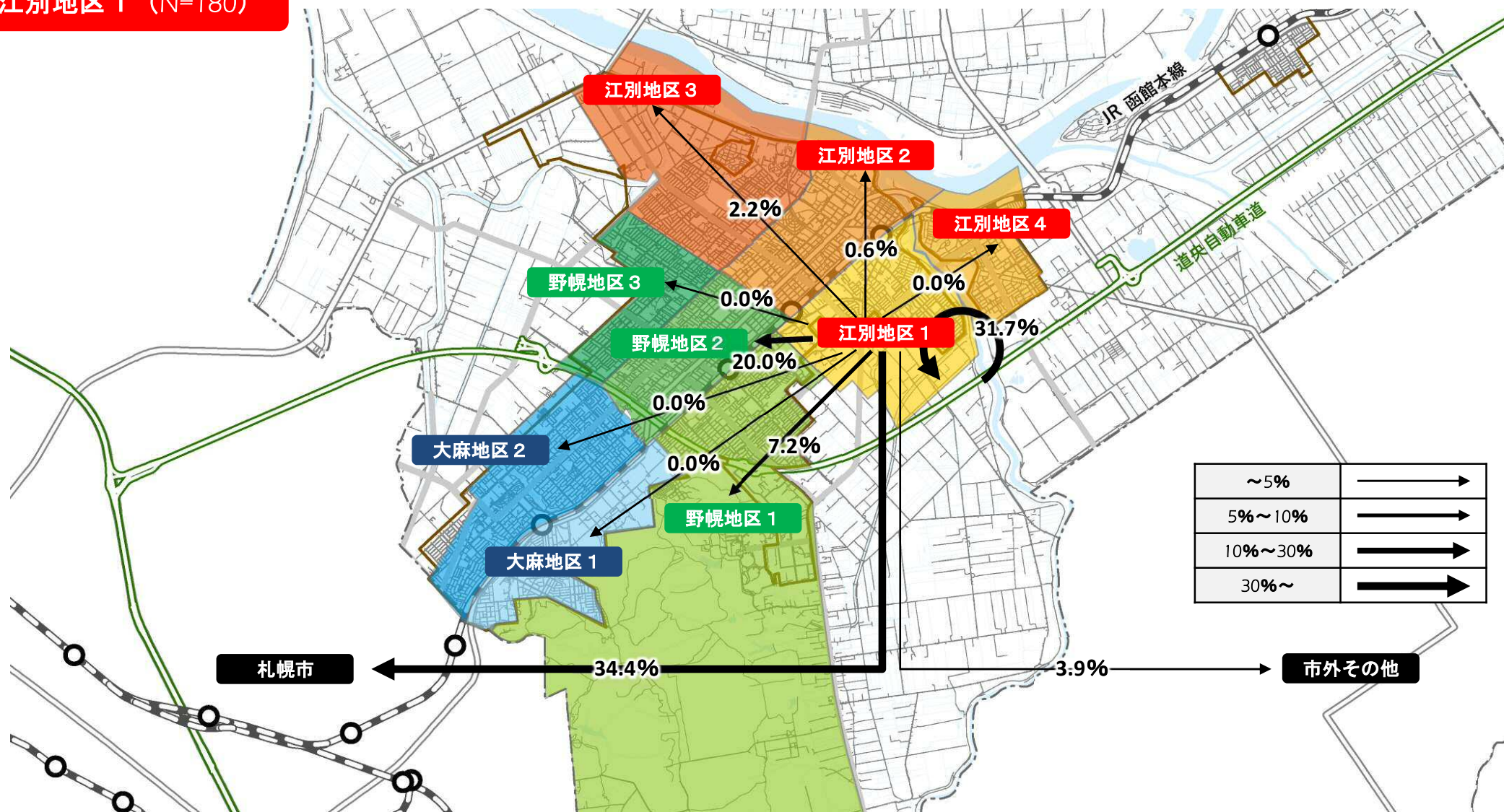
買物の地区別流動状況

母数は市内・市外の流動を合算した回答数 ※不明・無回答は除いた

買物の流動

- 買い物先は、札幌市と同地区内の割合が3割強と高くなっています。また、野幌地区2への割合が約2割と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。同地区内では徒歩や自転車の利用が見られます。

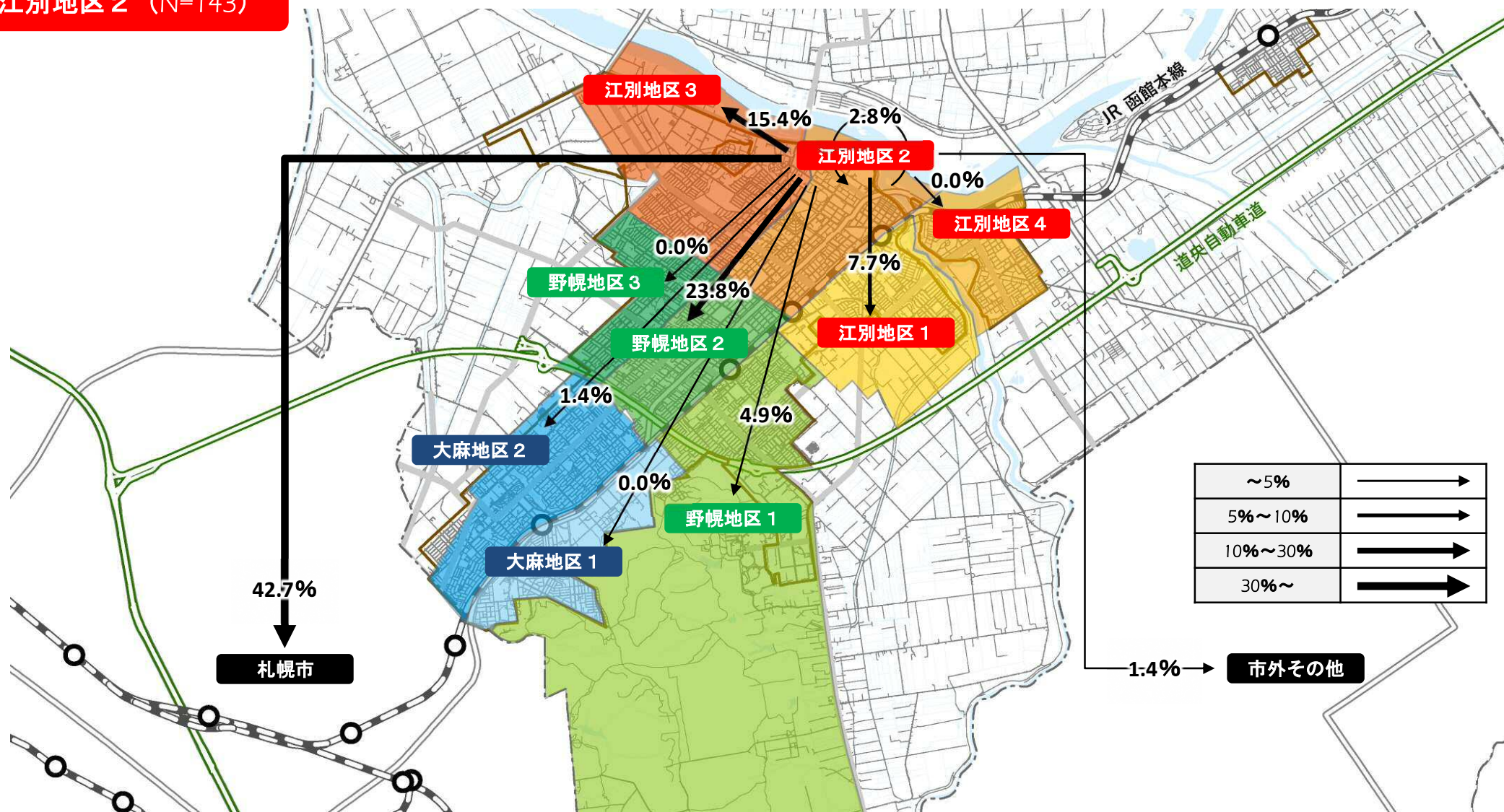
江別地区1 (N=180)



買物の流動

- 買い物先は、札幌市の割合が4割強と高くなっています。また、野幌地区2への割合が約2割以上と高くなっています。同地区内の割合は少ない状況です。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

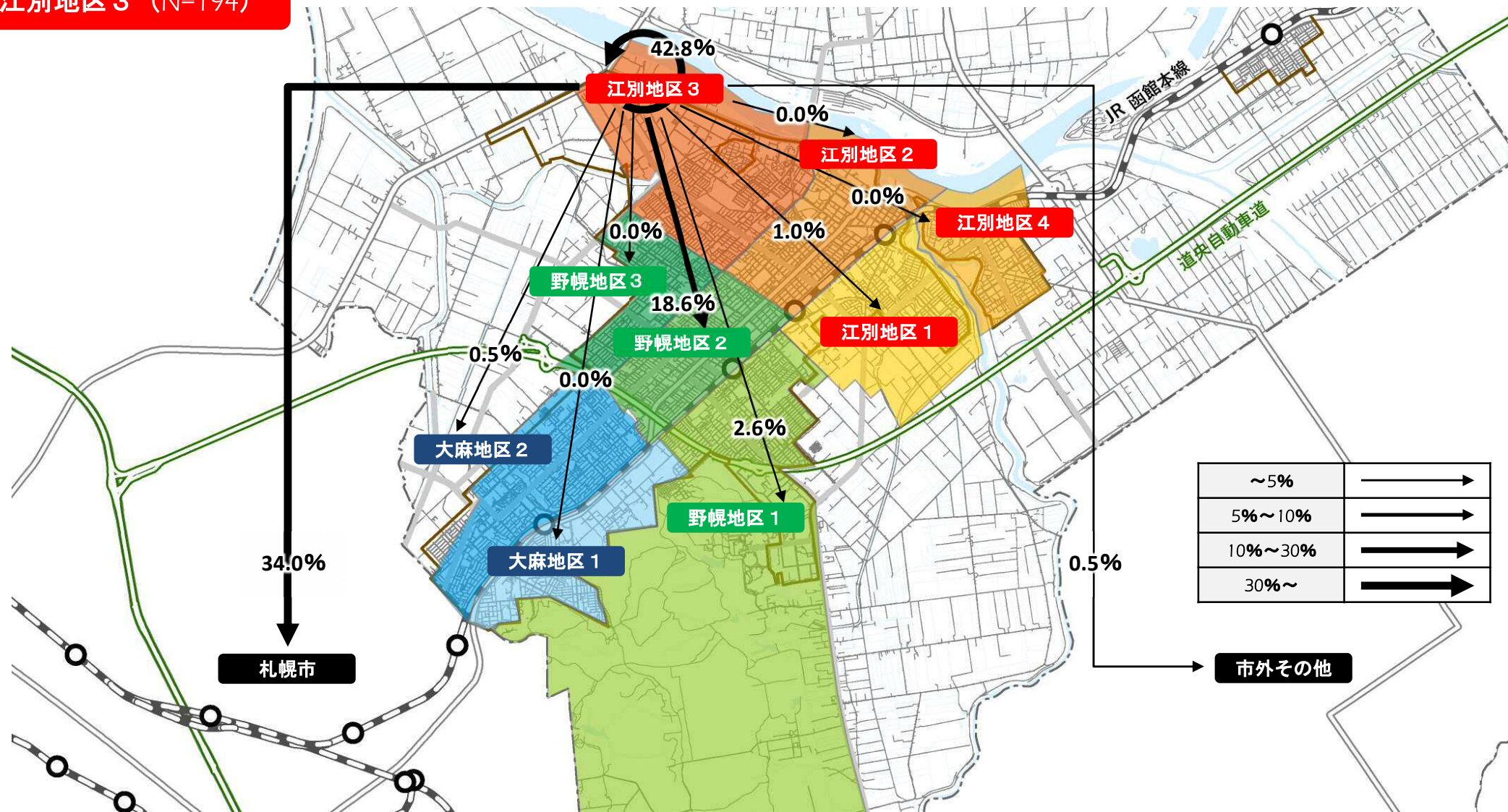
江別地区2 (N=143)



買物の流動

- 買い物先は、同区内の割合が4割強と高くなっています。また、札幌市の割合が3割強、野幌地区2の割合が約2割と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

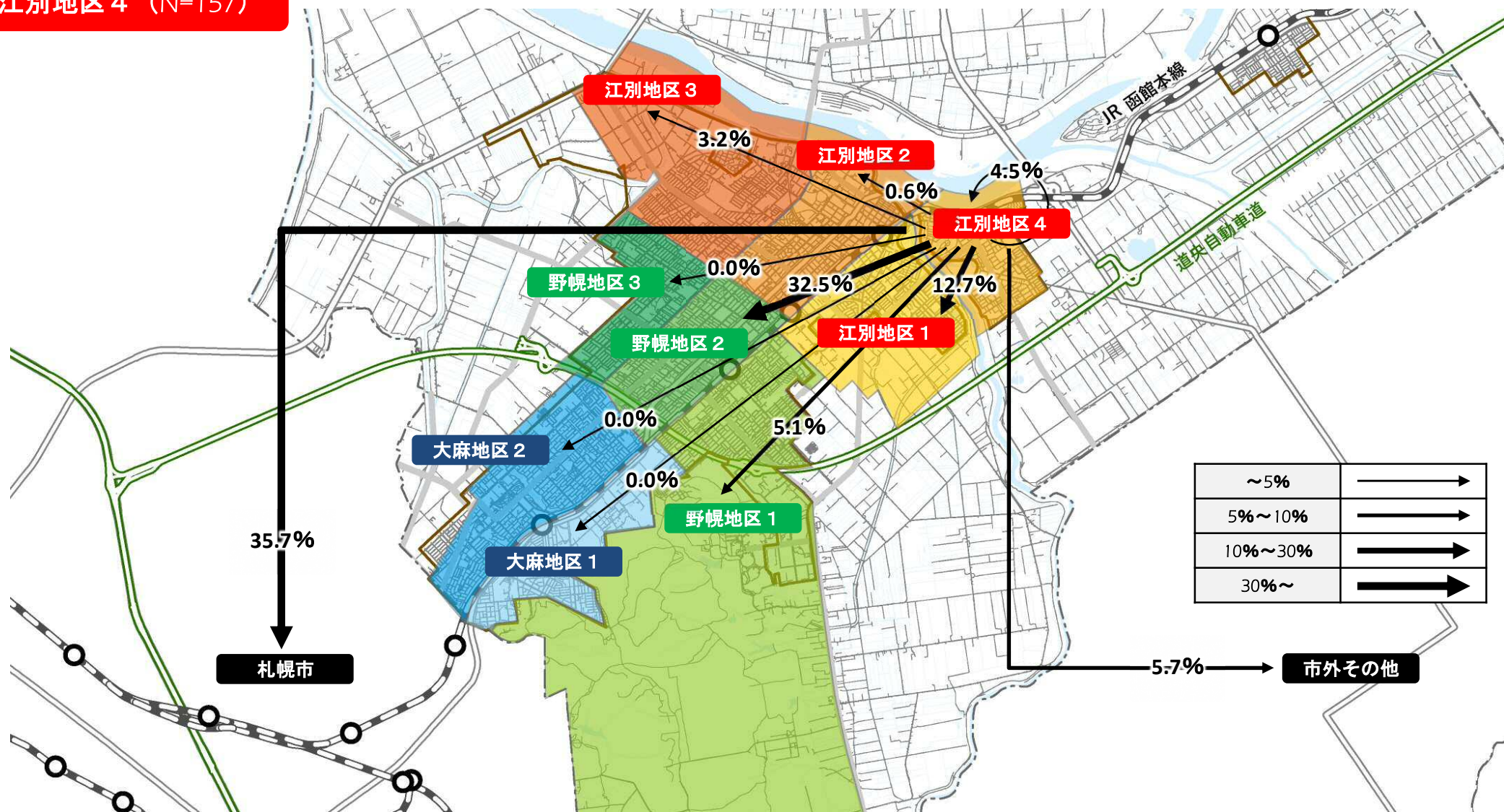
江別地区3 (N=194)



買物の流動

- 買い物先は、札幌市と野幌地区2の割合が3割強と高くなっています。同地区内の割合は少ない状況です。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

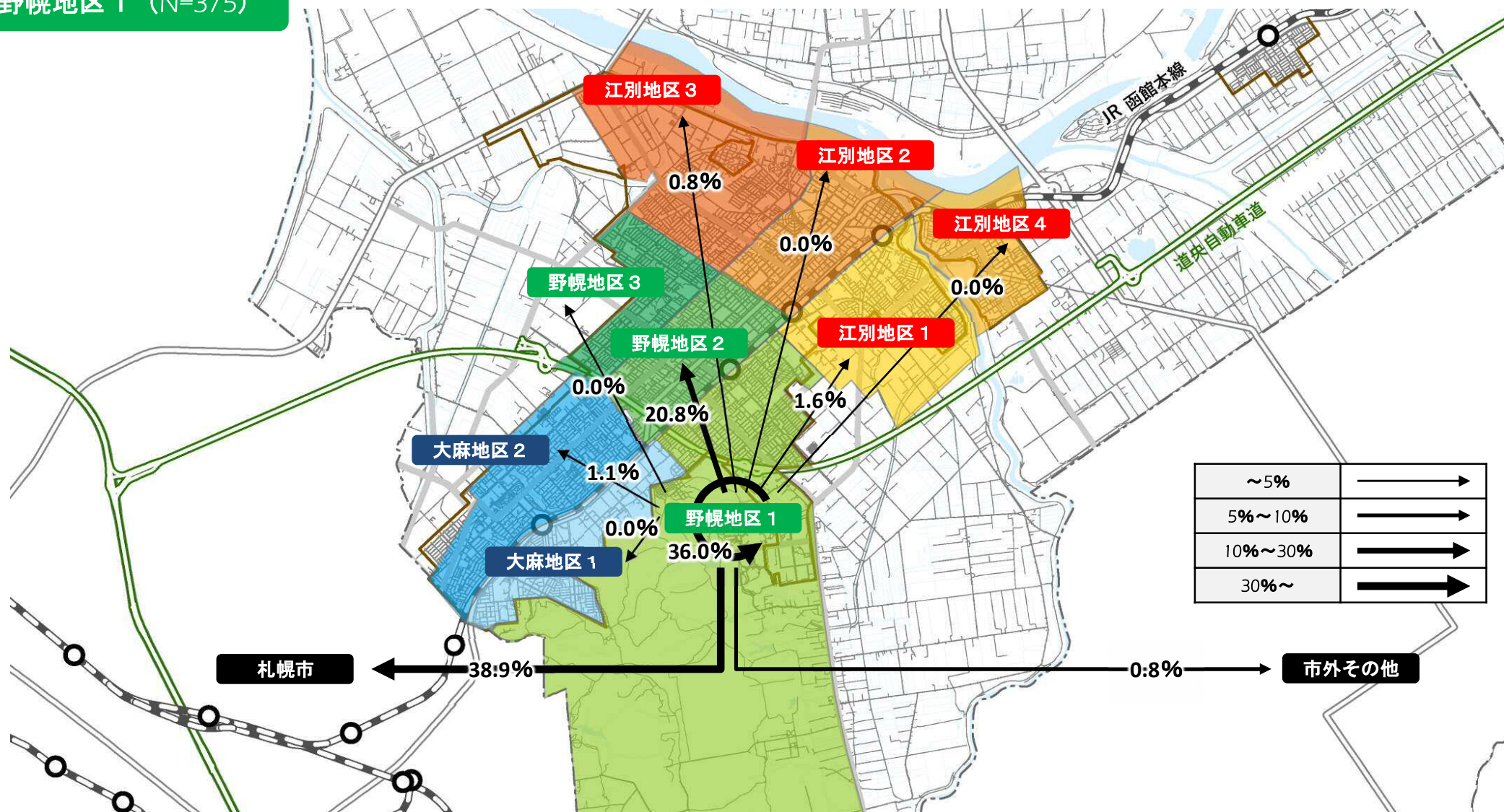
江別地区4 (N=157)



買物の流動

- 買い物先は、札幌市と同地区内の割合が約4割と高くなっています。また、野幌地区2の割合が2割強と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。同地区内や隣接する野幌地区2への移動では、徒歩や自転車の利用が見られます。

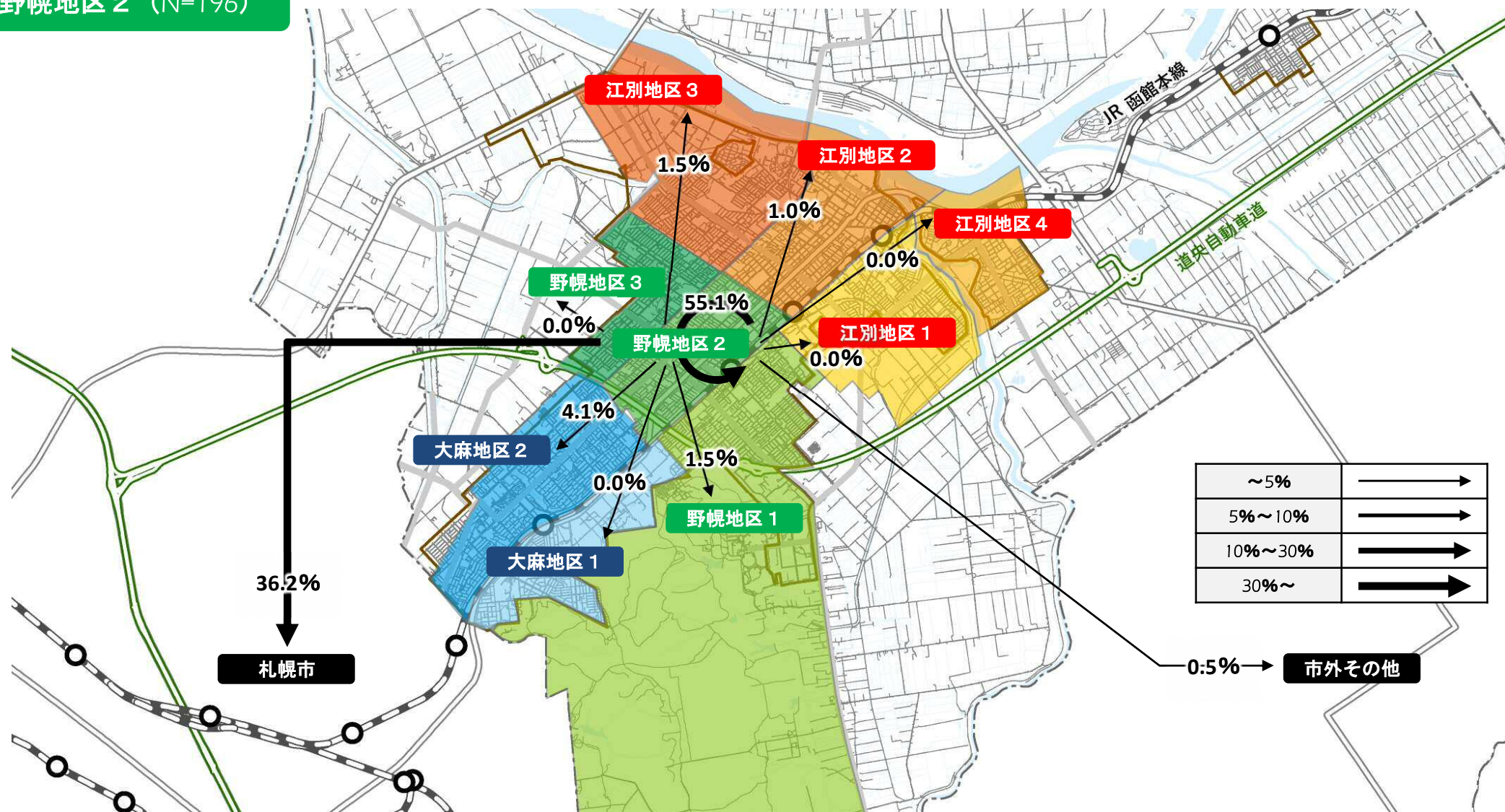
野幌地区1 (N=375)



買物の流動

- 買い物先は、同区内の割合が約6割と高くなっています。また、札幌市の割合が約4割と高くなっています。
- 移動手段は、同区内の移動において、徒歩・自転車と自家用車の割合がほぼ半数となっています。

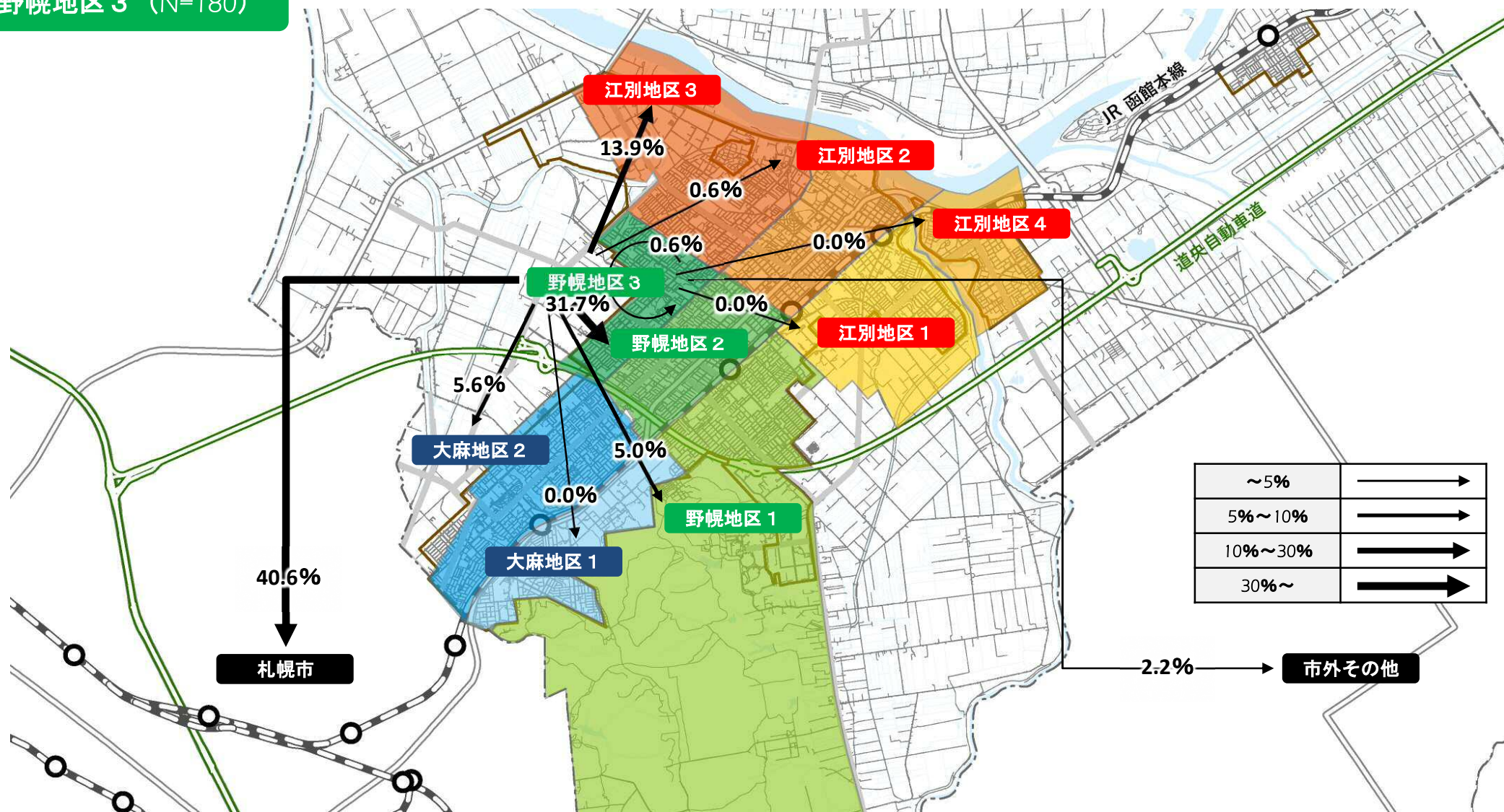
野幌地区2 (N=196)



買物の流動

- 買い物先は、札幌市の割合が4割強と高くなっています。また、野幌地区2の割合が3割強と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

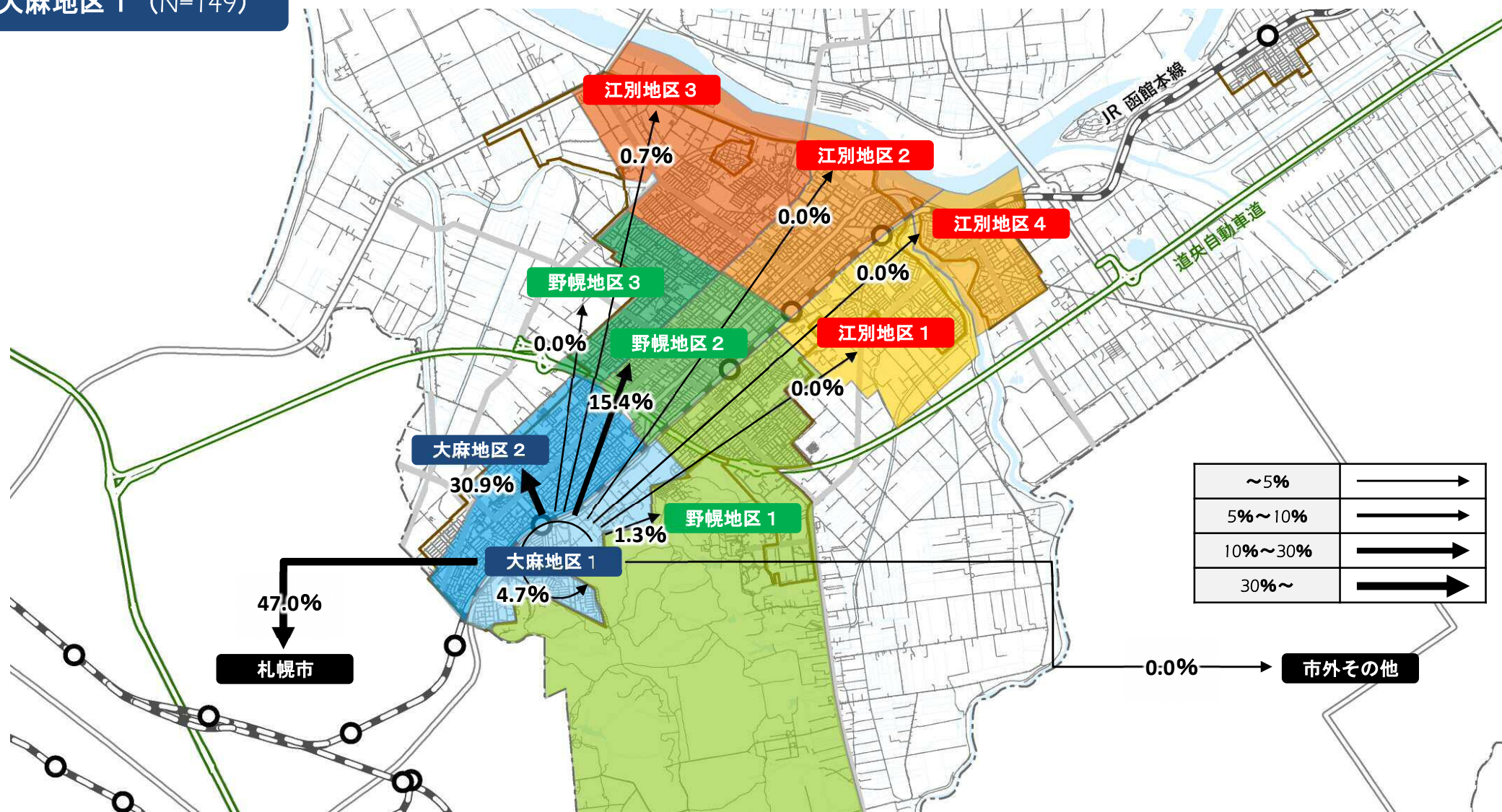
野幌地区3 (N=180)



買物の流動

- 買い物先は、札幌市の割合が約半数と高くなっています。また、大麻地区の割合が3割強と高くなっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっており、公共交通機関の利用は、ごく僅かです。

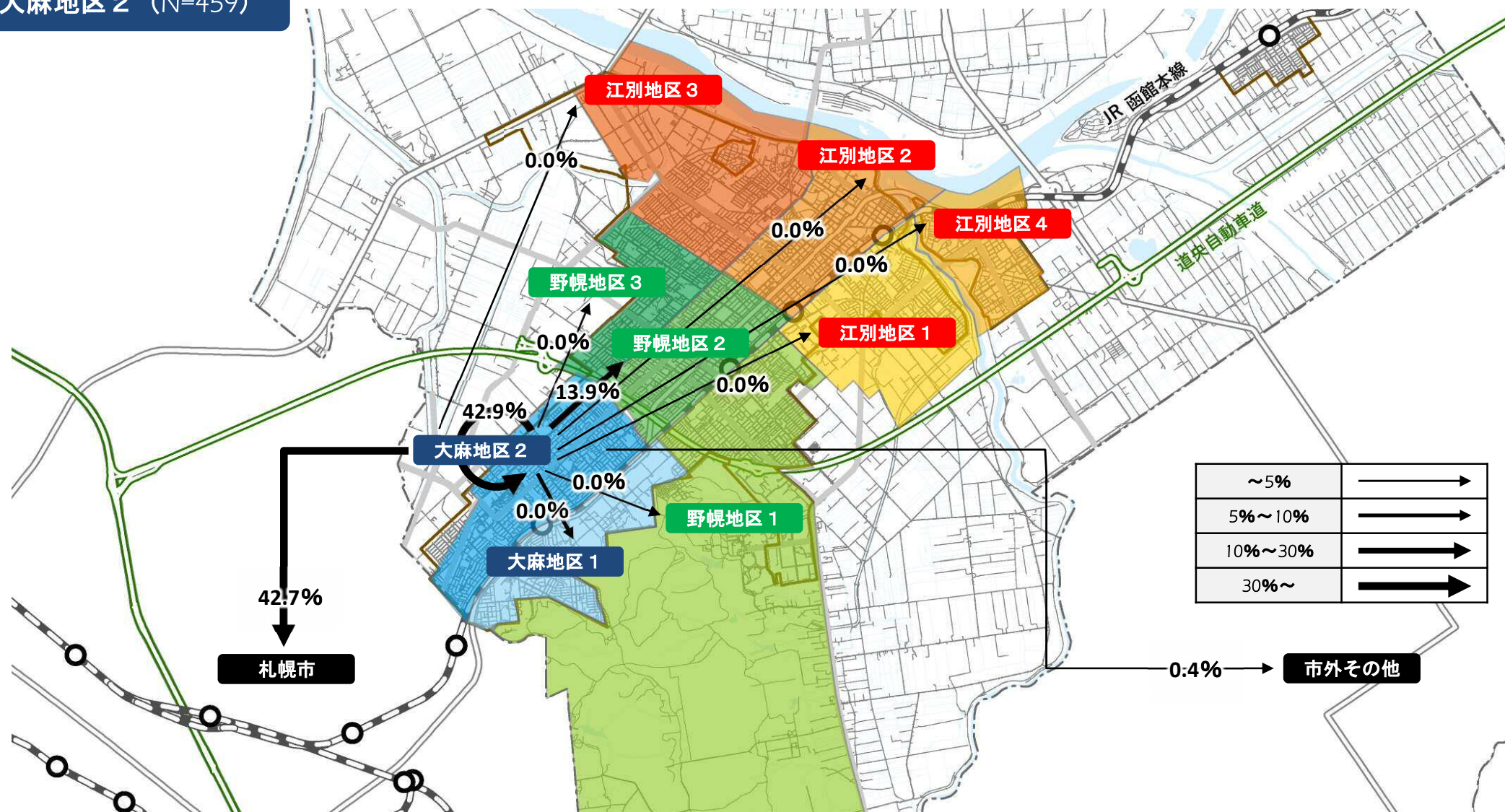
大麻地区 1 (N=149)



買物の流動

- 買い物先は、同区内と札幌市の割合が4割強と高くなっています。
- 移動手段は、同区内の移動において、徒歩・自転車と自家用車の割合がほぼ半数となっています。

大麻地区2 (N=459)



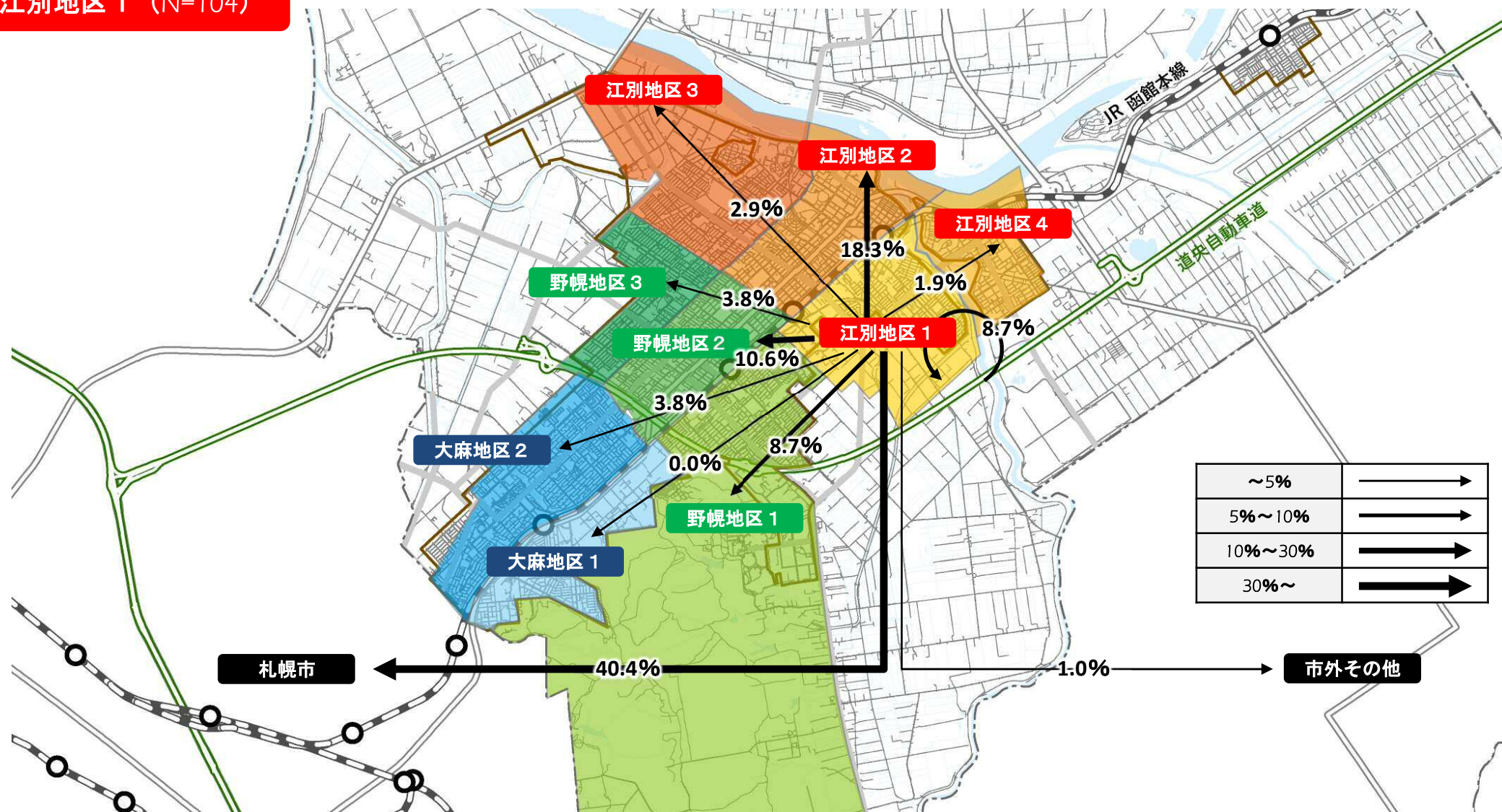
通院の地区別流動状況

母数は市内・市外の流動を合算した回答数 ※不明・無回答は除いた

通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が4割強と高くなっています。江別市立病院がある江別地区2の割合は、約2割となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。江別地区2や野幌地区1への移動において、公共交通機関の利用が見られます。

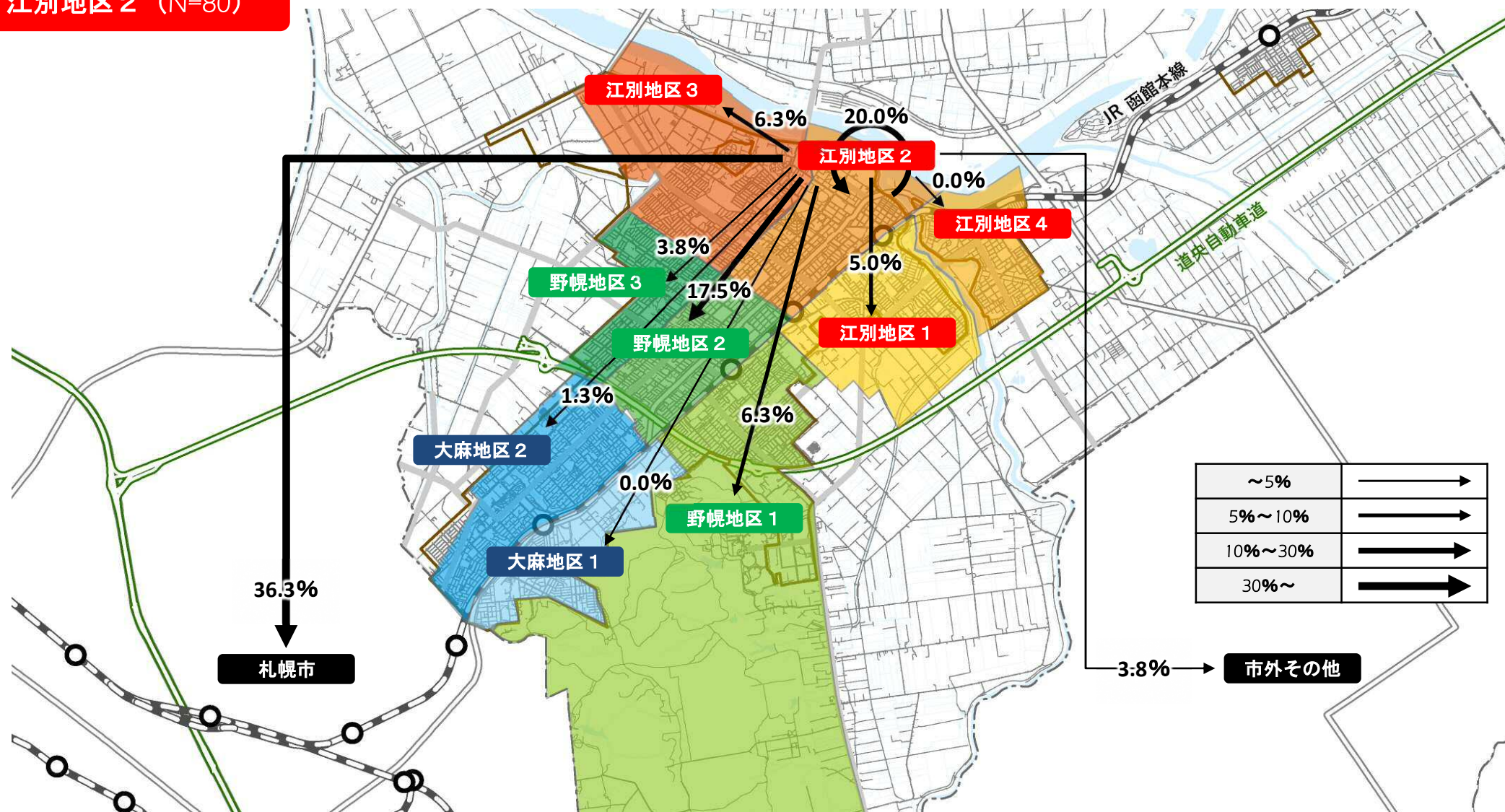
江別地区1 (N=104)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が約4割と高くなっています。江別市立病院がある同地区内の割合は、約2割となっています。また、野幌地区2の割合も約2割となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。また、同地区内では、徒歩の割合が高くなっています。

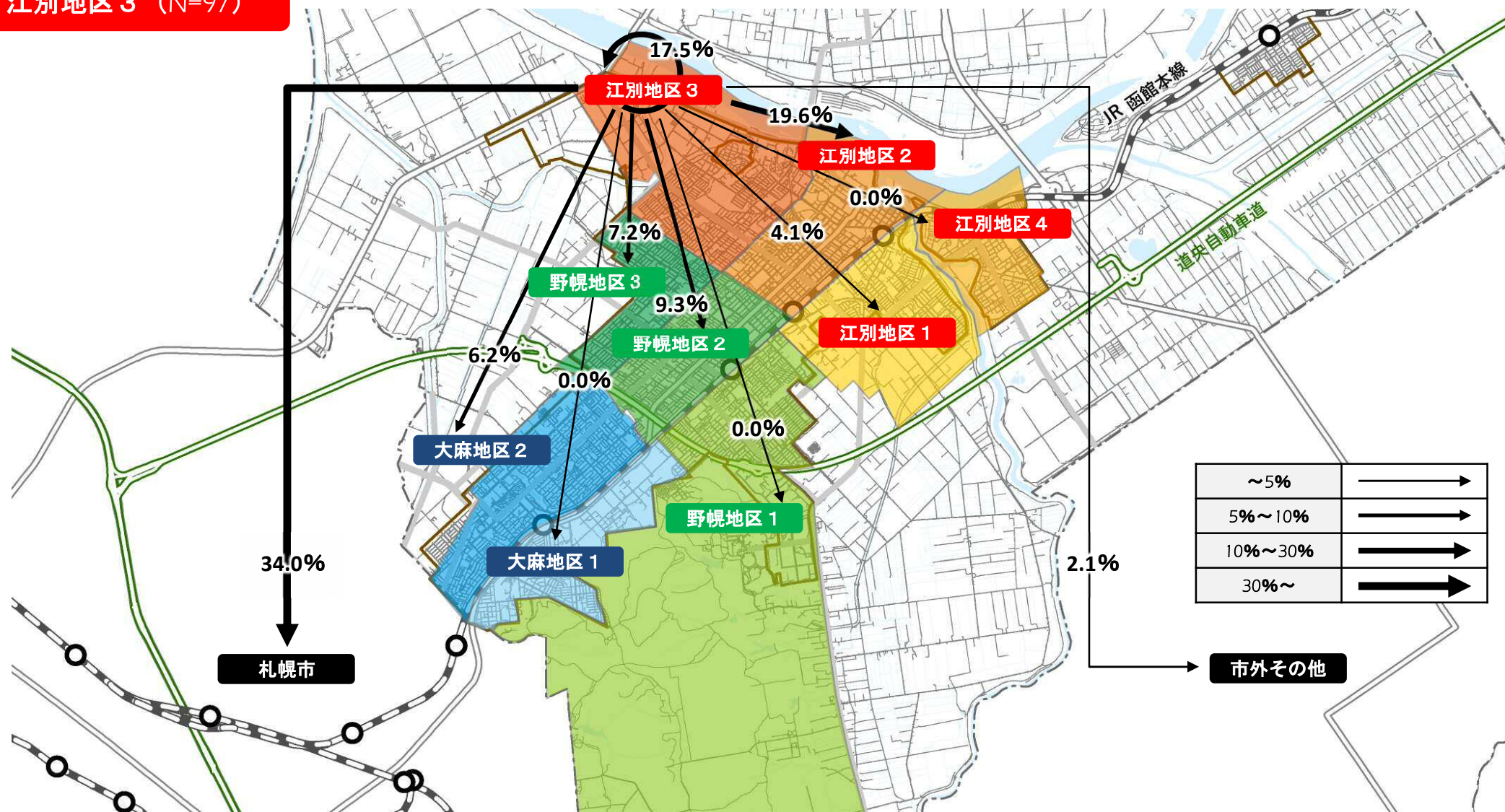
江別地区 2 (N=80)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が3割強と高くなっています。江別市立病院がある江別地区2や同地区内の割合は、約2割となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。また、僅かですが、路線バスやタクシーの利用も見られます。

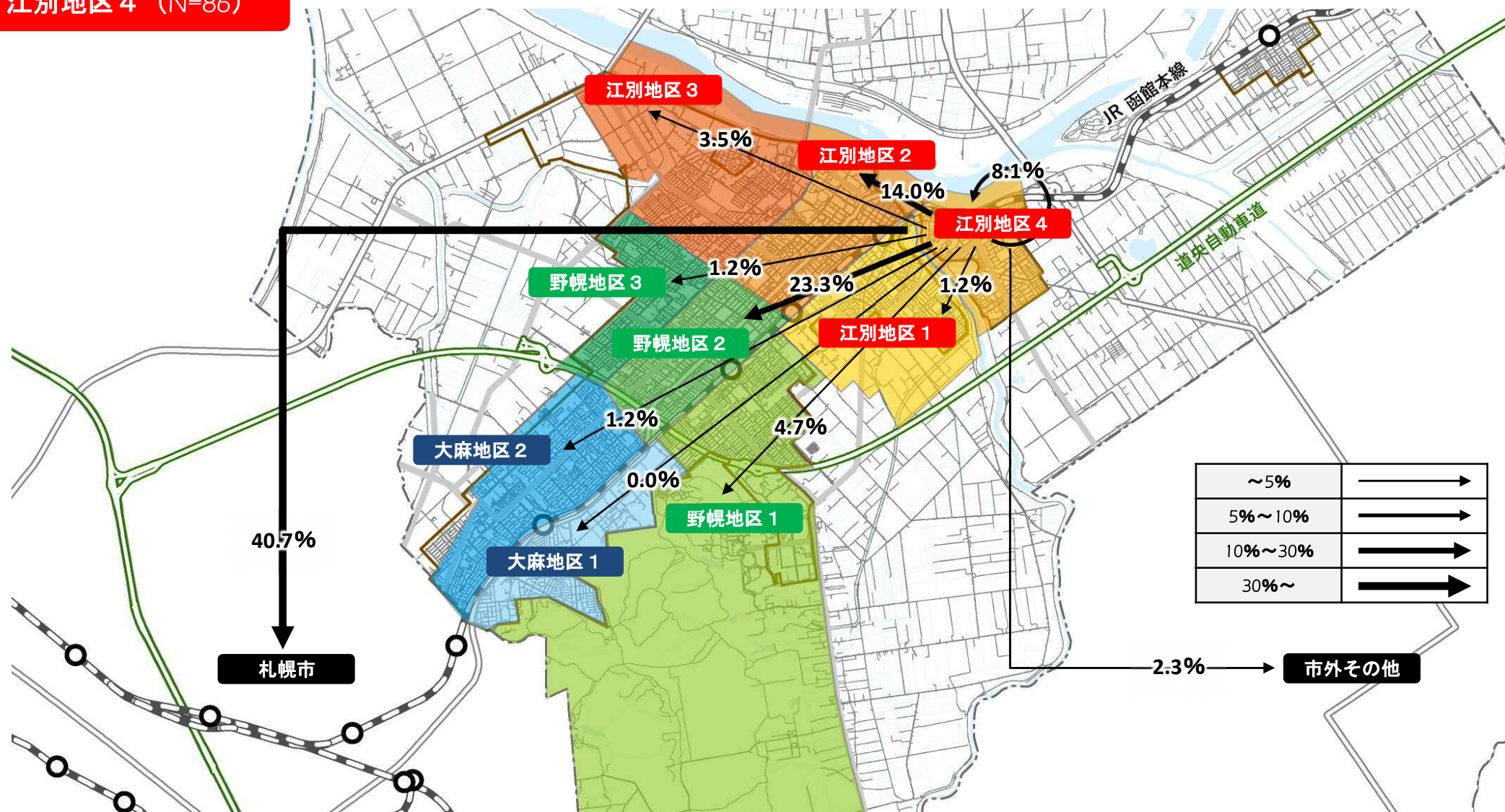
江別地区3 (N=97)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が4割強と高くなっています。また、野幌地区2の割合が2割強となっており、江別市立病院がある江別地区2の割合は、1割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。野幌地区2への移動において、路線バスやJRの利用が見られます。

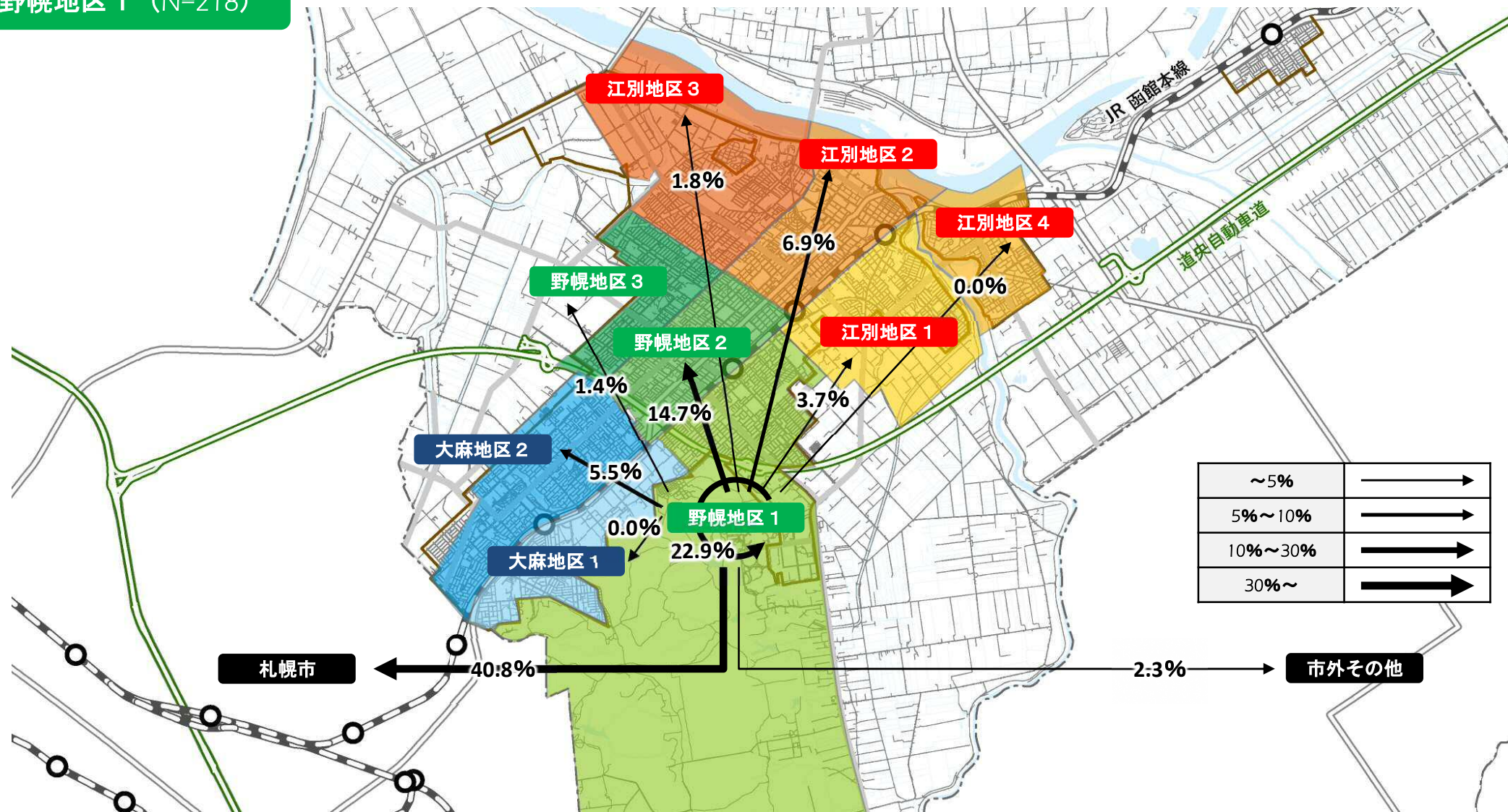
江別地区4 (N=86)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が4割強と高くなっています。また、同地区内の割合が2割強となっており、次いで野幌地区2の割合が1割強となっています。江別市立病院がある江別地区2の割合は、1割未満となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。同地区内や隣接する野幌地区2への移動では、徒歩や自転車の利用が見られます。

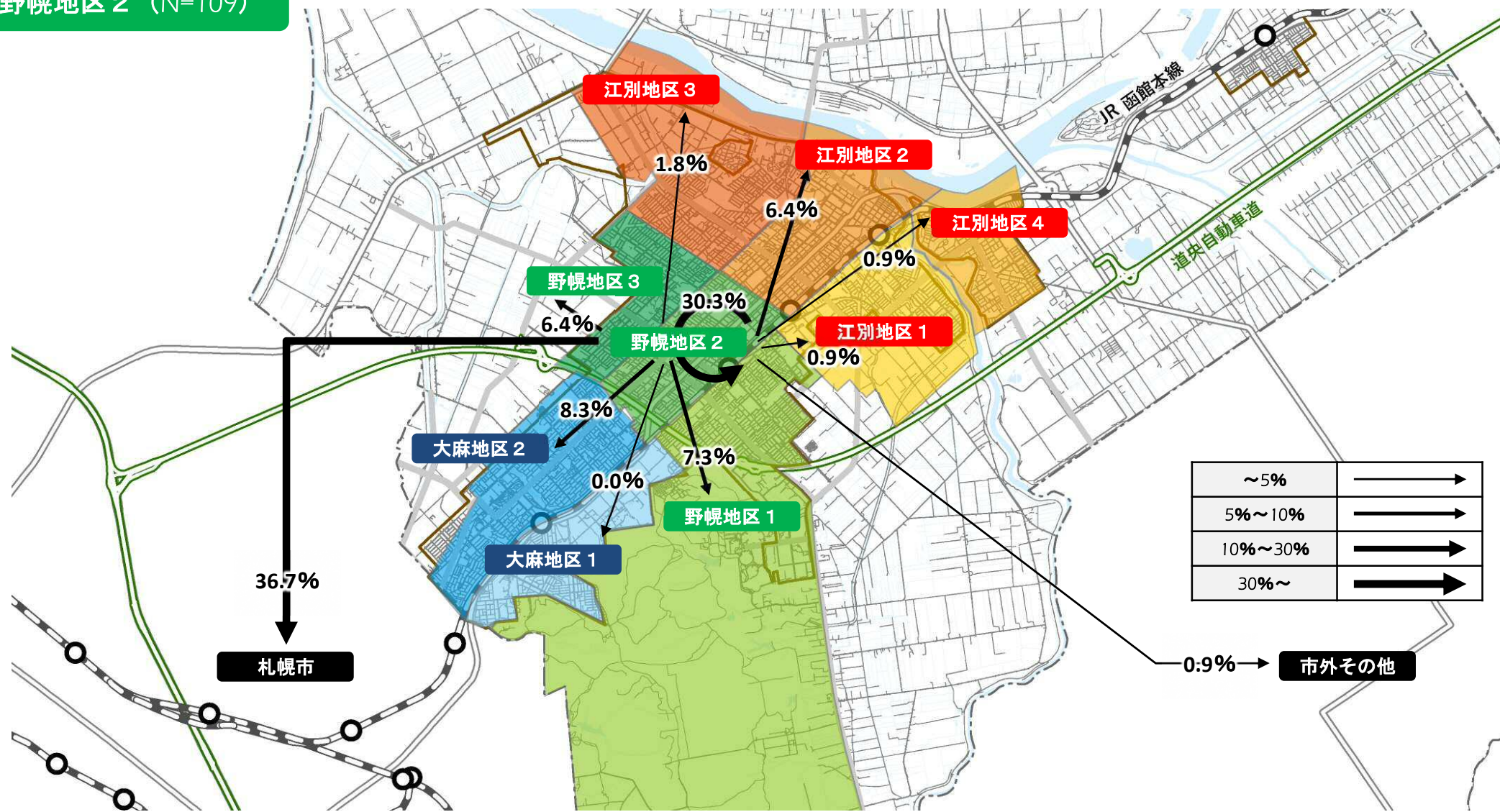
野幌地区1 (N=218)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が約4割と高くなっています。また、同地区内の割合が3割強となっています。江別市立病院がある江別地区2の割合は、1割未満となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。同地区内や隣接する地区への移動では、徒歩が割合が高くなっています。

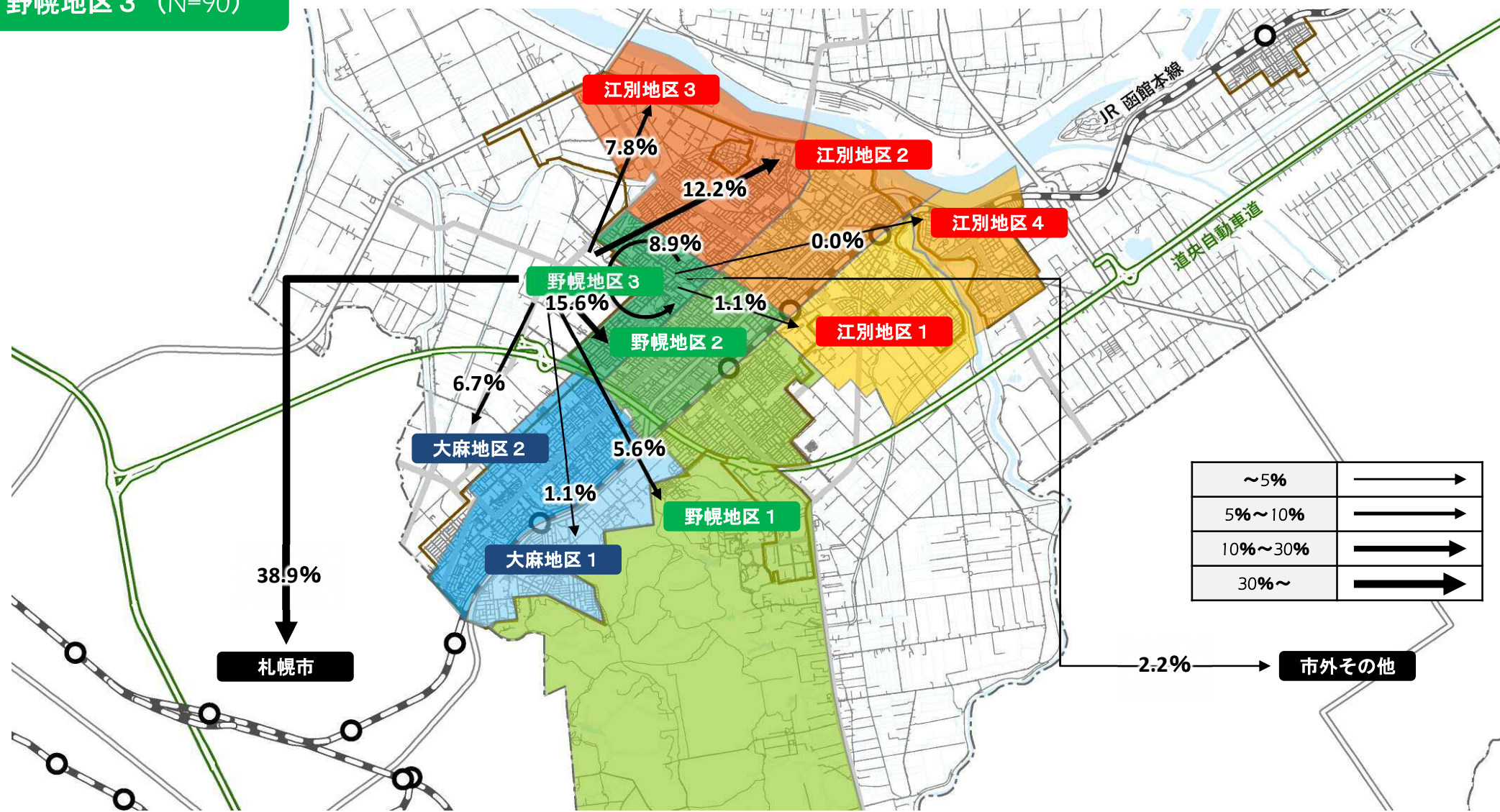
野幌地区2 (N=109)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が約4割と高くなっています。また、同地区内の割合が約2割となっており、次いで江別市立病院がある江別地区2の割合が、1割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっています。江別地区2への移動では、路線バスやタクシーの利用が見られます。

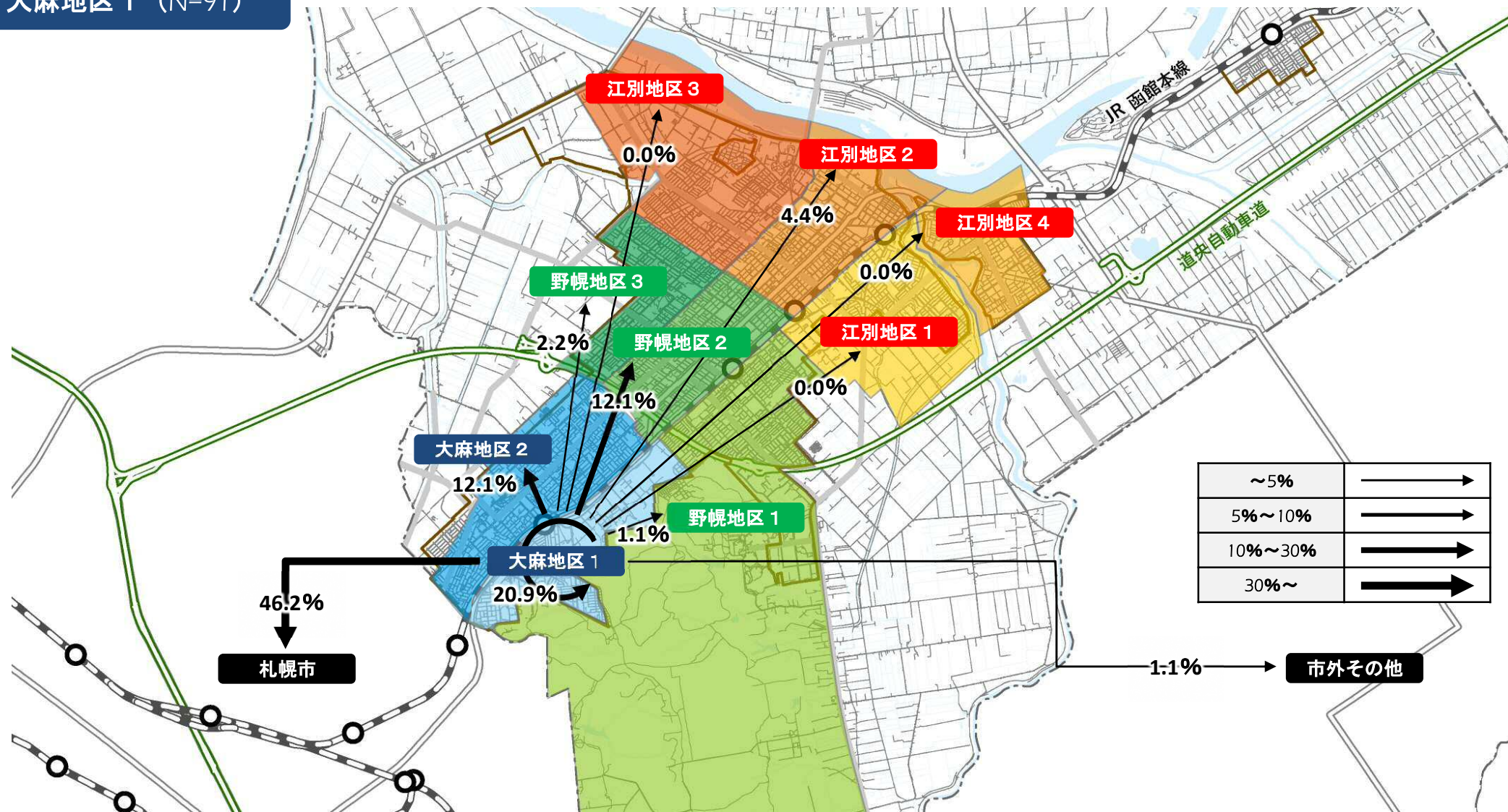
野幌地区3 (N=90)



通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が約半数と高くなっています。また、同地区内の割合が2割強となっています。
- 移動手段は、同地区内では、徒歩や自転車の割合が高くなっています。大麻地区1や野幌地区2、江別地区2への移動では、路線バスの利用が見られます。

大麻地区1 (N=91)

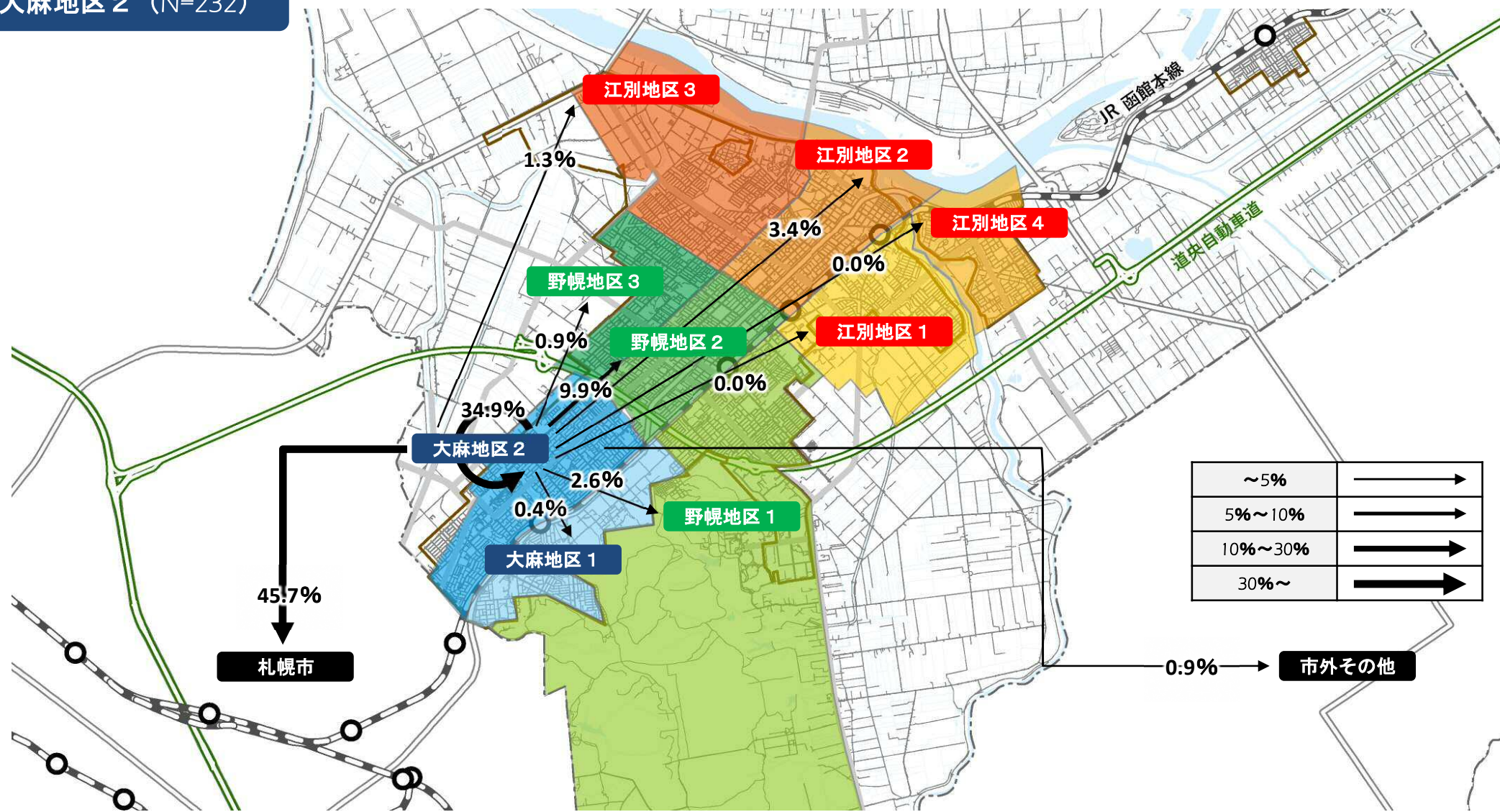


~5%	→
5%~10%	→→
10%~30%	→→→
30%~	→→→→

通院の流動

- 通院先は、札幌市の割合が約半数と高くなっています。また、同地区内の割合が3割強となっています。
- 移動手段は、自家用車の割合が高くなっていますが、野幌地区2への移動では、路線バスの利用が見られます。

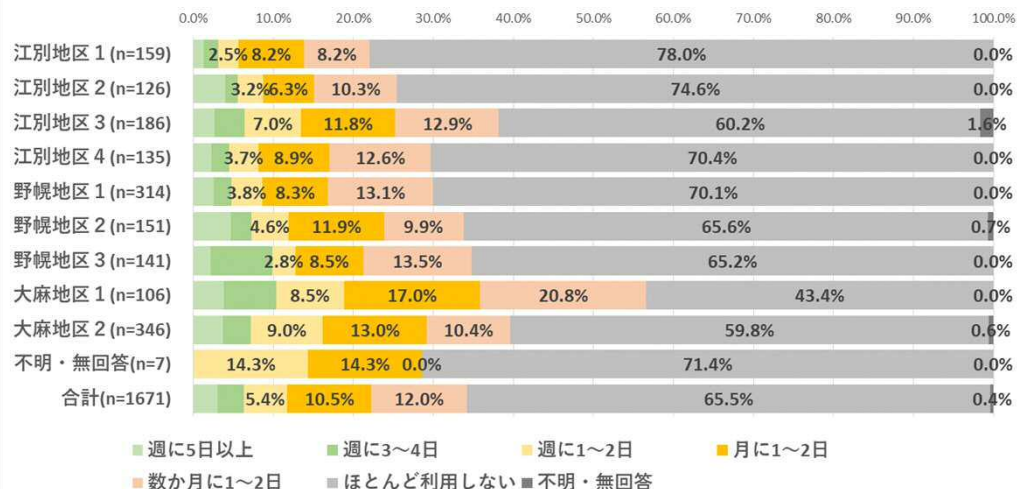
大麻地区2 (N=232)



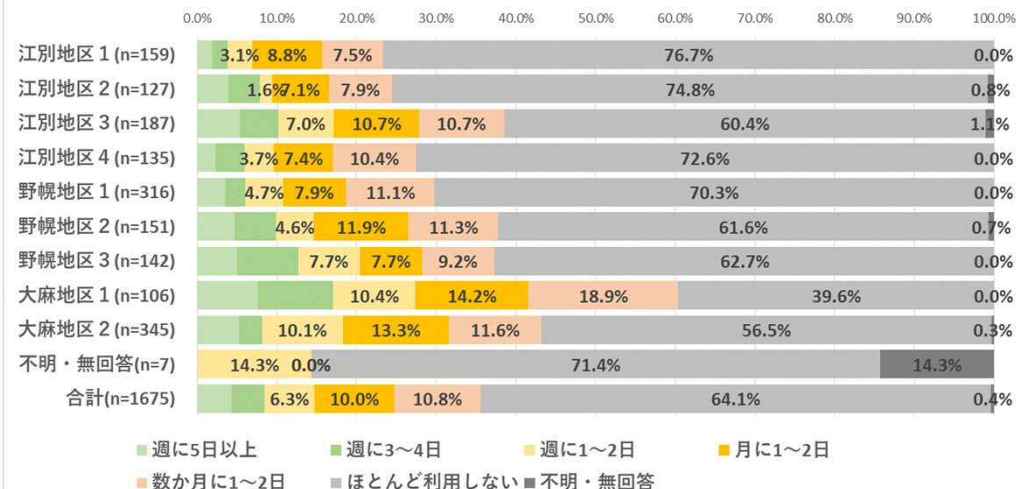
路線バスの利用頻度

- 路線バスの利用頻度は、夏期、冬期ともに「週に5日以上」の割合が1割未満となっています。
- 路線バスを利用している方の割合は、概ね3割程度となっています。
- 大麻地区1では、「月に1~2日」や「数か月に1~2日」など利用頻度は高くないものの、路線バスを利用する方の割合が高くなっています。

路線バスの利用頻度：夏期 (n=686)



路線バスの利用頻度：冬期 (n=686)



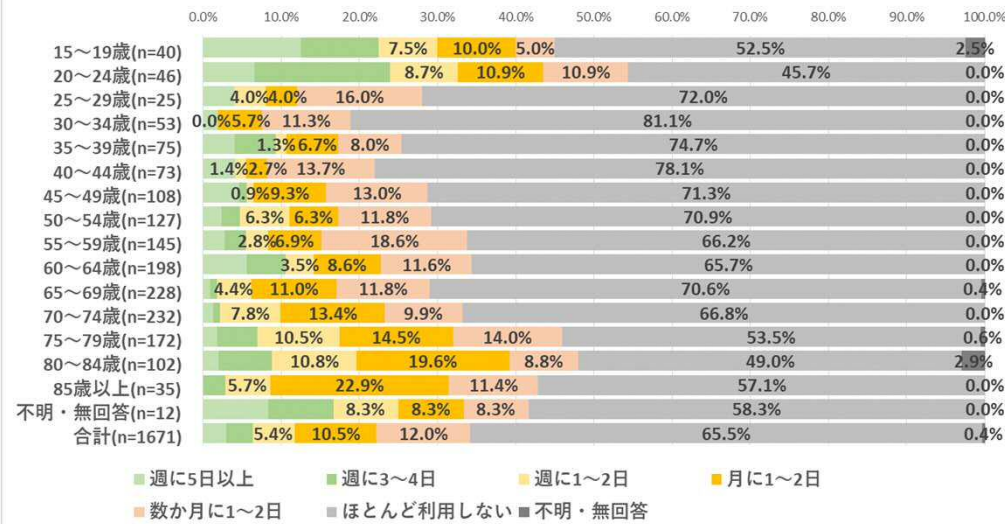
地区名	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	不明・無回答	合計
江別地区1 (n=159)	1.3%	1.9%	2.5%	8.2%	8.2%	78.0%	0.0%	100%
江別地区2 (n=126)	4.0%	1.6%	3.2%	6.3%	10.3%	74.6%	0.0%	100%
江別地区3 (n=186)	2.7%	3.8%	7.0%	11.8%	12.9%	60.2%	1.6%	100%
江別地区4 (n=135)	2.2%	2.2%	3.7%	8.9%	12.6%	70.4%	0.0%	100%
野幌地区1 (n=314)	2.5%	2.2%	3.8%	8.3%	13.1%	70.1%	0.0%	100%
野幌地区2 (n=151)	4.6%	2.6%	4.6%	11.9%	9.9%	65.6%	0.7%	100%
野幌地区3 (n=141)	2.1%	7.8%	2.8%	8.5%	13.5%	65.2%	0.0%	100%
大麻地区1 (n=106)	3.8%	6.6%	8.5%	17.0%	20.8%	43.4%	0.0%	100%
大麻地区2 (n=346)	3.8%	3.5%	9.0%	13.0%	10.4%	59.8%	0.6%	100%
不明・無回答(n=7)	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%	100%
合計(n=1671)	3.0%	3.4%	5.4%	10.5%	12.0%	65.5%	0.4%	100%

地区名	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	不明・無回答	合計
江別地区1 (n=159)	1.9%	1.9%	3.1%	8.8%	7.5%	76.7%	0.0%	100%
江別地区2 (n=127)	3.9%	3.9%	1.6%	7.1%	7.9%	74.8%	0.8%	100%
江別地区3 (n=187)	5.3%	4.8%	7.0%	10.7%	10.7%	60.4%	1.1%	100%
江別地区4 (n=135)	2.2%	3.7%	3.7%	7.4%	10.4%	72.6%	0.0%	100%
野幌地区1 (n=316)	3.5%	2.5%	4.7%	7.9%	11.1%	70.3%	0.0%	100%
野幌地区2 (n=151)	4.6%	5.3%	4.6%	11.9%	11.3%	61.6%	0.7%	100%
野幌地区3 (n=142)	4.9%	7.7%	7.7%	7.7%	9.2%	62.7%	0.0%	100%
大麻地区1 (n=106)	7.5%	9.4%	10.4%	14.2%	18.9%	39.6%	0.0%	100%
大麻地区2 (n=345)	5.2%	2.9%	10.1%	13.3%	11.6%	56.5%	0.3%	100%
不明・無回答(n=7)	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	100%
合計(n=1675)	4.3%	4.1%	6.3%	10.0%	10.8%	64.1%	0.4%	100%

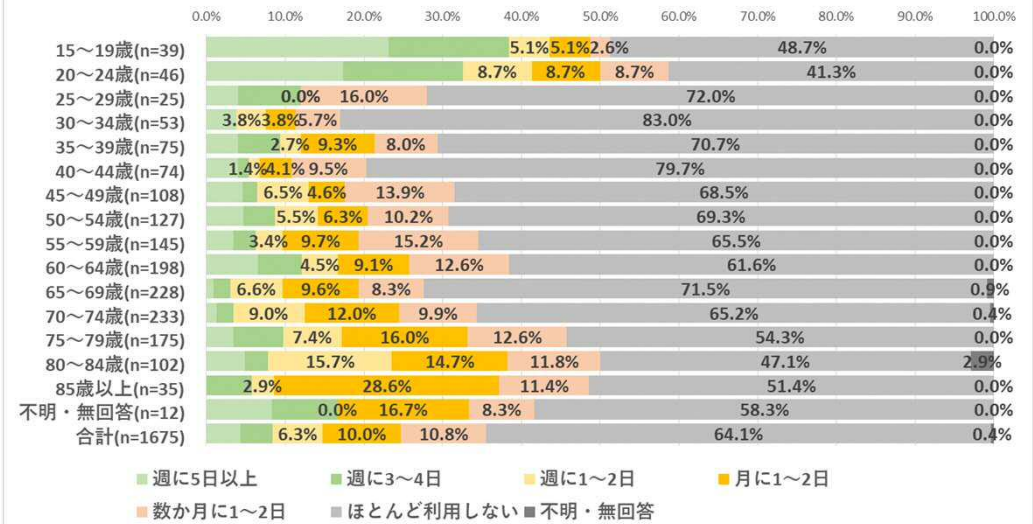
路線バスの利用頻度

- 路線バスを利用している年齢層は、24歳以下と75歳以上となっており、特に24歳以下は、日常的に利用している割合が高くなっています。
- 70歳以上では、他の年代と比較して、「月に1~2日」の割合が高くなっています。

路線バスの利用頻度：夏期 (n=686)



路線バスの利用頻度：冬期 (n=686)



年齢	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	不明・無回答	合計
15~19歳(n=40)	12.5%	10.0%	7.5%	10.0%	5.0%	52.5%	2.5%	100.0%
20~24歳(n=46)	6.5%	17.4%	8.7%	10.9%	10.9%	45.7%	0.0%	100.0%
25~29歳(n=25)	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	16.0%	72.0%	0.0%	100.0%
30~34歳(n=53)	1.9%	0.0%	0.0%	5.7%	11.3%	81.1%	0.0%	100.0%
35~39歳(n=75)	4.0%	5.3%	1.3%	6.7%	8.0%	74.7%	0.0%	100.0%
40~44歳(n=73)	4.1%	0.0%	1.4%	2.7%	13.7%	78.1%	0.0%	100.0%
45~49歳(n=108)	4.6%	0.9%	0.9%	9.3%	13.0%	71.3%	0.0%	100.0%
50~54歳(n=127)	2.4%	2.4%	6.3%	6.3%	11.8%	70.9%	0.0%	100.0%
55~59歳(n=145)	2.8%	2.8%	2.8%	6.9%	18.6%	66.2%	0.0%	100.0%
60~64歳(n=198)	5.6%	5.1%	3.5%	8.6%	11.6%	65.7%	0.0%	100.0%
65~69歳(n=228)	0.9%	0.9%	4.4%	11.0%	11.8%	70.6%	0.4%	100.0%
70~74歳(n=232)	1.3%	0.9%	7.8%	13.4%	9.9%	66.8%	0.0%	100.0%
75~79歳(n=172)	1.7%	5.2%	10.5%	14.5%	14.0%	53.5%	0.6%	100.0%
80~84歳(n=102)	2.0%	6.9%	10.8%	19.6%	8.8%	49.0%	2.9%	100.0%
85歳以上(n=35)	0.0%	2.9%	5.7%	22.9%	11.4%	57.1%	0.0%	100.0%
不明・無回答(n=12)	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	58.3%	0.0%	100.0%
合計(n=1671)	3.0%	3.4%	5.4%	10.5%	12.0%	65.5%	0.4%	100.0%

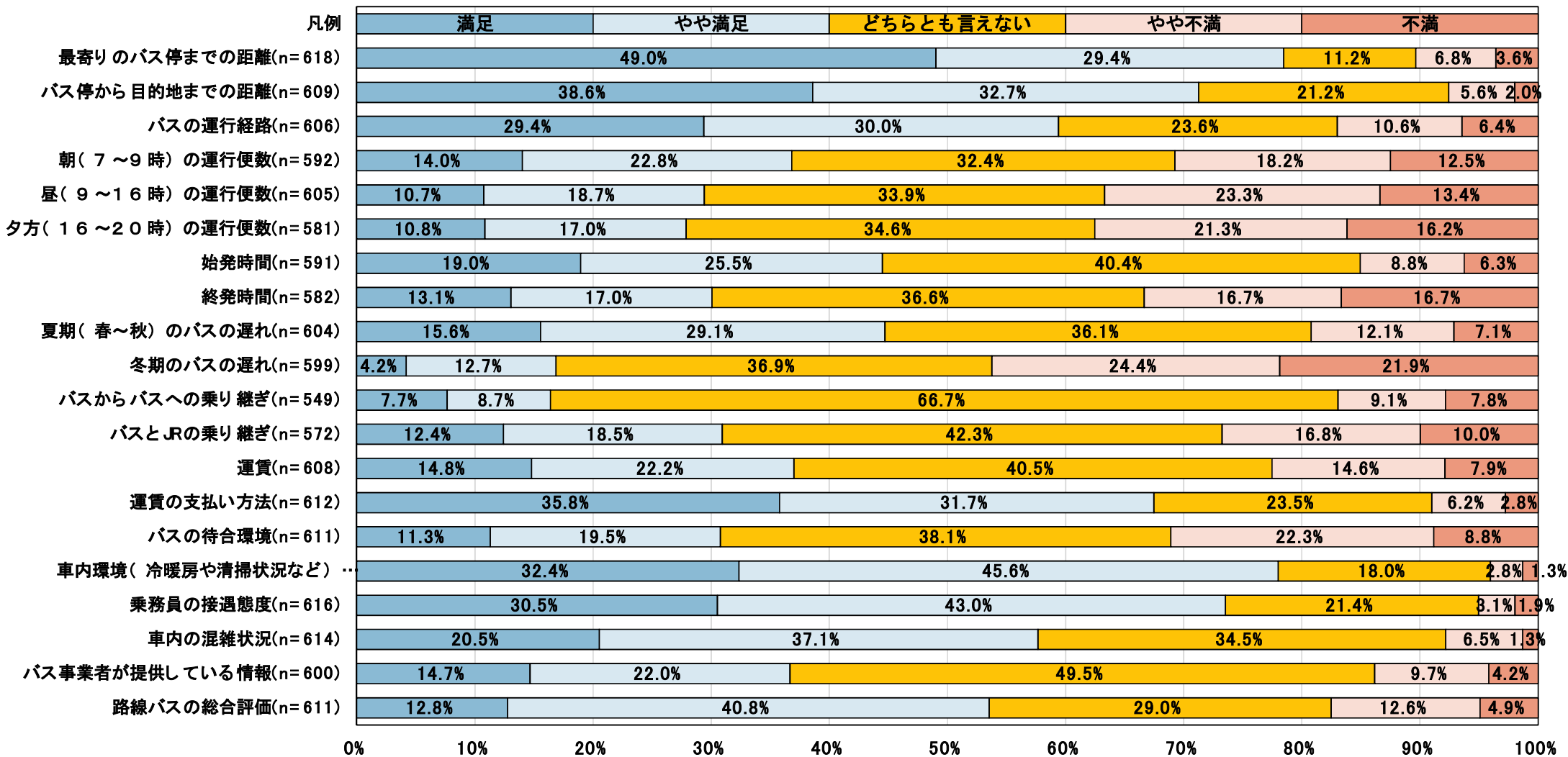
年齢	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	不明・無回答	合計
15~19歳(n=39)	23.1%	15.4%	5.1%	5.1%	2.6%	48.7%	0.0%	100.0%
20~24歳(n=46)	17.4%	15.2%	8.7%	8.7%	8.7%	41.3%	0.0%	100.0%
25~29歳(n=25)	4.0%	8.0%	0.0%	0.0%	16.0%	72.0%	0.0%	100.0%
30~34歳(n=53)	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	5.7%	83.0%	0.0%	100.0%
35~39歳(n=75)	4.0%	5.3%	1.3%	6.7%	8.0%	70.7%	0.0%	100.0%
40~44歳(n=74)	4.1%	1.4%	1.4%	4.1%	9.5%	79.7%	0.0%	100.0%
45~49歳(n=108)	4.6%	1.9%	6.5%	4.6%	13.9%	68.5%	0.0%	100.0%
50~54歳(n=127)	4.7%	3.9%	5.5%	6.3%	10.2%	69.3%	0.0%	100.0%
55~59歳(n=145)	3.4%	2.8%	3.4%	9.7%	15.2%	65.5%	0.0%	100.0%
60~64歳(n=198)	6.6%	5.6%	4.5%	9.1%	12.6%	61.6%	0.0%	100.0%
65~69歳(n=228)	0.9%	2.2%	6.6%	9.6%	8.3%	71.5%	0.9%	100.0%
70~74歳(n=233)	1.3%	2.1%	9.0%	12.0%	9.9%	65.2%	0.4%	100.0%
75~79歳(n=175)	3.4%	6.3%	7.4%	16.0%	12.6%	54.3%	0.0%	100.0%
80~84歳(n=102)	4.9%	2.9%	15.7%	14.7%	11.8%	47.1%	2.9%	100.0%
85歳以上(n=35)	0.0%	5.7%	2.9%	28.6%	11.4%	51.4%	0.0%	100.0%
不明・無回答(n=12)	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	58.3%	0.0%	100.0%
合計(n=1675)	4.3%	4.1%	6.3%	10.0%	10.8%	64.1%	0.4%	100.0%

路線バスの満足度（全体）

- 回答者全体では、「冬期のバスの遅れ」に関するやや不満・不満の割合が高くなっています。
- 路線バスの総合評価では、「満足」、「やや満足」との回答が半数を超えています。

※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く

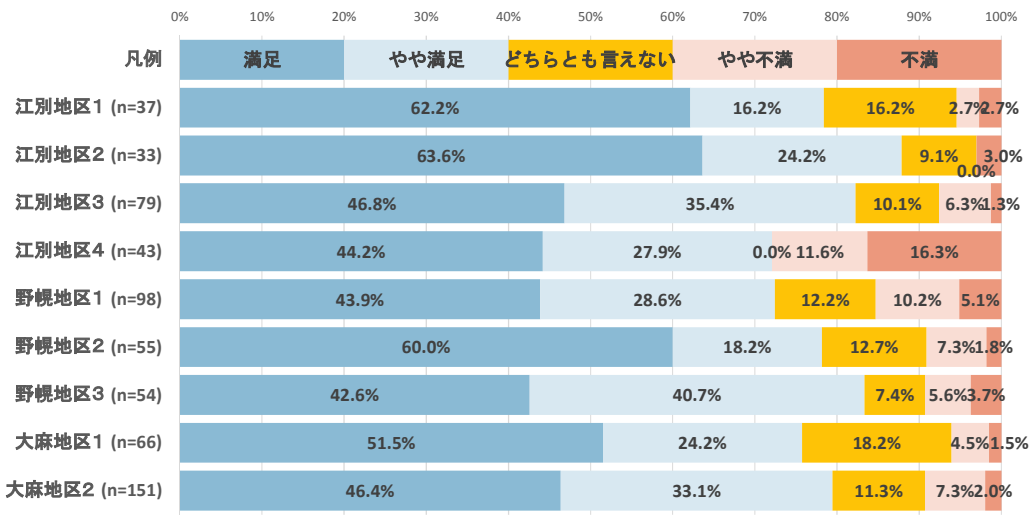
路線バスサービスの満足度（路線バス利用者）



路線バスの満足度（地区別）

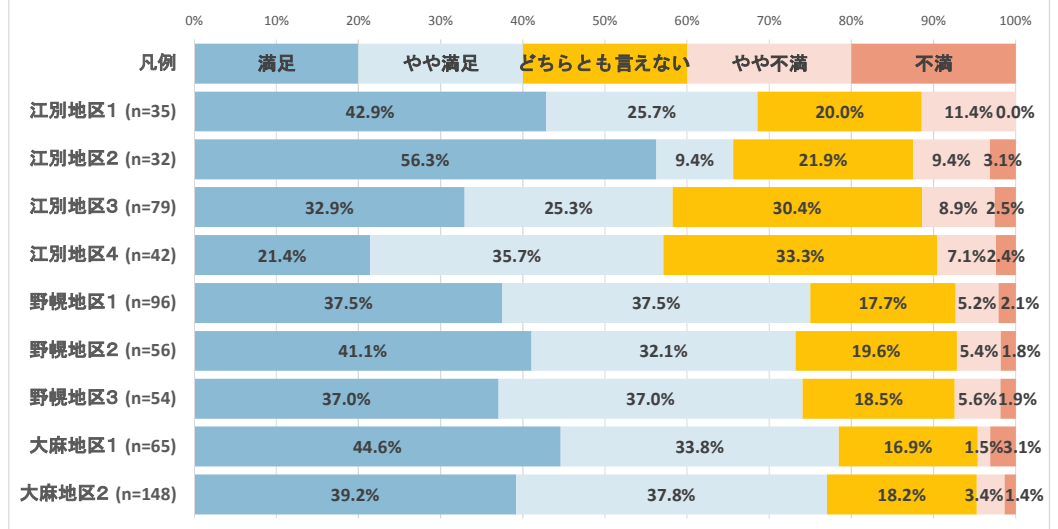
- 最寄りのバス停までの距離は、江別地区4において、満足度が低くなっています。
- バスの運行経路は、江別地区1や江別地区3において、満足度が低くなっています。

最寄りのバス停までの距離

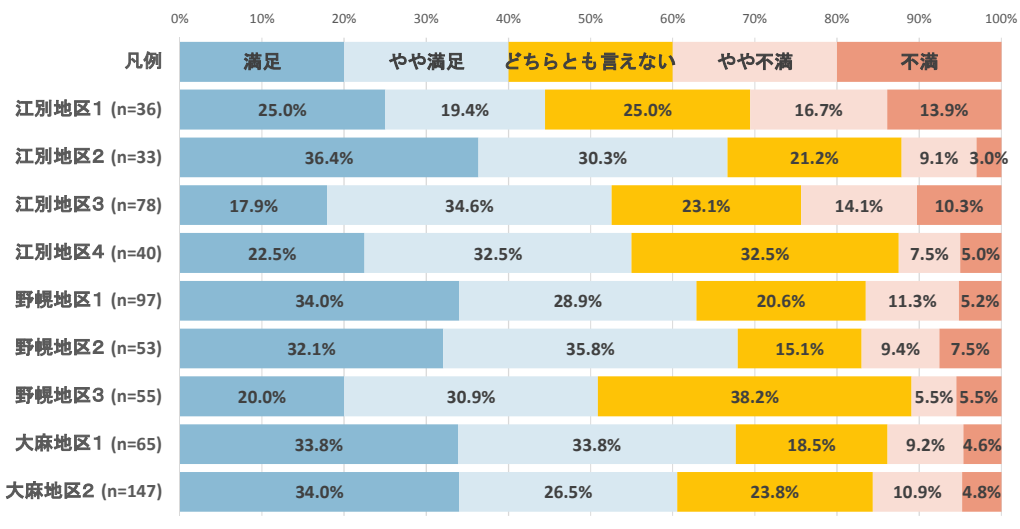


※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く

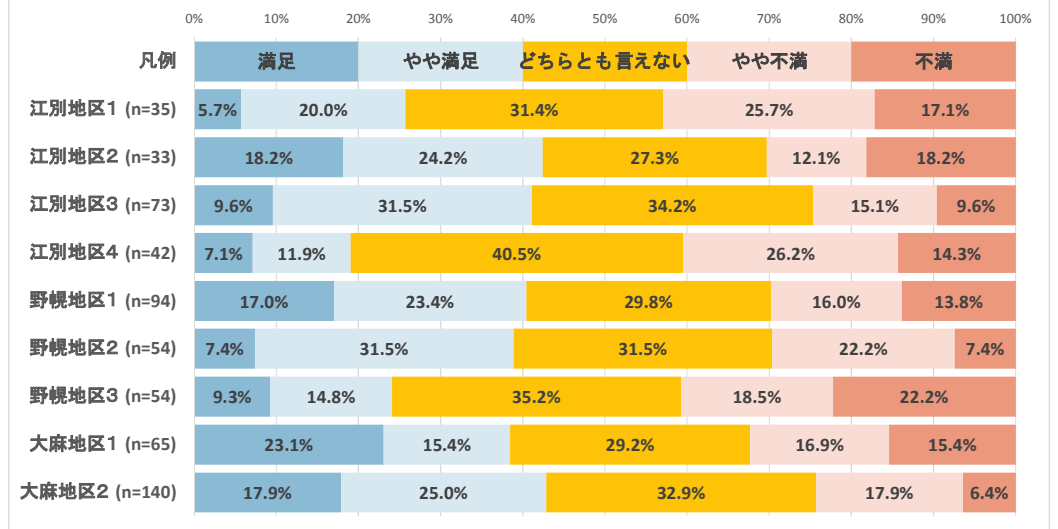
バス停から目的地までの距離



バスの運行経路

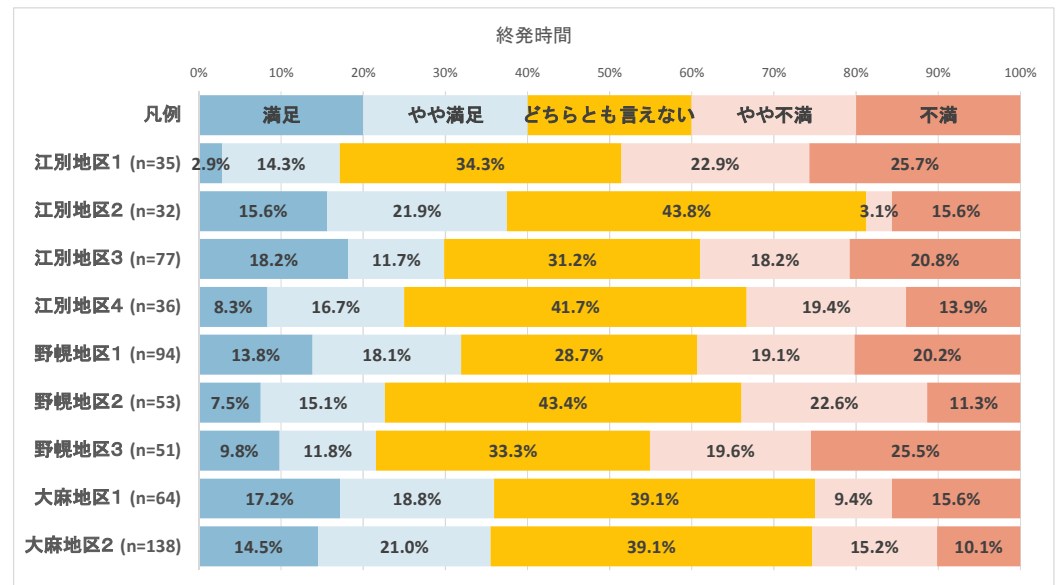
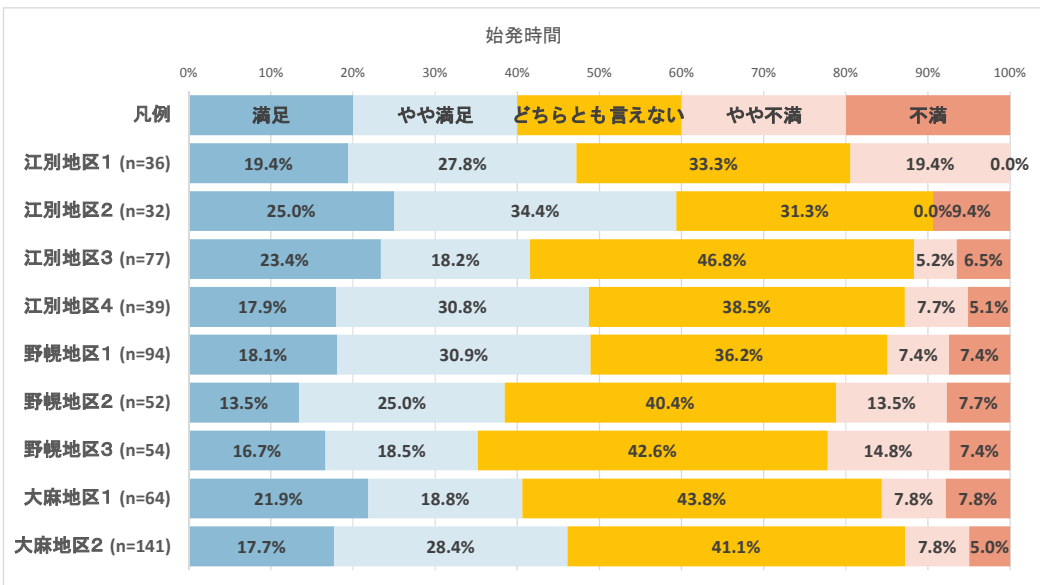
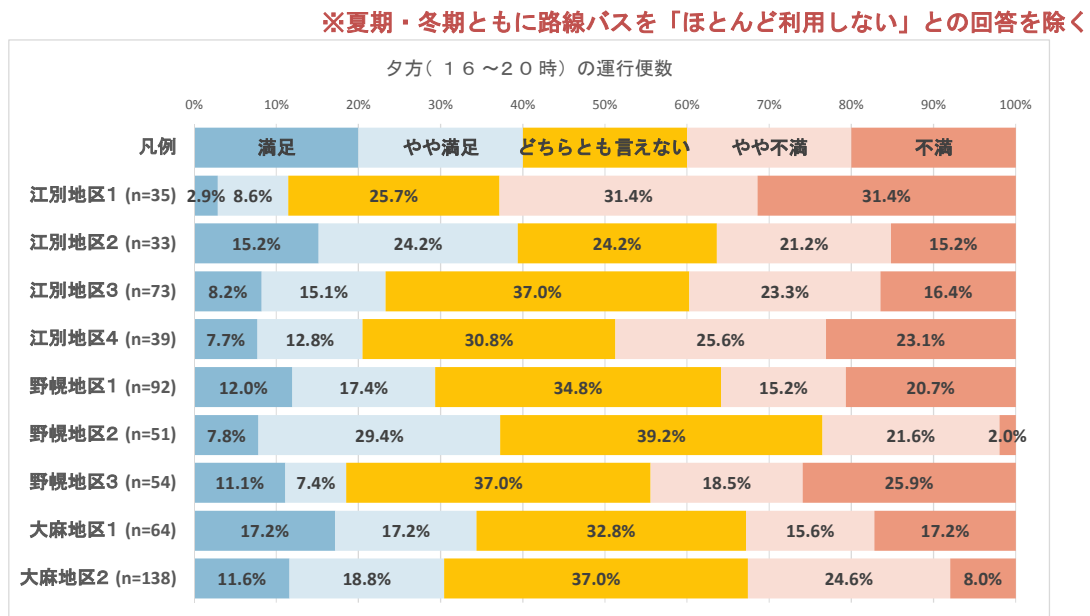
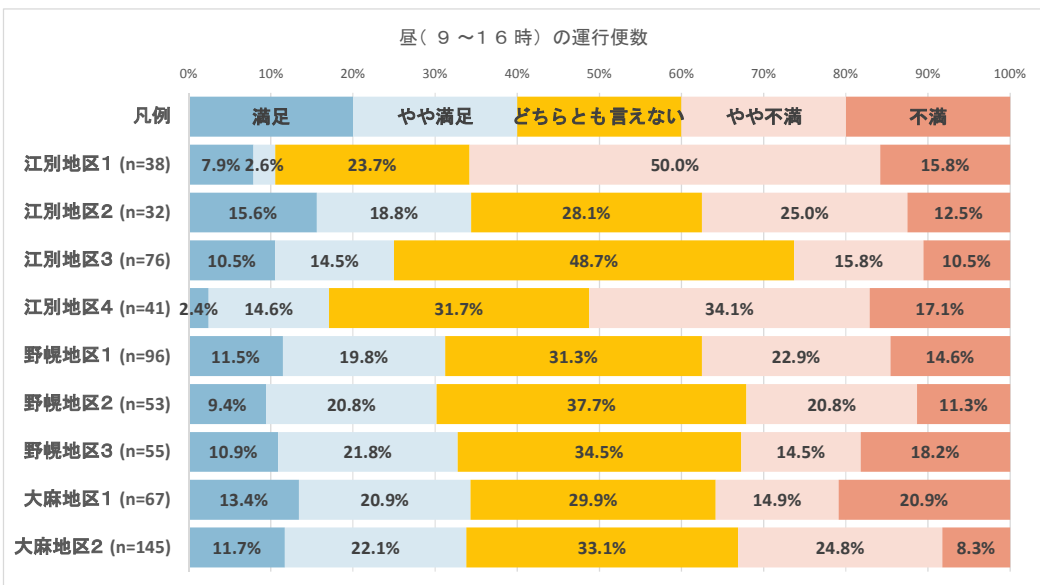


朝（7～9時）の運行便数



路線バスの満足度（地区別）

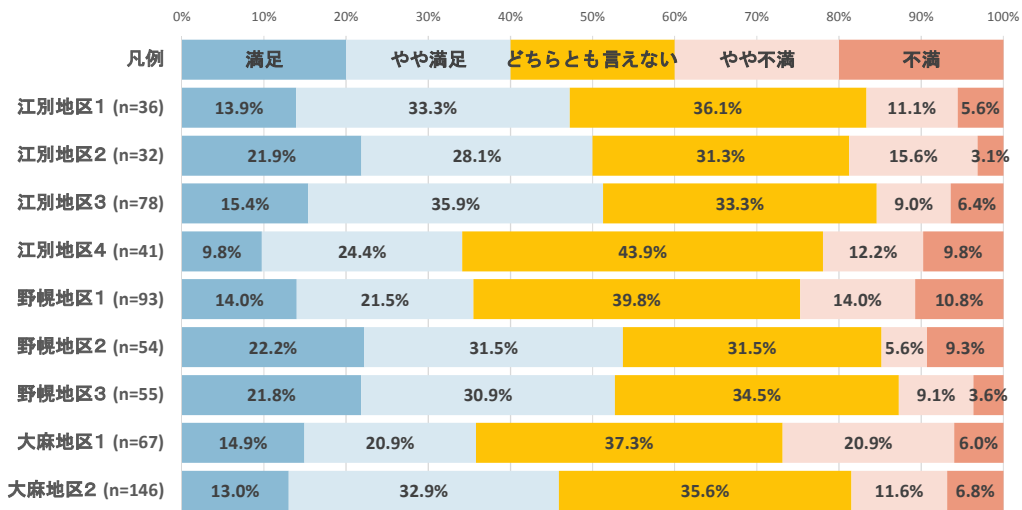
■ 江別地区1は、昼及び夕方の運行便数において、満足度が低くなっています。また、終発時刻においても満足度が低くなっています。



路線バスの満足度（地区別）

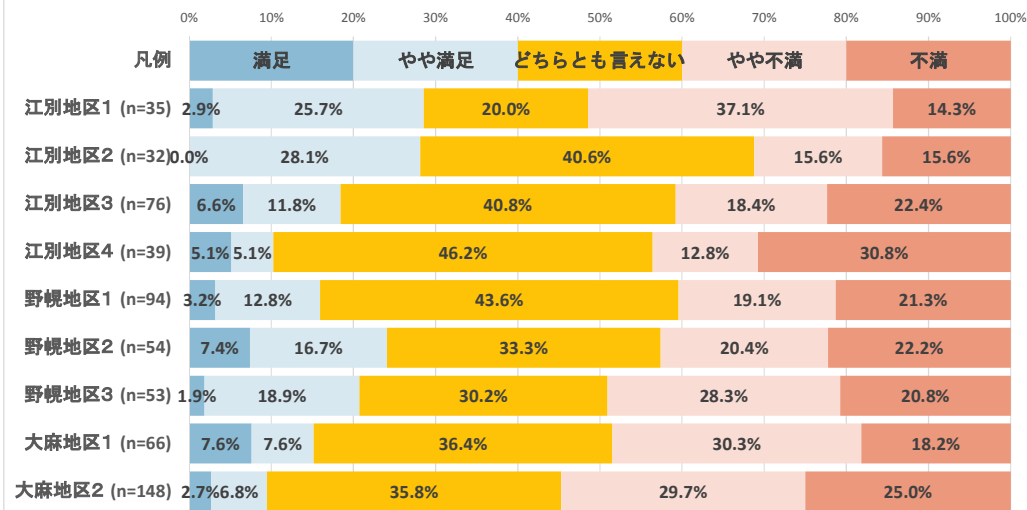
- 夏期のバスの遅れは、「不満」、「やや不満」の割合が1~2割程度となっています。
- 一方、冬期のバスの遅れでは、「不満」、「やや不満」の割合が3~5割程度にまで増加しています。

夏期（春～秋）のバスの遅れ

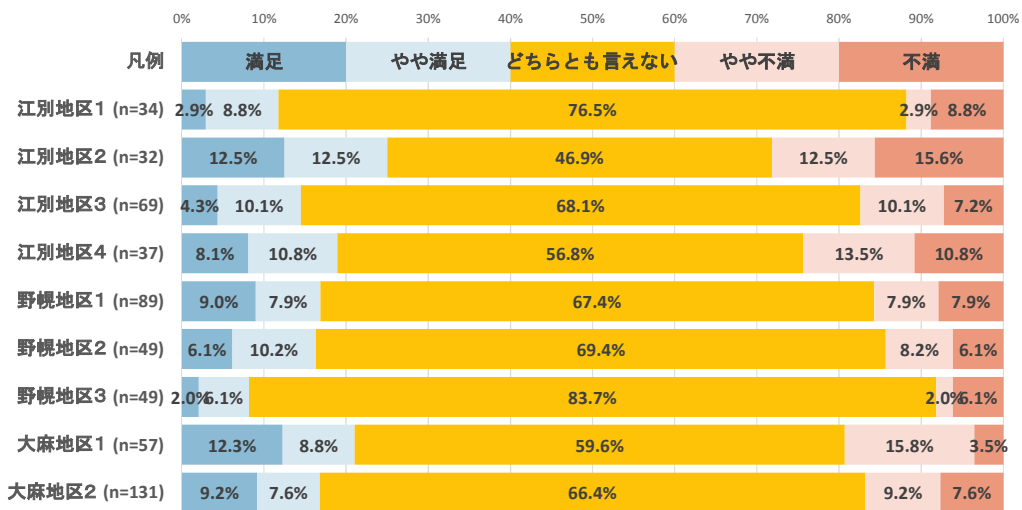


※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く

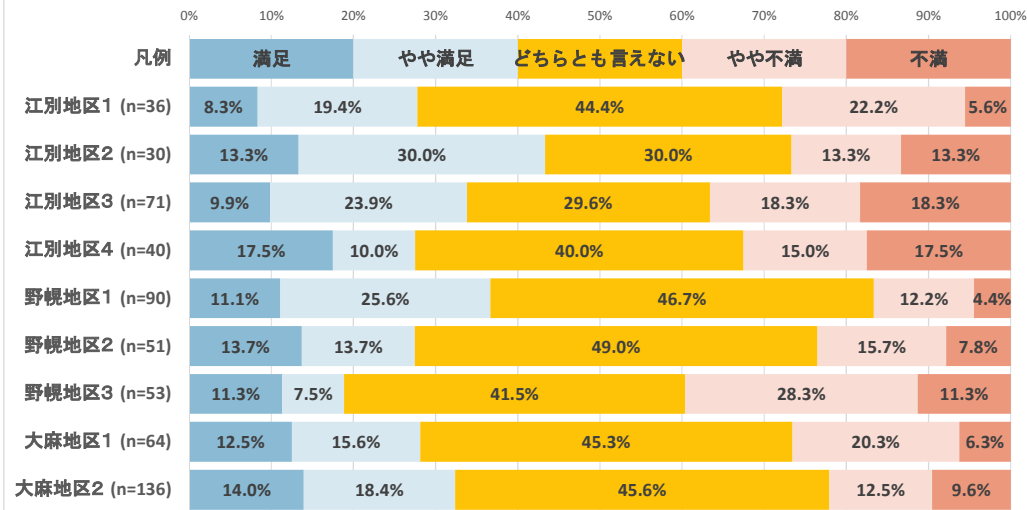
冬期のバスの遅れ



バスからバスへの乗り継ぎ

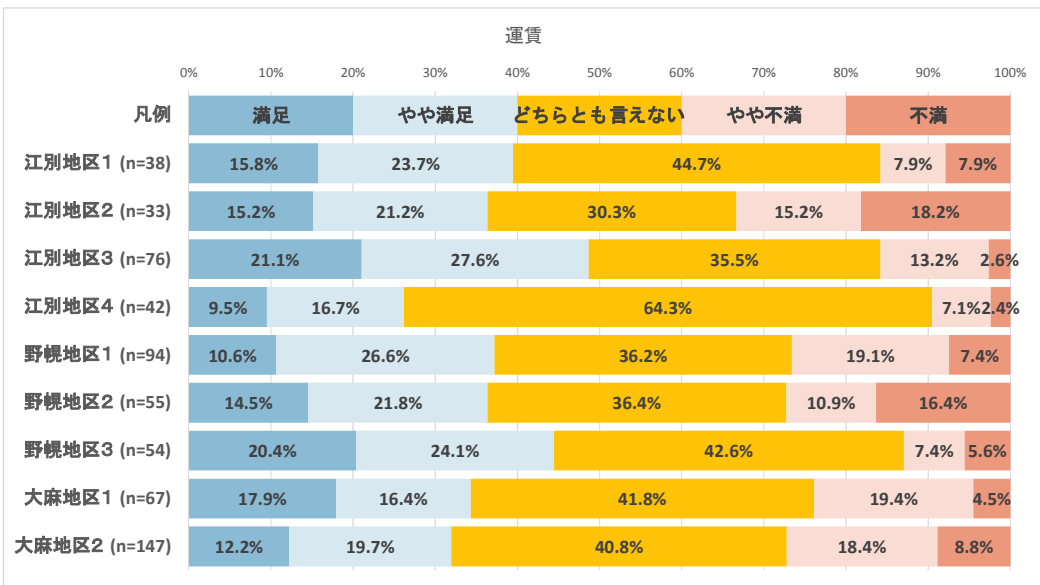


バスとJRの乗り継ぎ

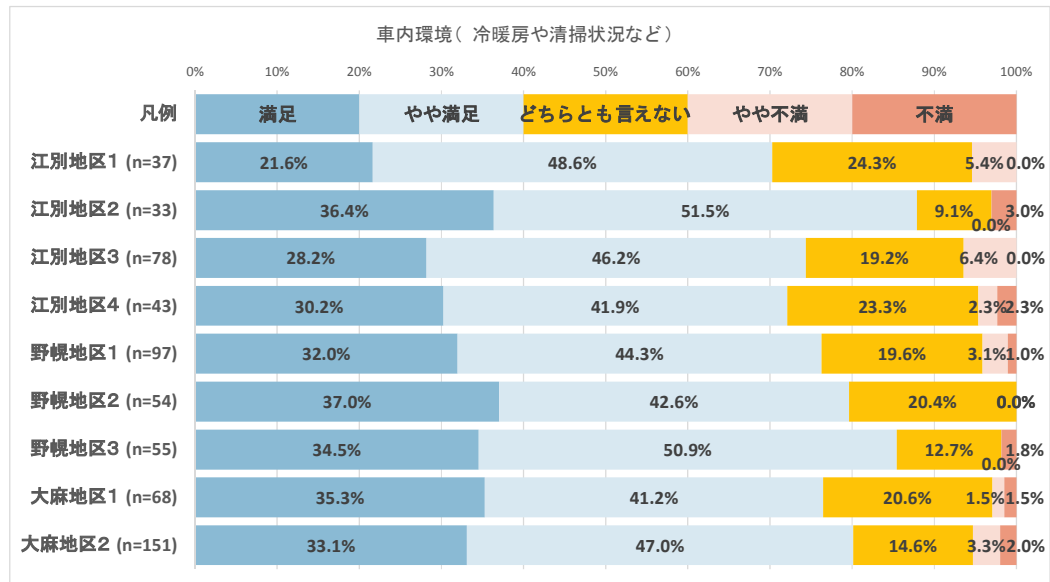
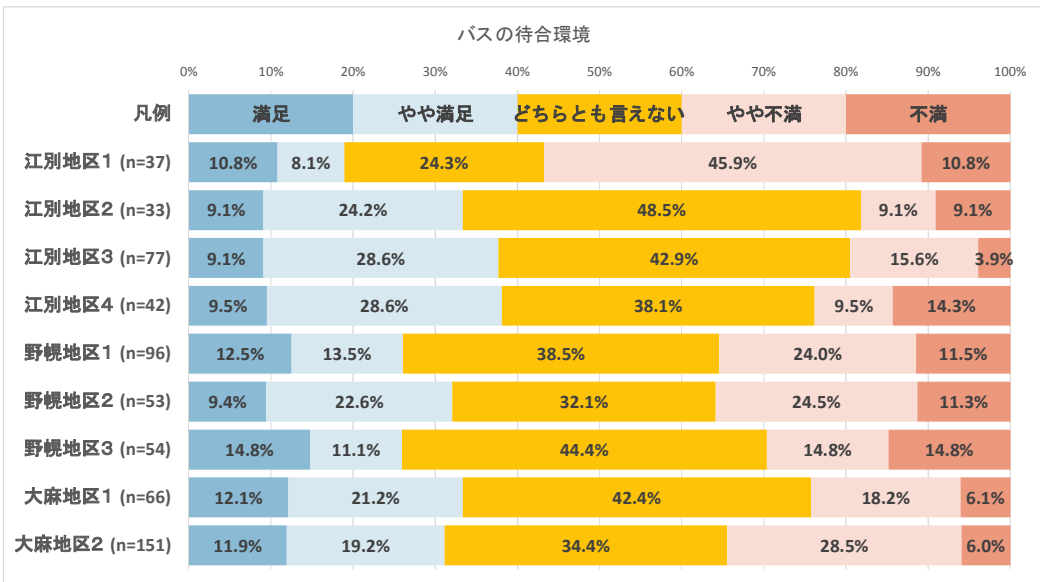
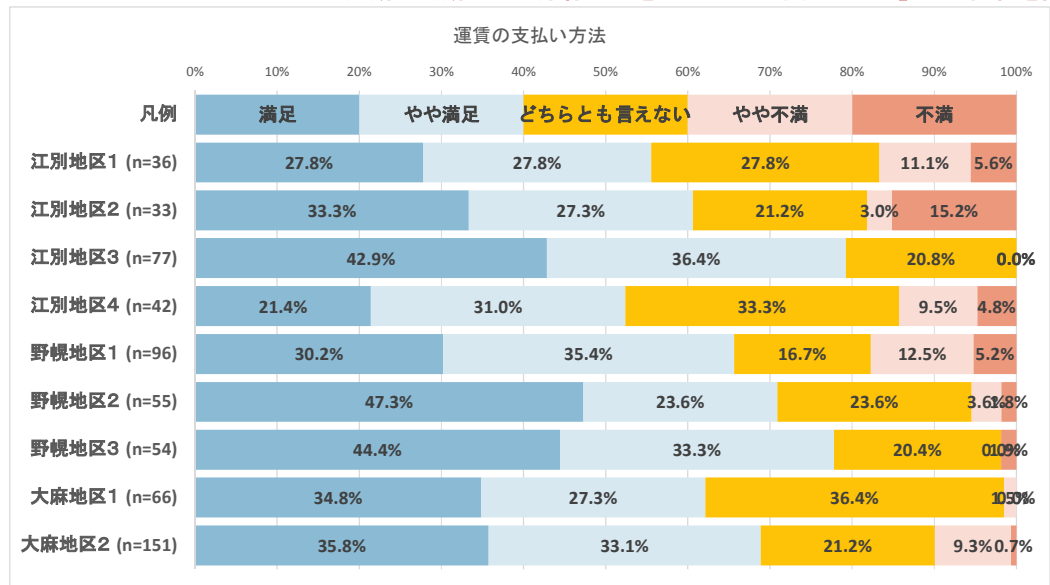


路線バスの満足度（地区別）

- バスの待合環境は、江別地区1において、満足度が低くなっています。
- 車内環境は、各地区とも満足度が高くなっています。



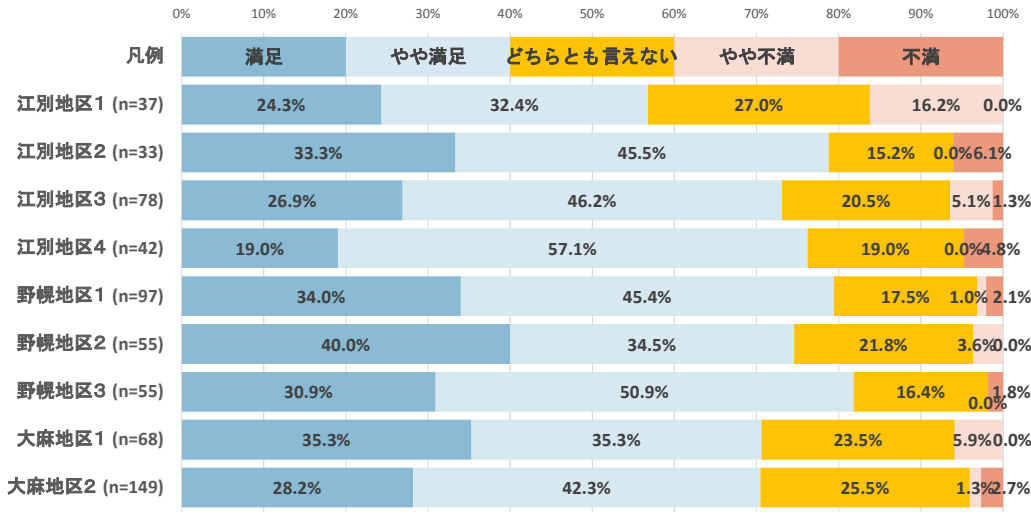
※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く



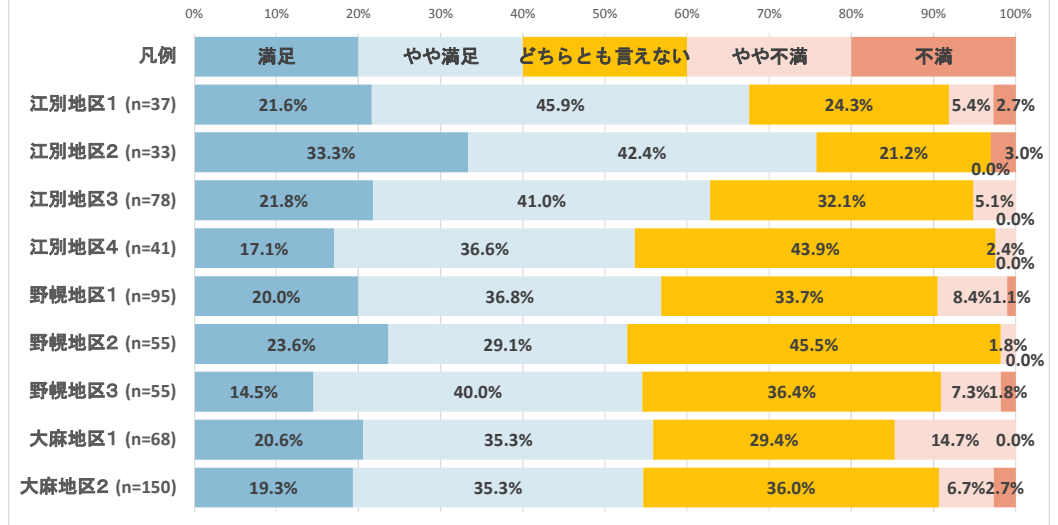
路線バスの満足度（地区別）

- 乗務員の接遇態度や車内の混雑状況は、満足度が高くなっています。
- バス事業者が提供している情報は、「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。
- 総合評価は、各地区、概ね満足度が高くなっています。

乗務員の接遇態度

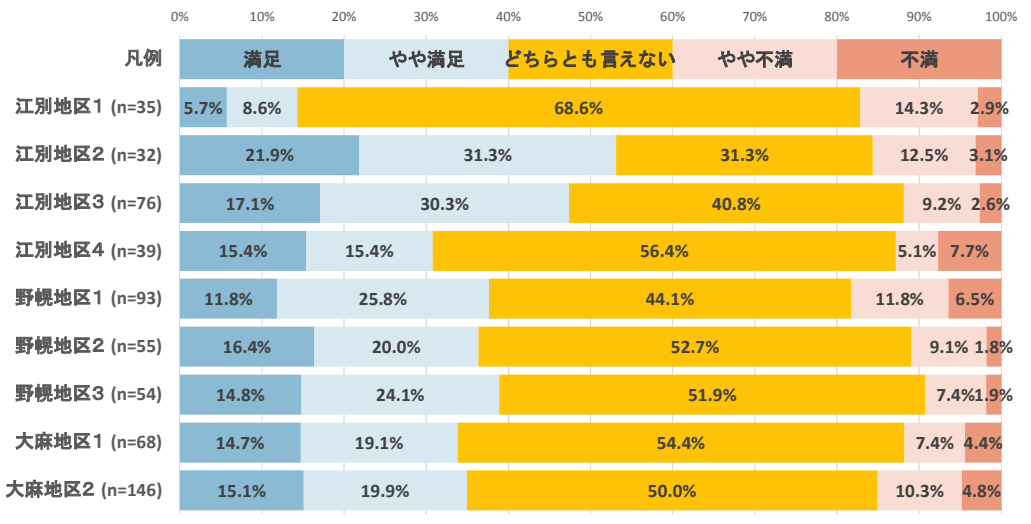


車内の混雑状況

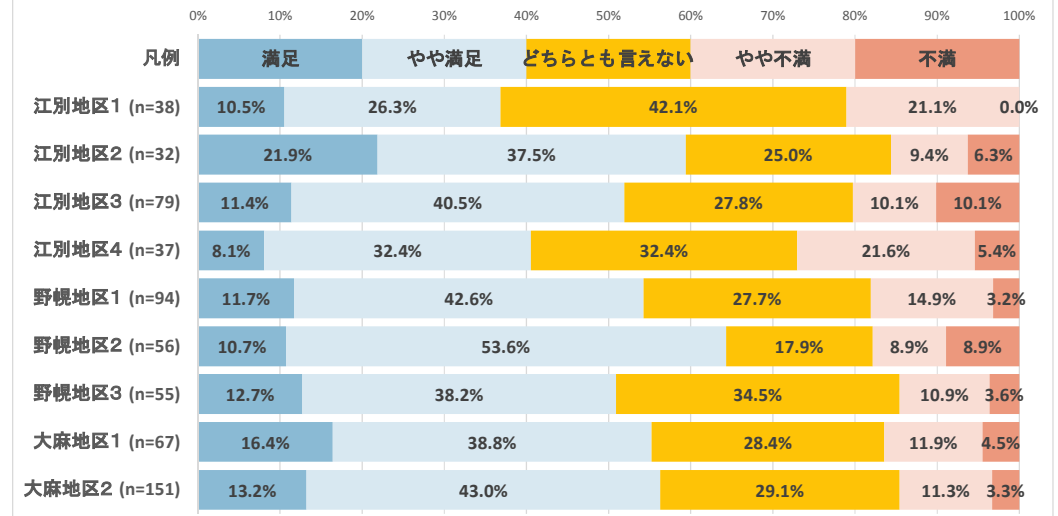


※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く

バス事業者が提供している情報



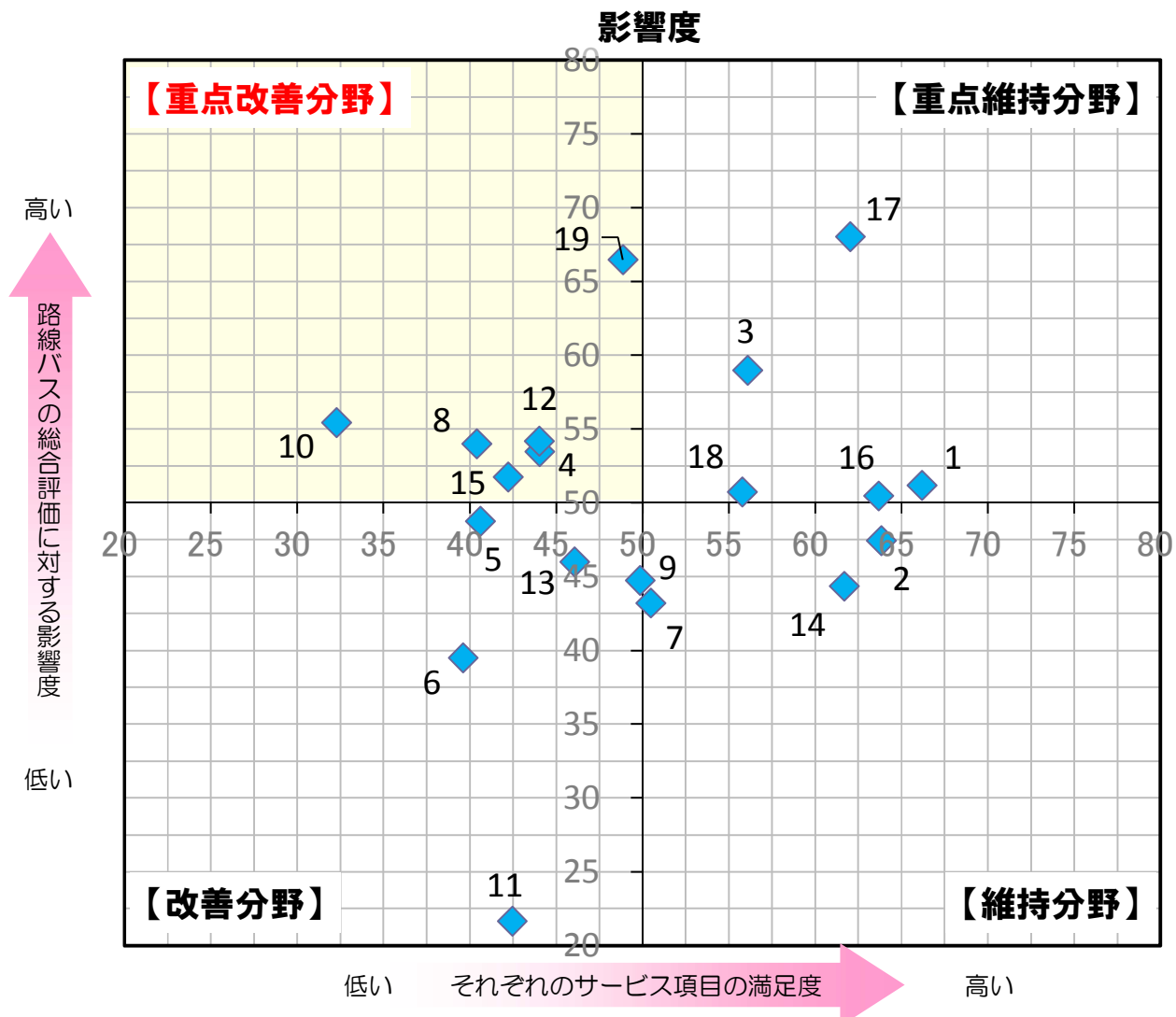
路線バスの総合評価



■ 改善の優先度が高いと考えられる、重点改善分野に位置づけられた項目は、「朝の運行便数」、「終発時間」、「冬期のバスの遅れ」、「バスとJRの乗り継ぎ」、「バスの待合環境」、「バス事業者が提供している情報」となっています。

※夏期・冬期ともに路線バスを「ほとんど利用しない」との回答を除く

CSポートフォリオ分析（路線バス利用者のみ）



	サービス項目	満足度 偏差値	影響度 偏差値
1	最寄りのバス停までの距離	66.2	51.2
2	バス停から目的地までの距離	63.8	47.4
3	バスの運行経路	56.1	59.0
4	朝(7~9時)の運行便数	44.0	53.4
5	昼(9~16時)の運行便数	40.6	48.7
6	夕方(16~20時)の運行便数	39.6	39.5
7	始発時間	50.5	43.2
8	終発時間	40.4	54.0
9	夏期(春~秋)のバスの遅れ	49.8	44.7
10	冬期のバスの遅れ	32.3	55.4
11	バスからバスへの乗り継ぎ	42.4	21.6
12	バスとJRの乗り継ぎ	44.0	54.2
13	運賃	46.1	46.0
14	運賃の支払い方法	61.7	44.3
15	バスの待合環境	42.2	51.7
16	車内環境(冷暖房や清掃状況など)	63.7	50.4
17	乗務員の接客態度	62.0	68.0
18	車内の混雑状況	55.8	50.7
19	バス事業者が提供している情報	48.8	66.5

路線バスサービスの満足度の改善要望など（自由記述）

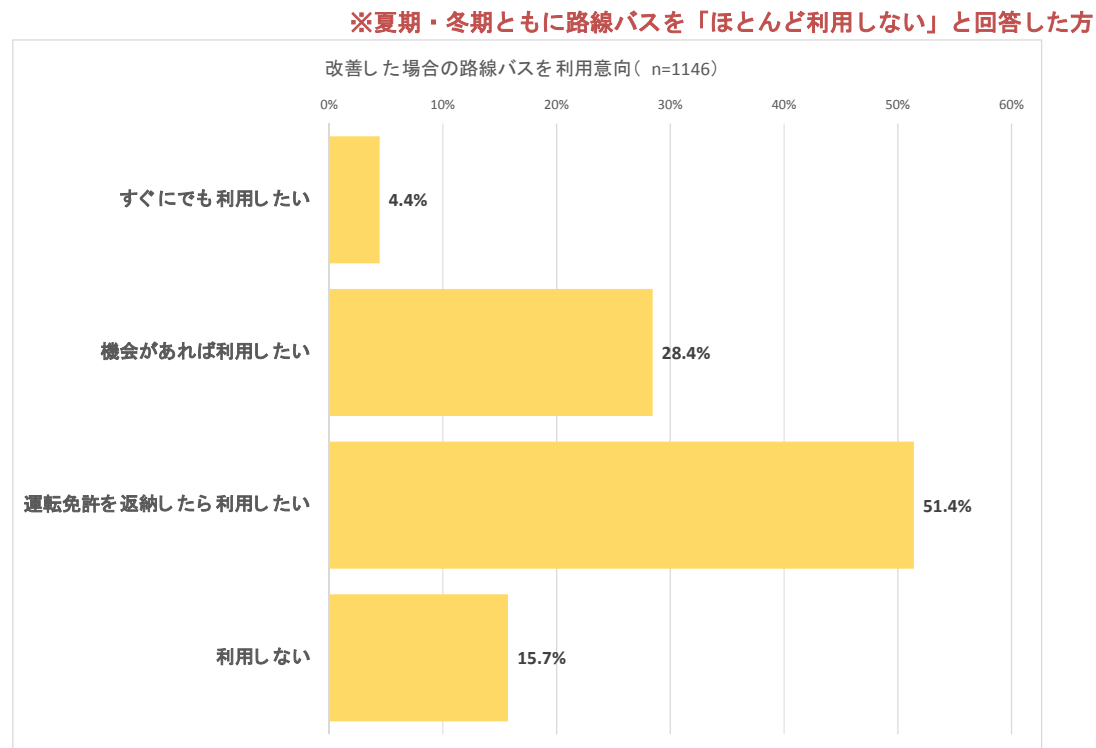
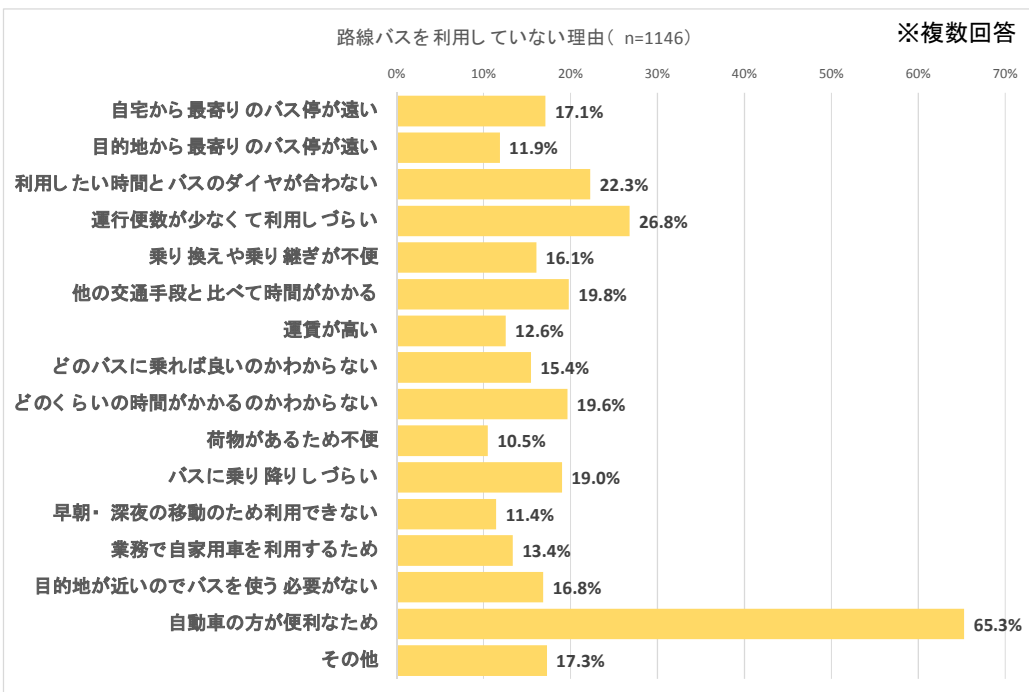
- 「④～⑥運行便数」は「少ない」との意見が多く、「⑦始発時間」及び「⑧終発時間」についても始発が遅すぎる、終発が早すぎるという意見と合わせて不満が多くなっています。
- 「⑩冬期のバスの遅れ」は、不満が特に多く、除排雪に関する意見がある一方、冬期は仕方がないとの意見も見られます。

路線バスサービスの満足度の主な改善要望など（自由記述）

	やや不満	不満	主な改善や要望
① 最寄りのバス停までの距離	42名	22名	● バス停までの距離が遠い。（大麻桜木町）
② バス停から目的地までの距離	34名	12名	● バス停の前に横断歩道がほしい。
③ バスの運行経路	64名	39名	● 経路が分かりにくい。 ● 迂回距離が長すぎるし時間がかかる。
④～⑥ 朝・昼・夕方の運行便数	朝：108名 昼：141名 夕方：124名	朝：74名 昼：81名 夕方：94名	● 少ない
⑦ 始発時間	52名	37名	● 始発が遅く通勤に使用できない。
⑧ 終発時間	97名	97名	● 早すぎる（JRよりバスの方が早い、別の交通機関で帰宅するため通勤定期が使用できない等）
⑨～⑩ バスの遅れ	夏期：73名 冬期：146名	夏期：43名 冬期：131名	● 冬期間は遅れてくるので、待ち時間がわかる方法があればよい。 ● 冬期は仕方ないと思うが、ほとんどバス停は雪除けなし。遅れると寒い。
⑪ バスからバスへの乗り継ぎ	50名	43名	● 市役所や市立病院へ市内路線バス乗り継ぎがなく行けない。（緑ヶ丘）
⑫ バスとJRの乗り継ぎ	96名	57名	● 電車の到着時間と連携していない。
⑬ 運賃	89名	48名	● 高齢者の運賃補助を。
⑭ 運賃の支払い方法	38名	17名	● キャッシュレス決済を。（朝日町）
⑮ バスの待合環境	136名	54名	● 冬、待つのが寒い。停留所の除雪を。 ● 虫が多くて、あまり清潔ではない。
⑯ 車内環境（冷暖房や清掃状況など）	17名	8名	● 冷暖房が効きすぎの時がある。
⑰ 乗務員の接客態度	19名	12名	● 運転手によって接客態度の差が大きい（運転が荒い、不愛想）、タバコ臭い
⑱ 車内の混雑状況	40名	8名	● 通学時間帯は座れない。
⑲ バス事業者が提供している情報	58名	25名	● スマホが無い場合の情報提供について考えて欲しい。 ● バスが遅延する理由がわからないため、職場での説明に困る。 ● バス遅延、運休情報の取得を簡潔にしてほしい。

路線バスを利用していない理由・改善した場合の利用意向

- 路線バスを利用していない理由は、「自動車の方が便利のため」の割合が高くなっています。
- そのため、路線バスの利用意向は、「運転免許を返納したら利用したい」の割合が約半数と高くなっています。



江別市内で路線バスを利用していきたい場所（自由記述回答者、複数回答集計）

- 「蔦屋書店」へのニーズが高くなっています。
- また、2023年に開業予定の「北広島ボールパーク」へのアクセスに対するニーズも見られます。

行きたい場所（全体：n=223）

	回答数	割合
蔦屋書店	60	26.9%
江別市立病院	31	13.9%
イオン江別店	28	12.6%
JR野幌駅	25	11.2%
江別市役所	21	9.4%
JR江別駅	21	9.4%
JR駅	12	5.4%
北広島ボールパーク	12	5.4%
新札幌駅	10	4.5%
JR大麻駅	9	4.0%
JR高砂駅	8	3.6%
ジョイフルエーカー	7	3.1%
野幌	7	3.1%
情報図書館	7	3.1%
町村農場	7	3.1%
トンデンファーム	6	2.7%
EBRI	5	2.2%
野幌運動公園	5	2.2%
札幌市	5	2.2%

行きたい場所（路線バス利用者：n=96）

	回答数	割合
蔦屋書店	34	35.4%
江別市立病院	16	16.7%
イオン江別店	10	10.4%
江別市役所	10	10.4%
JR江別駅	7	7.3%
JR駅	6	6.3%
JR野幌駅	5	5.2%
野幌	5	5.2%

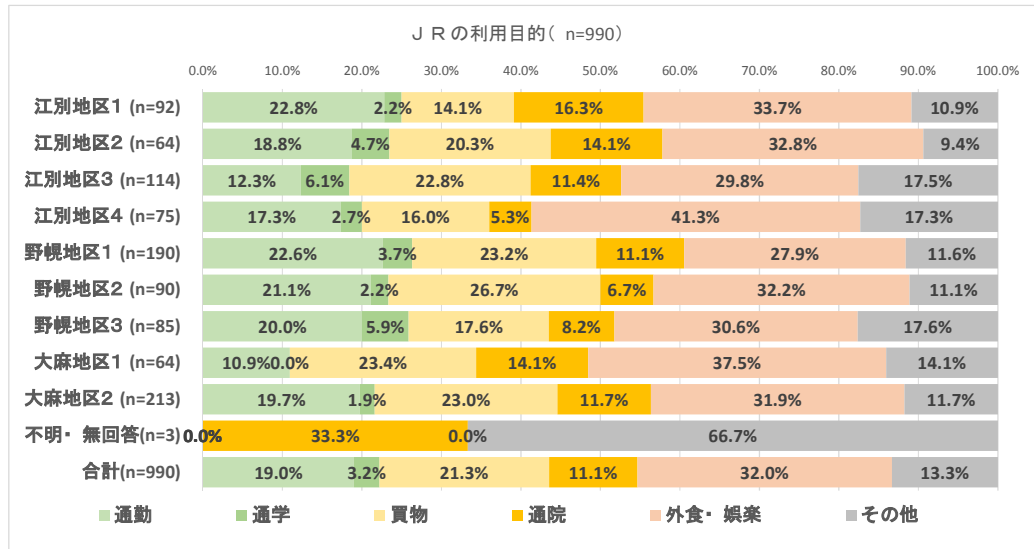
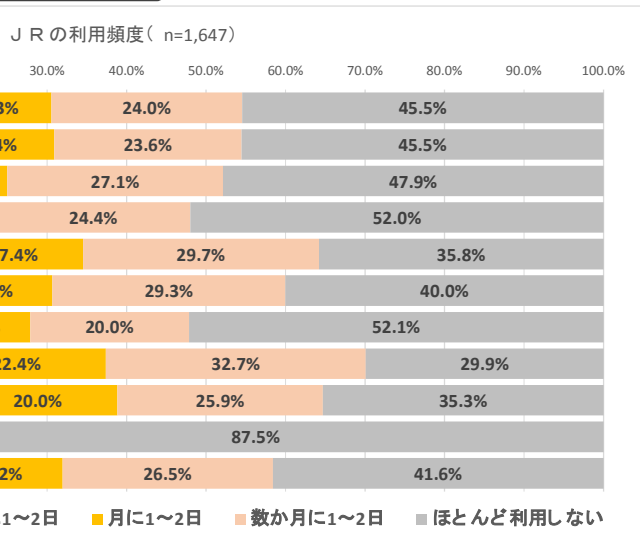
行きたい場所（路線バス非利用者：n=127）

	回答数	割合
蔦屋書店	26	20.5%
JR野幌駅	20	15.7%
イオン江別店	18	14.2%
江別市立病院	15	11.8%
JR江別駅	14	11.0%
江別市役所	11	8.7%
新札幌駅	10	7.9%
北広島ボールパーク	8	6.3%
JR駅	6	4.7%
JR高砂駅	6	4.7%
JR大麻駅	6	4.7%
町村農場	6	4.7%
ジョイフルエーカー	5	3.9%

JRの利用頻度・目的

- JRの利用頻度は、「週に1~2日」以上の日常的に利用している方の割合は、約2割となっています。
- 主な利用目的は、「外食・娯楽」の割合が最も高くなっており、次いで「買い物」、「通勤」となっています。
- 「通勤」目的の割合と比較して、「週に5日以上」との回答の割合が低くなっています。

JRの利用状況



地区名	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	合計
江別地区1 (n=154)	8.4%	3.9%	3.9%	14.3%	24.0%	45.5%	100%
江別地区2 (n=123)	11.4%	2.4%	1.6%	15.4%	23.6%	45.5%	100%
江別地区3 (n=188)	5.9%	3.2%	3.2%	12.8%	27.1%	47.9%	100%
江別地区4 (n=127)	7.9%	3.1%	3.1%	9.4%	24.4%	52.0%	100%
野幌地区1 (n=310)	9.7%	2.9%	4.5%	17.4%	29.7%	35.8%	100%
野幌地区2 (n=150)	8.0%	4.7%	2.0%	16.0%	29.3%	40.0%	100%
野幌地区3 (n=140)	10.0%	2.9%	1.4%	13.6%	20.0%	52.1%	100%
大麻地区1 (n=107)	5.6%	2.8%	6.5%	22.4%	32.7%	29.9%	100%
大麻地区2 (n=340)	7.6%	5.0%	6.2%	20.0%	25.9%	35.3%	100%
不明・無回答(n=8)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	100%
合計(n=1647)	8.3%	3.6%	3.9%	16.2%	26.5%	41.6%	100%

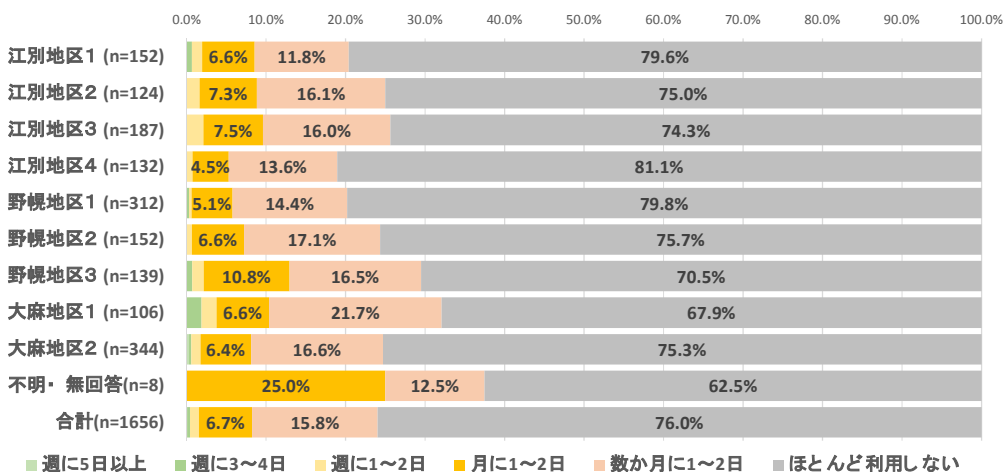
地区名	通勤	通学	買い物	通院	外食・娯楽	その他	合計
江別地区1 (n=92)	22.8%	2.2%	14.1%	16.3%	33.7%	10.9%	100%
江別地区2 (n=64)	18.8%	4.7%	20.3%	14.1%	32.8%	9.4%	100%
江別地区3 (n=114)	12.3%	6.1%	22.8%	11.4%	29.8%	17.5%	100%
江別地区4 (n=75)	17.3%	2.7%	16.0%	5.3%	41.3%	17.3%	100%
野幌地区1 (n=190)	22.6%	3.7%	23.2%	11.1%	27.9%	11.6%	100%
野幌地区2 (n=90)	21.1%	2.2%	26.7%	6.7%	32.2%	11.1%	100%
野幌地区3 (n=85)	20.0%	5.9%	17.6%	8.2%	30.6%	17.6%	100%
大麻地区1 (n=64)	10.9%	0.0%	23.4%	14.1%	37.5%	14.1%	100%
大麻地区2 (n=213)	19.7%	1.9%	23.0%	11.7%	31.9%	11.7%	100%
不明・無回答(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100%
合計(n=990)	19.0%	3.2%	21.3%	11.1%	32.0%	13.3%	100%

タクシーの利用頻度・目的

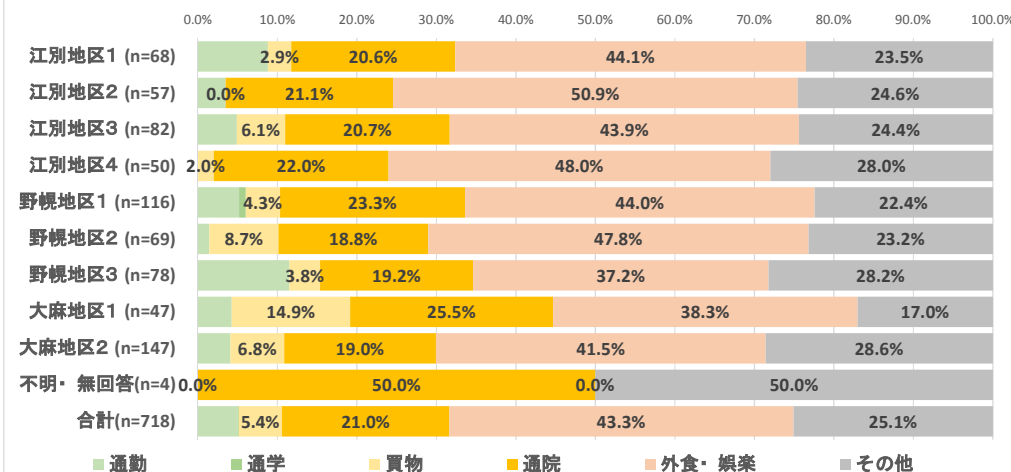
- タクシーの利用頻度は、日常的に利用している方は僅かですが、「月に1~2日」や「数か月に1~2日」との割合が約2割となっています。
- 主な利用目的は、「外食・娯楽」や「通院」の割合が高くなっています。

タクシーの利用状況

タクシーの利用頻度 (n=1,656)



タクシーの利用目的 (n=718)



地区名	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	数か月に1~2日	ほとんど利用しない	合計
江別地区1 (n=152)	0.0%	0.7%	1.3%	6.6%	11.8%	79.6%	100%
江別地区2 (n=124)	0.0%	0.0%	1.6%	7.3%	16.1%	75.0%	100%
江別地区3 (n=187)	0.0%	0.0%	2.1%	7.5%	16.0%	74.3%	100%
江別地区4 (n=132)	0.0%	0.0%	0.8%	4.5%	13.6%	81.1%	100%
野幌地区1 (n=312)	0.0%	0.3%	0.3%	5.1%	14.4%	79.8%	100%
野幌地区2 (n=152)	0.0%	0.0%	0.7%	6.6%	17.1%	75.7%	100%
野幌地区3 (n=139)	0.0%	0.7%	1.4%	10.8%	16.5%	70.5%	100%
大麻地区1 (n=106)	0.0%	1.9%	1.9%	6.6%	21.7%	67.9%	100%
大麻地区2 (n=344)	0.3%	0.3%	1.2%	6.4%	16.6%	75.3%	100%
不明・無回答(n=8)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	62.5%	100%
合計(n=1656)	0.1%	0.4%	1.1%	6.7%	15.8%	76.0%	100%

地区名	通勤	通学	買物	通院	外食・娯楽	その他	合計
江別地区1 (n=68)	8.8%	0.0%	2.9%	20.6%	44.1%	23.5%	100%
江別地区2 (n=57)	3.5%	0.0%	0.0%	21.1%	50.9%	24.6%	100%
江別地区3 (n=82)	4.9%	0.0%	6.1%	20.7%	43.9%	24.4%	100%
江別地区4 (n=50)	0.0%	0.0%	2.0%	22.0%	48.0%	28.0%	100%
野幌地区1 (n=116)	5.2%	0.9%	4.3%	23.3%	44.0%	22.4%	100%
野幌地区2 (n=69)	1.4%	0.0%	8.7%	18.8%	47.8%	23.2%	100%
野幌地区3 (n=78)	11.5%	0.0%	3.8%	19.2%	37.2%	28.2%	100%
大麻地区1 (n=47)	4.3%	0.0%	14.9%	25.5%	38.3%	17.0%	100%
大麻地区2 (n=147)	4.1%	0.0%	6.8%	19.0%	41.5%	28.6%	100%
不明・無回答(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100%
合計(n=718)	5.0%	0.1%	5.4%	21.0%	43.3%	25.1%	100%

まとめ

回答者の属性や意識から

- スマートフォンの保有率は、64歳以下で保有率が9割以上となっており、年齢に応じて保有率は低下していますが、80歳～84歳で保有率が約5割となっています。
- 運転免許の保有状況は、各地区で8割程度となっていますが、大麻地区は約7割となっており、他地区と比べてやや低くなっています。
- 自家用車の利用頻度は、各地区とも半数以上が「週に3～4日」以上利用しており、「週に1～2日」を含めると8割以上が利用しています。
- 免許返納後の移動手段は、7割強の方が「路線バス」と回答しており、「JR」との回答も6割強となっています。
- 自家用車での送迎状況は、各地区とも、約半数で送迎の実態があると回答していますが、送迎の負担は、「全く負担は感じない」、「あまり負担は感じない」との回答が概ね8割程度となっています。

地区別流動状況から

- 通勤・通学は、札幌市との流動が多くなっています。市内の移動は、大麻地区1を除き、分散している傾向で、自家用車の割合が高くなっています。
- 買い物についても札幌市との流動が多くなっています。JRの南側に位置する江別地区1及び江別地区4は、野幌地区2との流動が多くなっています。一方、JRの北側に位置する江別地区2及び江別地区3は、野幌地区2だけでなく、江別地区3との流動が多くなっています。
- 野幌地区1、野幌地区2は、それぞれ地区内の割合が高くなっており、また、野幌地区3を含めた野幌地区全体で野幌地区2の割合が高くなっています。
- 大麻地区は、大麻地区1との流動が多く、他地区と比較して野幌地区2との流動が多くありません。
- 通院は、についても札幌市との流動が多くなっています。江別市立病院が立地する江別地区2への流動は、江別地区内からの流動が多いものの、野幌地区や大麻地区からの流動はそこまで多くはなく、札幌市を除き、地区内での流動が多くなっています。

まとめ

路線バスの利用状況から

- 路線バスの利用頻度は、夏期、冬期ともに「週に5日以上」の割合が1割未満となっています。
- 大麻地区1では、「月に1~2日」や「数か月に1~2日」など利用頻度は高くないものの、路線バスを利用する方の割合が高くなっています。
- CSポートフォリオ分析では、「朝の運行便数」、「終発時間」、「冬期のバスの遅れ」、「バスとJRの乗り継ぎ」、「バスの待合環境」、「バス事業者が提供している情報」が重点改善分野に位置づけられています。
- 「夕方の運行便数」は、「冬期のバスの遅れ」に次いで満足度が低く、終発時間と合わせて、不便であるとの意見が多く寄せられています。
- 「冬期のバスの遅れ」は、満足度が最も低く、路線バスの総合満足度に与える影響も高くなっています。一方で、不満の理由などの自由回答では、冬期の遅れは仕方のないものとして一定の理解を示す意見が見られました。遅れることを前提として、遅れや運休に関する情報発信や待合環境の改善が強く求められています。

路線バスを利用して行きたい場所

- 現在、路線バスが運行していない施設では、「蔦屋書店」への要望が多く寄せられています。また、2023年に開業予定の「北広島ボールパーク」へのアクセスに対する要望も寄せられています。

JR・タクシーの利用状況

- JRの利用頻度は、「週に1~2日」以上の日常的に利用している方の割合は、約2割となっています。
- 主な利用目的は、「外食・娯楽」の割合が最も高くなっており、次いで「買い物」、「通勤」となっています。
- タクシーの利用頻度は、日常的に利用している方は僅かですが、「月に1~2日」や「数か月に1~2日」との割合が約2割となっています。

- ✓ 現在のバス路線のネットワークは、市民の移動状況に概ね合致しているものと考えられることから基本的な交通体系を維持すべきと考えます。
- ✓ また、新たなニーズや観光需要に対応するためには、運行経路の一部見直しやバス・バス間を含め、複数交通手段の乗り継ぎの改善など利便性向上も必要です。
- ✓ 現在の路線バスのメインの利用者層である、通勤・通学の需要を維持し、利用者数の増加を図るためには、夕方以降の利便性の向上が必要です。
- ✓ 冬期のバスの遅れに対しては、仕方のないものとして一定の理解を示す意見が見られたことから、引き続き除排雪体制を確保しつつ、遅れることを前提とした、遅れや運休に関する情報発信や待合環境の改善など、利用者に寄り添った対策が重要になっています。